

# 都立高校に関する 都民意識調査

(概要)

平成19年4月

# 目 次

## 第1章 調査の目的及び調査内容

1 調査の目的.....	1-1
2 調査方法.....	1-1
3 調査実施状況.....	1-2

## 第2章 調査結果の分析

2.1 都内居住者.....	2-1-1
2.1.1 回答者の属性 .....	2-1-1
2.1.2 都立高校改革について .....	2-1-4
2.1.3 社会生活上のルールやマナーの習得について .....	2-1-6
2.1.4 都立高校の印象について .....	2-1-6
2.1.5 都立高校の役割について .....	2-1-17
2.1.6 これからの都立高校に期待すること .....	2-1-20
2.1.7 都立高校の教師について .....	2-1-43
2.1.8 都立高校の施設について .....	2-1-50
2.1.9 これからの都立高校について .....	2-1-52
2.2 調査票2（東京都内で営業する企業を対象） .....	2-2-1
2.2.1 高校卒業者の採用状況について.....	2-2-1
2.2.2 都立高校改革について.....	2-2-4
2.2.3 新しいタイプの高校の設置について.....	2-2-6
2.2.4 都立高校の印象について .....	2-2-23
2.2.5 都立高校の役割について .....	2-2-31
2.2.6 民間人校長について.....	2-2-33
2.2.7 教育への協力について.....	2-2-36
2.2.8 これからの都立高校について.....	2-2-37

## 第1章 調査の目的及び調査内容

### 1 調査の目的

当該「都立高校に関する都民意識調査」は、東京都教育委員会が現在推進している「都立高校改革」に対する都民の評価及び都民の都立高校に対するニーズ等を把握し、今後の都立高校のあり方について検討する際、参考にすることを目的として、調査を実施した。

### 2 調査方法

#### ① 調査対象者

##### 1) 調査 1

東京都に居住する 19 歳以上 60 歳以下の人	2,000 人
東京都に居住する中学校 3 年生の保護者	400 人
教育モニター	100 人
東京都に居住する高校生	500 人

##### 2) 調査 2

東京都内で営業する企業	500 社
-------------	-------

#### ② 調査対象者の抽出方法

##### 二段階抽出法

##### 1) 対象地区数の設定

- ・島しょ部を除く東京都内を 10 地区に区分し、地区毎の人口比で調査地点数を設定

##### 2) 対象地区の抽出

- ・各地区に属する区市町村の人口比で地区内の調査地点数を区市町村に割り振り、区市町村の町丁目を単位として、ランダムに対象地区を抽出

##### 3) 対象者の抽出

《東京都に居住する 19 歳以上 60 歳以下の人》

- ・東京都の人口バランスを参考にして 5 歳幅に該当地区に属する調査対象者数を設定後、住民基本台帳からランダムに抽出

《中学校 3 年生の保護者及び高校生》

- ・東京都の人口バランスを参考にして該当地区に属する該当年齢（中学 3 年生）の調査対象者数を設定後、住民基本台帳からランダムに抽出

《教育モニター》

- ・東京都が契約している教育モニター

《東京都内で営業する企業》

- ・東京都内で営業する企業をインターネット上に公開されているデータから収集し、業種別、企業規模別に作成したリストからランダムに抽出

### ③ 調査方法

#### 1) 調査 1

訪問面接配布・留置・訪問回収方式

対象者には「調査票 1」と『都立高校改革推進計画 新たな実施計画(概要)』を配布

#### 2) 調査 2

事前郵送・留置・訪問回収方式

対象者には「調査票 2」と『都立高校改革推進計画 新たな実施計画(概要)』を配布

### 3 調査実施状況

1) 調査実施期間 平成 18 年 9 月 19 日～11 月 20 日

#### 2) 調査票回収数

《調査 1》	19 歳以上 60 歳以下の人	669 票	回収率：33.5%
	中学校 3 年生の保護者	135 票	回収率：33.8%
	教育モニター	91 票	回収率：91.0%
	高校生	123 票	回収率：24.6%
《調査 2》			
	企業	192 票	回収率：38.4%

3) 調査実施機関 有限会社ガイア

#### アンケート結果の見方

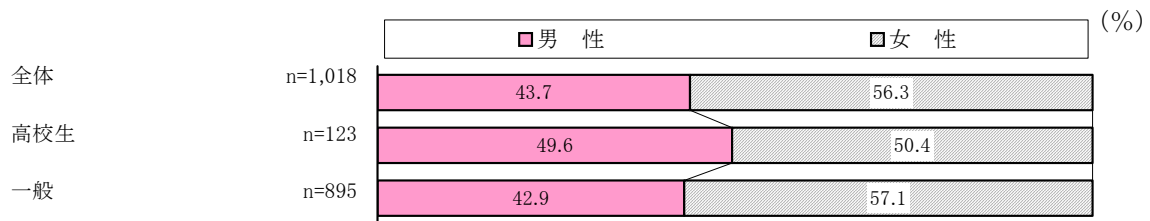
- ・ グラフ内のnは有効回答者数を表してあります。
- ・ %の表示は、小数点第 2 位で四捨五入をしてありますので、合計が 100%にならない場合もあります。
- ・ 分析で引用している個々のグラフ値を合計した数値は、素データを集計した結果を四捨五入しているため、みかけ上の合計値と合致しない場合もあります。
- ・ アンケート調査の説明内容は、調査を実施した平成18年9月時点の説明です。

## 第2章 調査結果の分析

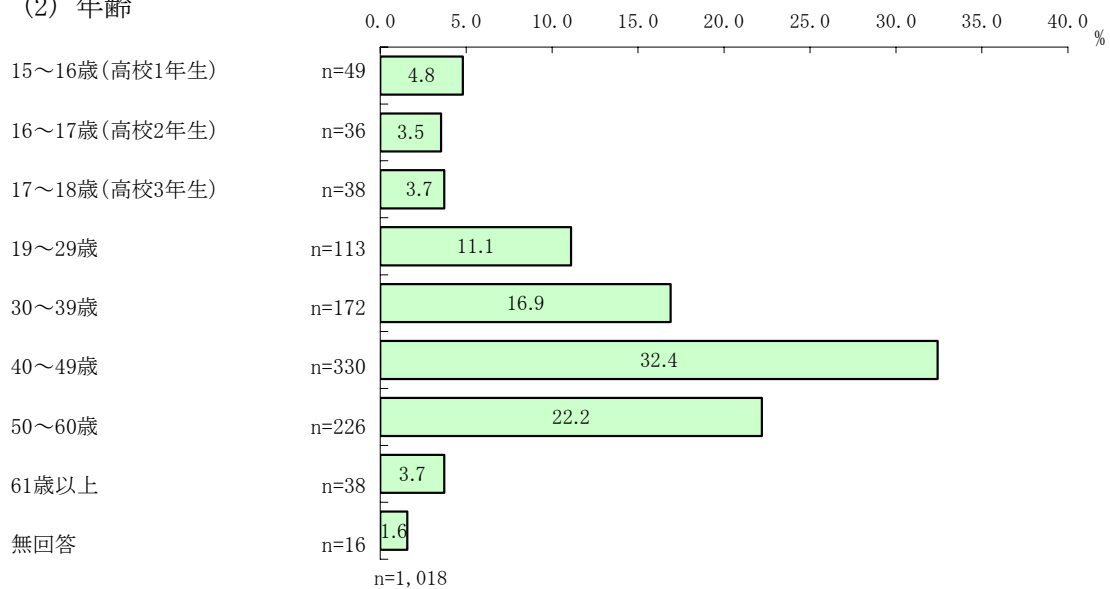
### 2.1 都内居住者

#### 2.1.1 回答者の属性

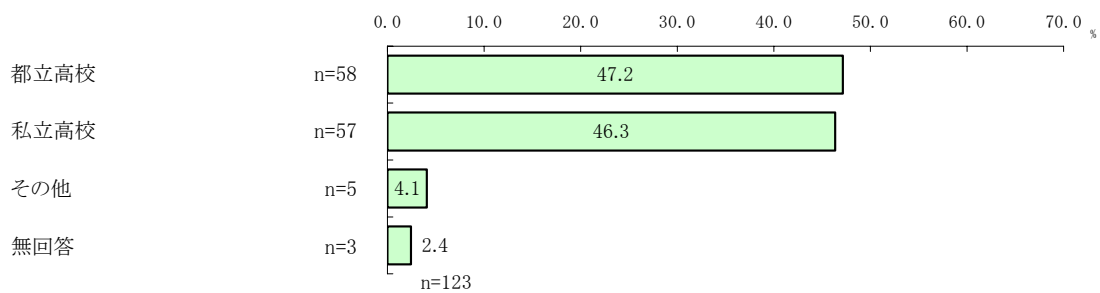
##### (1) 性別



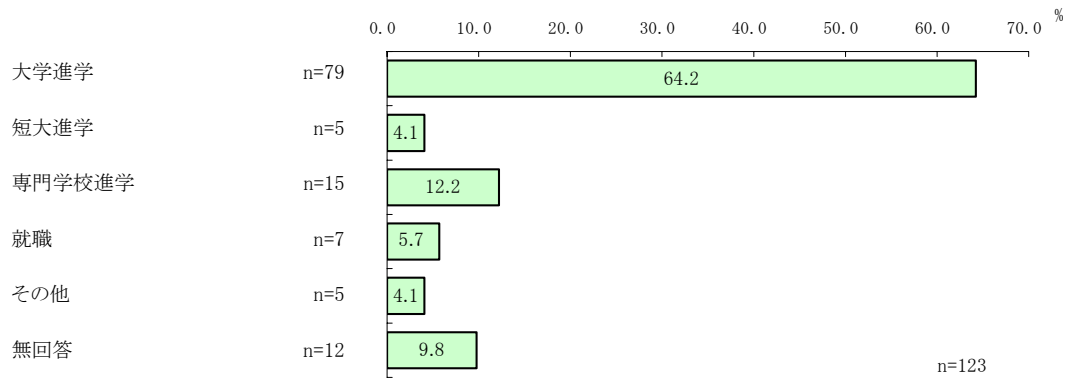
##### (2) 年齢



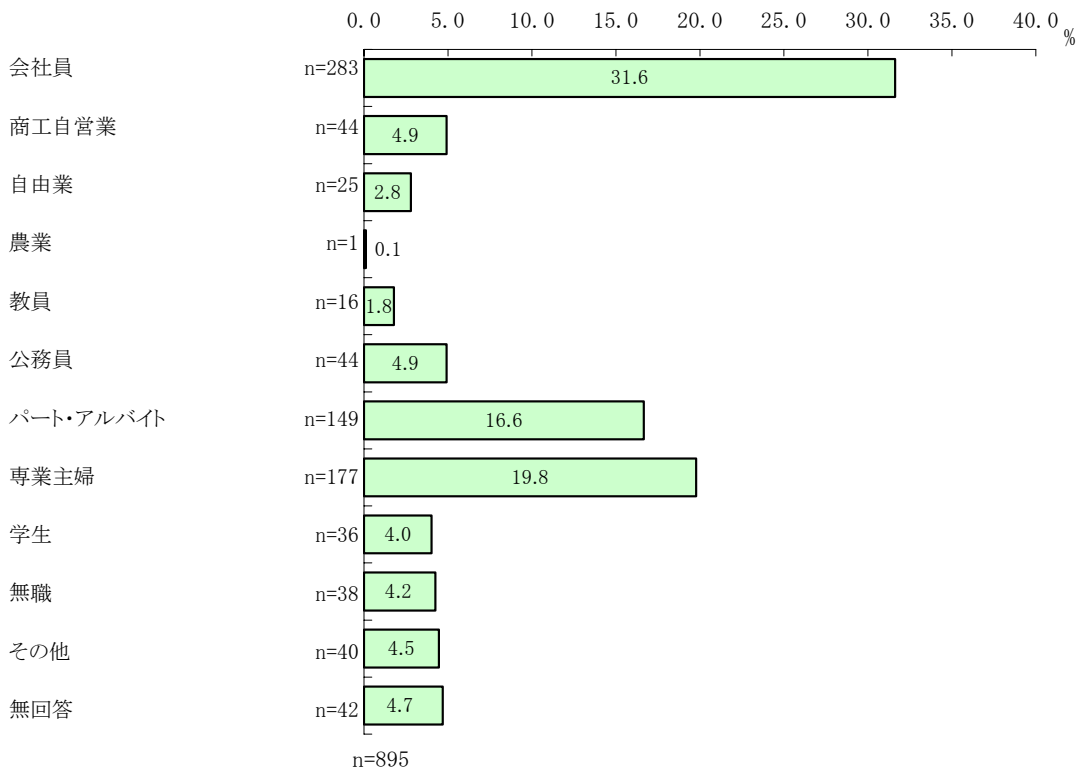
##### (3) 在学している学校について (高校生)



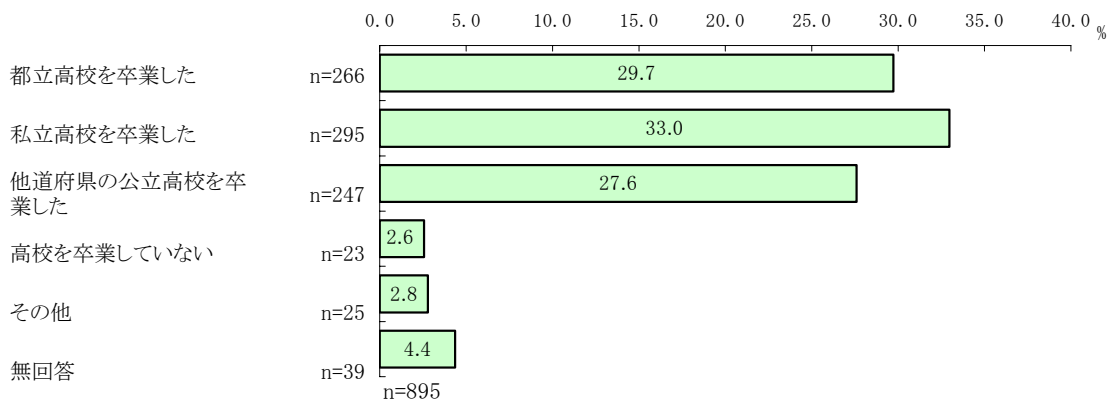
(4) 卒業後の志望について（高校生）



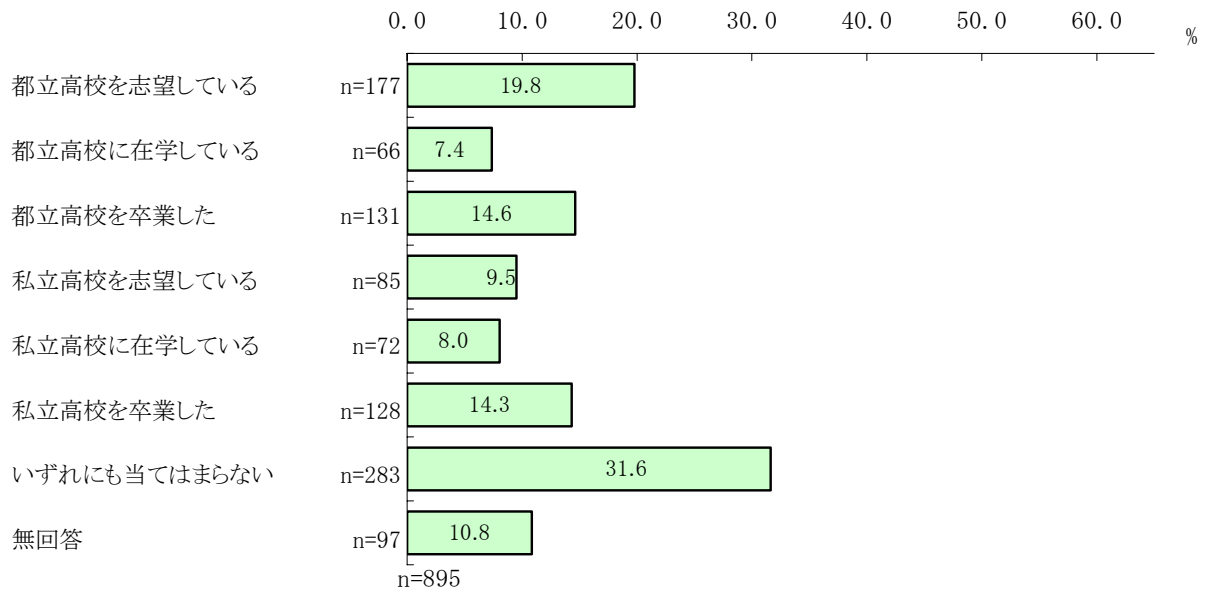
(5) 職業について（一般）



(6) 卒業した高校について（一般）



(7) 子どもの状況について（一般）



## 2.1.2 都立高校改革について

2-1 都立高校改革（\*1）の認知度について

問 8-1 現在、都立高校改革が進められていることについてご存じでしたか？（複数に○も可）

### （\*1）《都立高校改革推進計画》

都立高校では、生徒の能力、適性や進路希望等の多様化が進み、学校生活に適応できない生徒や中途退学者への対応が求められています。また、少子化の進行により、学校の小規模化が進み、都立高校の規模と配置の適正化が大きな課題となっています。「新たな実施計画」では、これらの課題を解決するとともに、都民の高校教育に対する期待に応え、都民に魅力ある都立高校を実現するための改革方策をまとめました。具体的な改革方策として「日本の未来を担う人間を育成する教育の推進」、「生徒の多様な希望に応える学校づくり」、「都民に信頼される学校経営の確立」、「地域とのパートナーシップを築く学校づくり」、「少子化時代の質の高い教育の場の確保」を掲げています。

現在、東京都教育委員会では、

#### ①新しいタイプの都立学校の設置

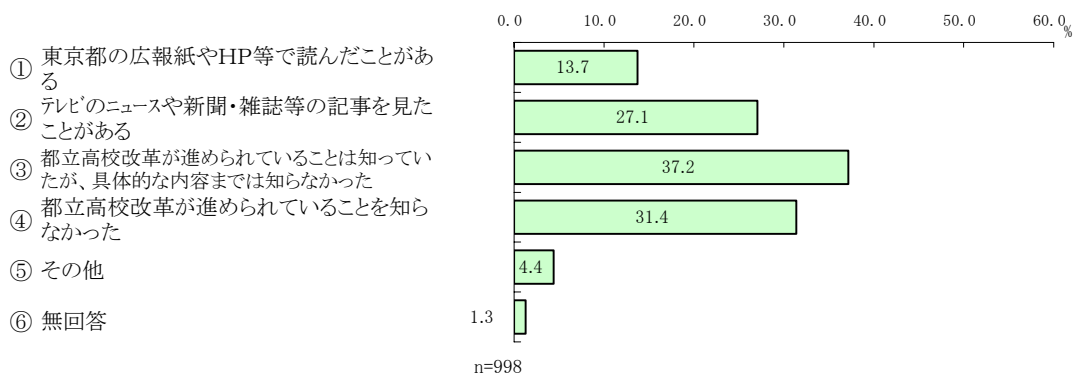
中高一貫教育校、総合学科高校、単位制高校、科学技術高校、産業高校、進学型商業高校、総合芸術高校（各校の概要は別紙）などを順次設置しています。

#### ②既存校の改革

進学指導重点校の指定、エンカレッジスクールの指定、専門高校の改善（リーディングコマмерシャルハイスクール）などを実施しています。

#### ③定時制課程の改編

全定併置校の解消を進め、チャレンジスクール、新たなタイプの昼夜間定時制高校を順次設置しています。



都立高校改革が進められていることについては、「進められていることは知っていたが、具体的な内容までは知らなかった」が37.2%で最も多い。

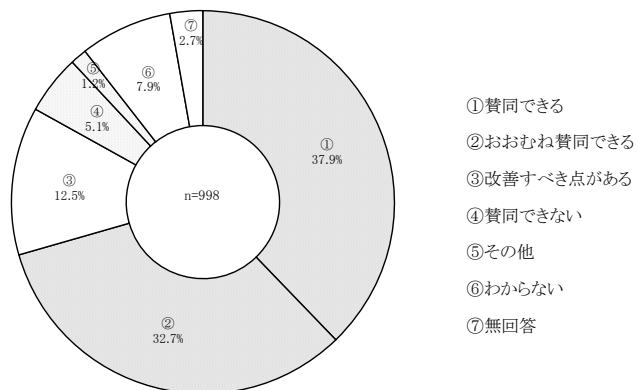
また、「テレビのニュースや新聞・雑誌等の記事を見たことがある」27.1%、「東京都の広報誌やホームページ等を読んだことがある」は13.7%であり、合わせると40.8%が認知している。



## 2-2 都立高校改革の印象について

問 8-2 別添の都立高校改革推進計画・新たな実施計画(概要)をお読みいただき、どのような印象をおもちですか？ (1つに○)

(全体)



都立高校改革の印象については、「賛同できる」37.9%、「おおむね賛同できる」32.7%を合わせた肯定的意見が70.5%と多い。

一方、「改善すべき点がある」、「賛同できない」を合わせた否定的意見は17.6%となっている。

### 2.1.3 社会生活上のルールやマナーの習得について

問 9 こうした状況をふまえ、社会生活上のルールやマナーの習得に対してどうお考えになりますか？ (1つに○) (\*2)

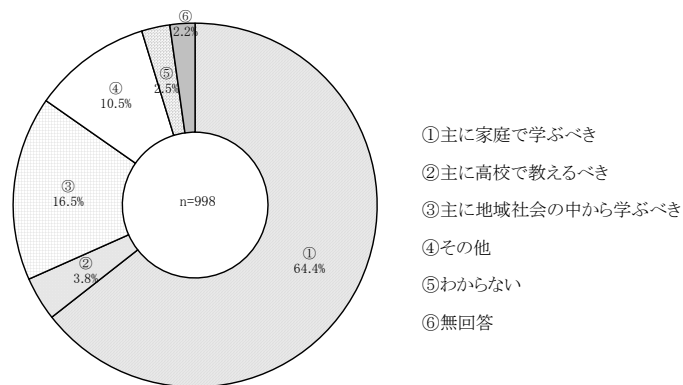
#### (\*2) 《社会生活上のルールやマナーの習得》

現在、社会の大人たちが子どもたちを大切にし、心豊かにはぐくんでいく機運を醸成することが強く求められています。

家庭は親子の触れ合いや家族の団らん等を通して、基本的なしつけや社会規範を身につける場として重要な役割をはたしています。また、学校は、学業を学ぶ場であるとともに、集団生活を通して、望ましい人間関係をはぐくむ場でもあります。

家庭や地域での教育力の低下が言われて久しい現在、学校や家庭、地域社会の役割が改めて問われています。

(全体)



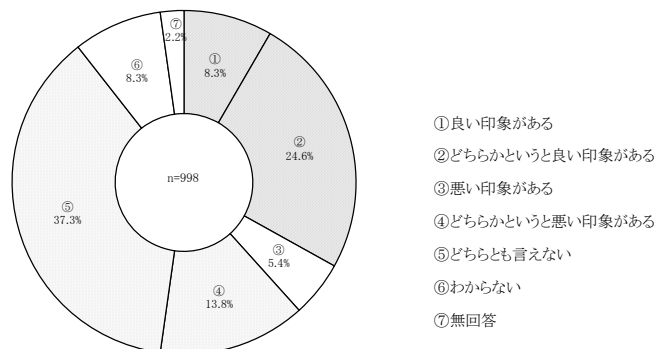
社会生活上のルールやマナーの習得については、「主に家庭で学ぶべき」が 64.4%と多い。

### 2.1.4 都立高校の印象について

#### 4-1 都立高校の印象について

問 10 あなたは都立高校についてどのような印象をおもちですか？ (1つに○)

(全体)



都立高校の印象について、「良い印象がある」、「どちらかというが良い印象がある」を合わせると 32.9%となり、「悪い印象がある」、「どちらかという悪い印象がある」を合わせた 19.2%より多い。

4-2 各項目の都立高校の印象について（総評）

問 11 都立高校の印象は、それぞれどれに該当しますか？（項目ごとに1つ○）

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	肯定	否定
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		
	そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答		
(1)教育内容が充実している	3.2	14.7	33.2	28.5	8.2	9.3	2.9	17.9 < 36.7	
(2)自由な雰囲気がある		34.5	38.5	11.9	5.0	3.7	4.4	72.9 > 8.7	
(3)授業料が安い		66.2	20.8	5.0	4.1	1.9	1.0	87.1 > 2.5	
(4)進学校が多い	3.1	11.4	37.1	28.4	12.5	6.1	1.3	14.5 < 40.9	
(5)生徒の能力に応じた授業を行っている		13.6	30.0	25.4	11.9	14.4	1.4	17.1 < 37.3	
(6)生徒の興味・関心に応じた授業を行っている	3.7	9.1	33.7	24.9	13.9	15.0	1.2	10.9 < 38.9	
(7)社会や時代の変化に対応した教育を行っている	1.8	12.4	30.8	24.8	15.0	13.2	1.5	14.4 < 39.9	
(8)生活指導が徹底している	2.0	7.6	22.2	32.7	24.6	9.4	1.7	9.7 < 57.3	
(9)いじめや非行が少ない	2.1	6.8	29.8	25.7	22.9	11.1	1.3	9.1 < 48.6	
(10)中途退学が少ない	3.0	9.1	26.5	23.4	22.5	13.8	1.4	12.1 < 46.0	
(11)それぞれの生徒の進路希望の実現に力を尽くしている	2.8	11.9	29.6	22.4	15.3	16.0	1.6	14.7 < 37.8	
(12)学校行事や部活動が充実している	7.0	25.4	31.4	15.8	7.8	10.9	1.9	32.4 > 23.6	
(13)教師の質が高い	1.9	7.4	36.4	23.4	15.3	14.1	1.7	9.3 < 38.8	
(14)優秀な生徒が多い	6.7	46.8	22.9	9.6	11.1	1.4	1.4	8.1 < 32.6	
(15)真面目な生徒が多い	9.4	42.7	23.8	10.9	9.7	1.4	1.4	11.4 < 34.8	
(16)施設・設備が充実している	3.9	15.0	26.3	28.0	16.4	9.1	2.0	18.9 < 44.4	
(17)地域に開かれた教育を行っている	16.8	33.4	19.9	10.3	15.9	1.3	1.3	19.2 < 30.3	
(18)工業、商業等の専門高校が多い	5.5	26.1	30.4	17.0	4.7	15.0	2.4	31.6 > 21.7	

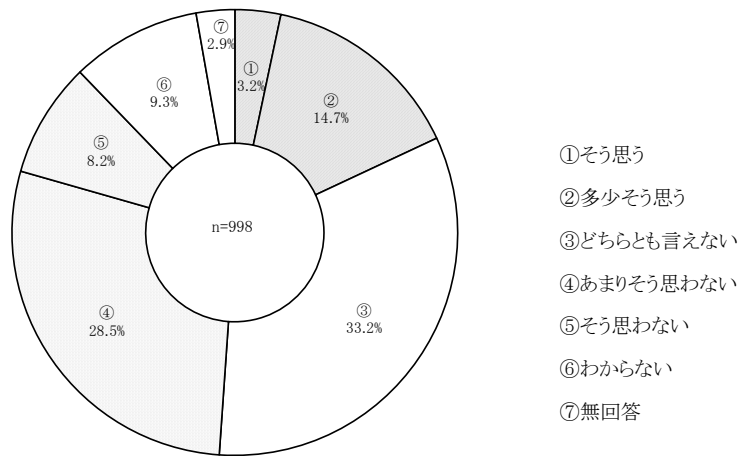
－「授業料が安い」、「自由な雰囲気がある」には、肯定的印象が、「生活指導が徹底している」、「いじめや非行が少ない」、「中途退学が少ない」などに関しては否定的印象が多い－

「授業料が安い」、「自由な雰囲気がある」については、「そう思う」、「多少そう思う」を合わせると、それぞれ 87.1%、72.9%と肯定的印象が多い。

一方、「生活指導が徹底している」について「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせると 57.3%であるのをはじめ、「いじめや非行が少ない」48.6%、「中途退学が少ない」46.0%、「社会や時代の変化に対応した教育」39.9%、「生徒の興味・関心に応じた授業」38.9%、「生徒の能力に応じた授業」37.3%と否定的な印象が多い。

4-3 項目ごとの都立高校の印象について（各項目別）

(1) 教育内容が充実している



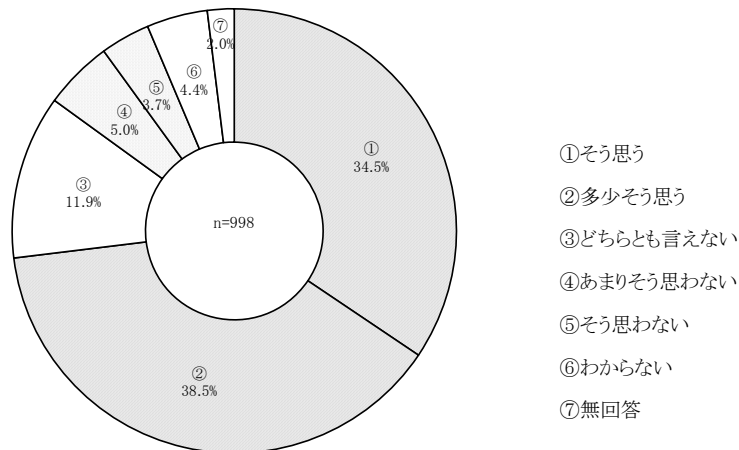
－「教育内容が充実している」は、否定的印象を持っている人が 36.7%と多い－

「教育内容が充実している」について、「そう思う」、「多少そう思う」を合わせた肯定的印象が 17.9%である。

一方、「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた否定的印象は 36.7%となっている。

(2) 自由な雰囲気がある

(全体)



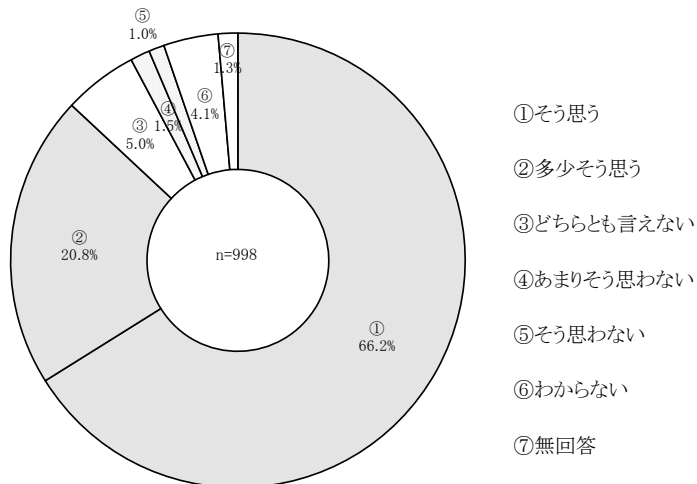
－「自由な雰囲気がある」は、肯定的印象を持っている人が 72.9%と多い－

「自由な雰囲気がある」について、「そう思う」、「多少そう思う」を合わせた肯定的印象が 72.9%と多い。

一方、「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた否定的印象は 8.7%となっている。

(3) 授業料が安い

(全体)

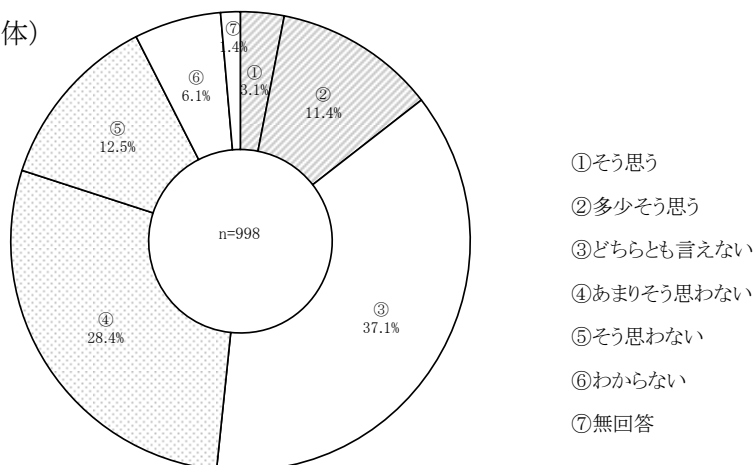


— 「授業料が安い」は、肯定的印象を持っている人が 87.1% と多い —

「授業料が安い」について、「と思う」、「多少 と思う」を合わせた肯定的印象が 87.1% と多い。一方、「そう ない」、「あまり と思う」を合わせた否定的印象は 2.5% となっている。

(4) 進学校が多い

(全体)



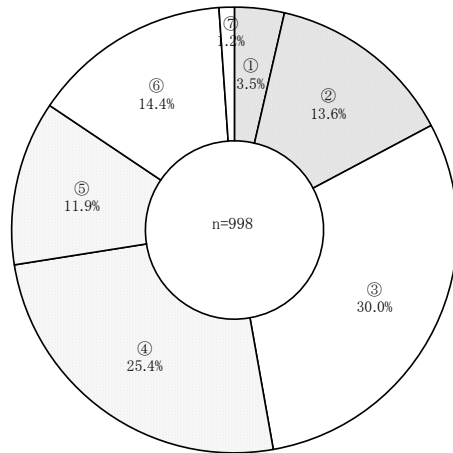
— 「進学校が多い」は、否定的印象を持っている人が 40.9% と多い —

「進学校が多い」について、「そう ない」、「あまり と思う」を合わせた否定的印象が 40.9% と多くなっている。

一方、「と思う」、「多少 と思う」を合わせた肯定的印象は 14.5% にとどまっている。また、「どちらとも言えない」が 37.1% となっている。

(5) 生徒の能力に応じた授業を行っている

(全体)



- ① と思う
- ② 多少 と思う
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまり と思う
- ⑤ そう と思う
- ⑥ わからない
- ⑦ 無回答

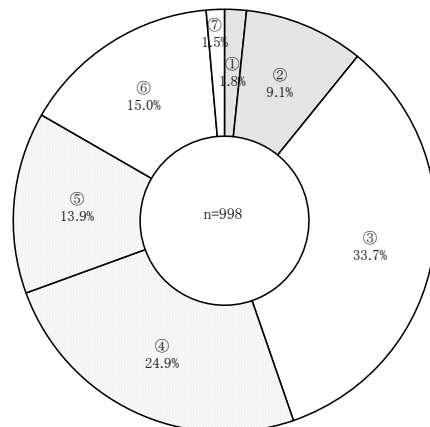
— 「生徒の能力に応じた授業を行っている」は、否定的印象を持っている人が37.3%と多い—

「生徒の能力に応じた授業を行っている」について、「そう と思う」、「あまり と思う」を合わせた否定的印象が37.3%と多くなっている。

一方、「と思う」、「多少 と思う」を合わせた肯定的印象は17.1%にとどまっている。また、「どちらとも言えない」が30.0%となっている。

(6) 生徒の興味・関心に応じた授業を行っている

(全体)



- ① と思う
- ② 多少 と思う
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまり と思う
- ⑤ そう と思う
- ⑥ わからない
- ⑦ 無回答

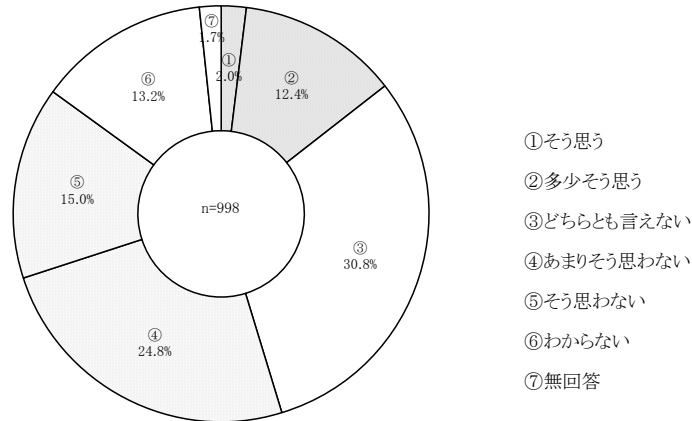
— 「生徒の興味・関心に応じた授業を行っている」は、否定的印象を持っている人が38.9%と多い—

「生徒の興味・関心に応じた授業を行っている」について、「そう と思う」、「あまり と思う」を合わせた否定的印象が38.9%と多くなっている。

一方、「と思う」、「多少 と思う」を合わせた肯定的印象は10.9%となっている。また、「どちらとも言えない」が33.7%となっている。

(7) 社会や時代の変化に対応した教育を行っている

(全体)



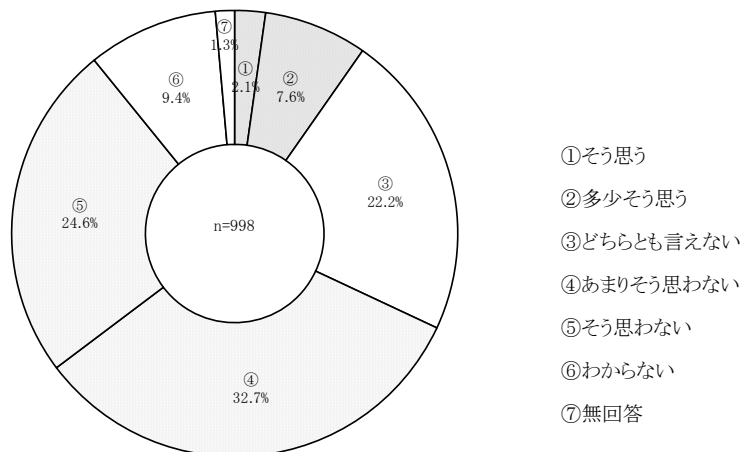
— 「社会や時代の変化に対応した授業を行っている」は、否定的印象を持っている人が39.9%と多い—

「社会や時代の変化に対応した授業を行っている」について、「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた否定的印象が39.9%と多くなっている。

一方、「そう思う」、「多少そう思う」を合わせた肯定的印象は14.4%となっている。また、「どちらとも言えない」が30.8%となっている。

(8) 生活指導が徹底している

(全体)



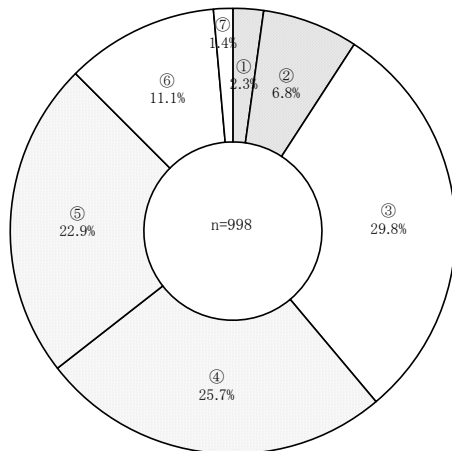
— 「生活指導が徹底している」は、否定的印象を持っている人が57.3%と多い—

「生活指導が徹底している」について、「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた否定的印象が57.3%と多くなっている。

一方、「そう思う」、「多少そう思う」を合わせた肯定的印象は9.7%となっている。

(9) いじめや非行が少ない

(全体)



- ① と思う
- ② 多少 と思う
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまり と思わない
- ⑤ そう 思わない
- ⑥ わからない
- ⑦ 無回答

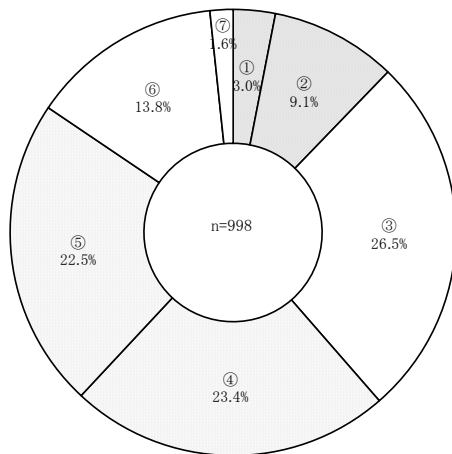
— 「いじめや非行が少ない」は、否定的印象を持っている人が48.6%と多い—

「いじめや非行が少ない」について、「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた否定的印象が48.6%と多くなっている。

一方、「と思う」、「多少 と思う」を合わせた肯定的印象は9.1%となっている。

(10) 中途退学が少ない

(全体)



- ① と思う
- ② 多少 と思う
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまり と思わない
- ⑤ そう 思わない
- ⑥ わからない
- ⑦ 無回答

— 「中途退学が少ない」は、否定的印象を持っている人が46.0%と多い—

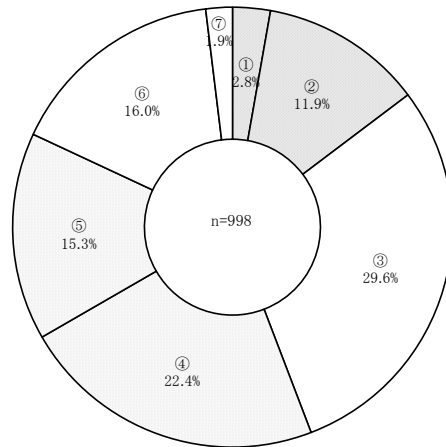
「中途退学が少ない」について、「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた否定的印象が46.0%と多くなっている。

一方、「と思う」、「多少 と思う」を合わせた肯定的印象は12.1%となっている。



(11) それぞれの生徒の進路希望の実現に力を尽くしている

(全体)



- ① そう思う
- ② 多少そう思う
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまりそう思わない
- ⑤ そう思わない
- ⑥ わからない
- ⑦ 無回答

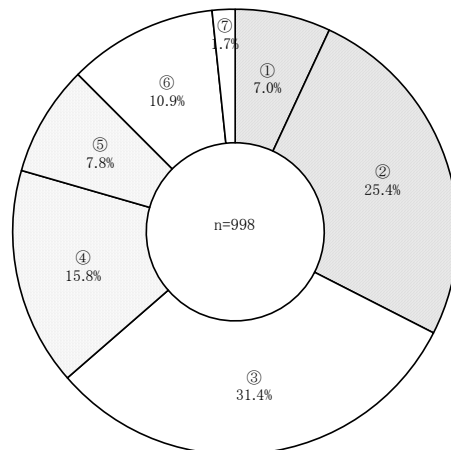
－ 「それぞれの生徒の進路希望の実現に力を尽くしている」は、否定的印象を持っている人が37.8%と多い－

「それぞれの生徒の進路希望の実現に力を尽くしている」について、「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた否定的印象が37.8%と多くなっている。

一方、「そう思う」、「多少そう思う」を合わせた肯定的印象は14.7%となっている。

(12) 学校行事や部活動が充実している

(全体)



- ① そう思う
- ② 多少そう思う
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまりそう思わない
- ⑤ そう思わない
- ⑥ わからない
- ⑦ 無回答

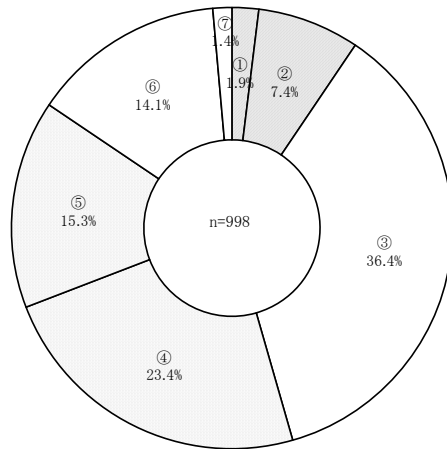
－ 「学校行事や部活動が充実している」は、肯定的印象が32.4%と多い－

「学校行事や部活動が充実している」について、「そう思う」、「多少そう思う」を合わせた肯定的印象が32.4%と多くなっている。

一方、「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた否定的印象は23.6%となっている。

(13) 教師の質が高い

(全体)



- ① と思う
- ② 多少 と思う
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまり と思わない
- ⑤ そう 思わない
- ⑥ わからない
- ⑦ 無回答

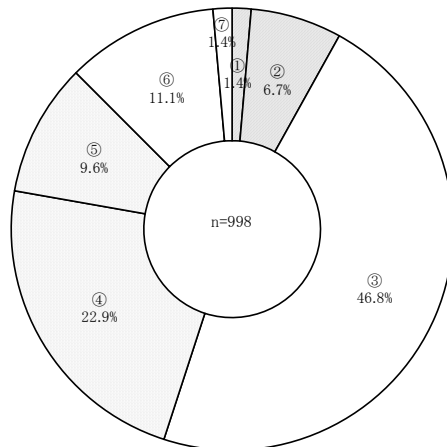
－ 「教師の質が高い」は、否定的印象を持っている人が38.8%と多い－

「教師の質が高い」について、「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた否定的印象が38.8%と多くなっている。

一方、「と思う」、「多少 と思う」を合わせた肯定的印象は9.3%となっている。

(14) 優秀な生徒が多い

(全体)



- ① と思う
- ② 多少 と思う
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまり と思わない
- ⑤ そう 思わない
- ⑥ わからない
- ⑦ 無回答

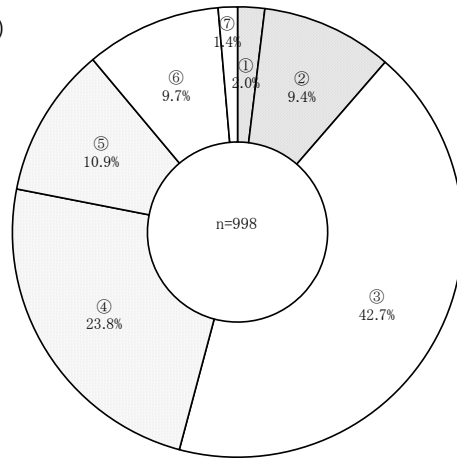
－ 「優秀な生徒が多い」は、否定的印象を持っている人が32.6%と多い－

「優秀な生徒が多い」について、「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた否定的印象が32.6%と多くなっている。

一方、「と思う」、「多少 と思う」を合わせた肯定的印象は8.1%となっている。

(15) 真面目な生徒が多い

(全体)



- ① と思う
- ② 多少 と思う
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまり と思わない
- ⑤ そう 思わない
- ⑥ わからない
- ⑦ 無回答

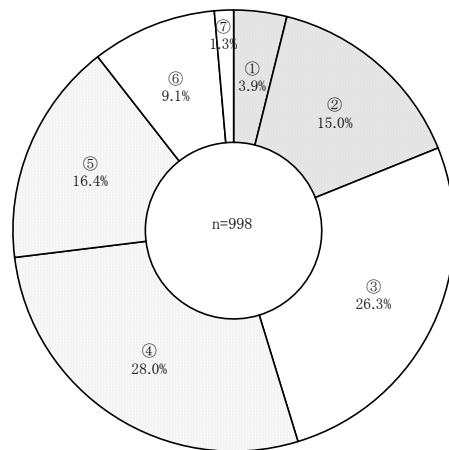
－「真面目な生徒が多い」は、否定的印象を持っている人が34.8%と多い－

「真面目な生徒が多い」について、「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた否定的印象が34.8%と多くなっている。

一方、「と思う」、「多少 と思う」を合わせた肯定的印象は11.4%となっている。

(16) 施設・設備が充実している

(全体)



- ① と思う
- ② 多少 と思う
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまり と思わない
- ⑤ そう 思わない
- ⑥ わからない
- ⑦ 無回答

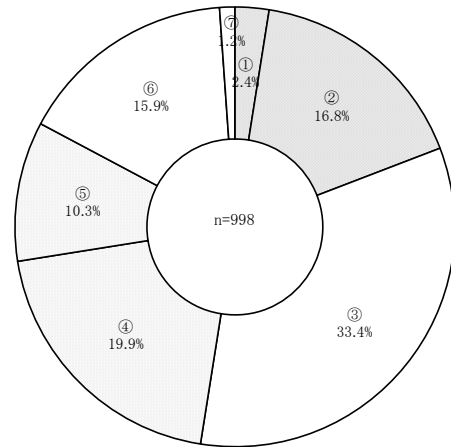
－「施設・設備が充実している」は、否定的印象を持っている人が44.4%と多い－

「施設・設備が充実している」について、「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた否定的印象が44.4%と多くなっている。

一方、「と思う」、「多少 と思う」を合わせた肯定的印象は18.9%となっている。

(17) 地域に開かれた教育を行っている

(全体)



- ① そう思う
- ② 多少そう思う
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまりそう思わない
- ⑤ そう思わない
- ⑥ わからない
- ⑦ 無回答

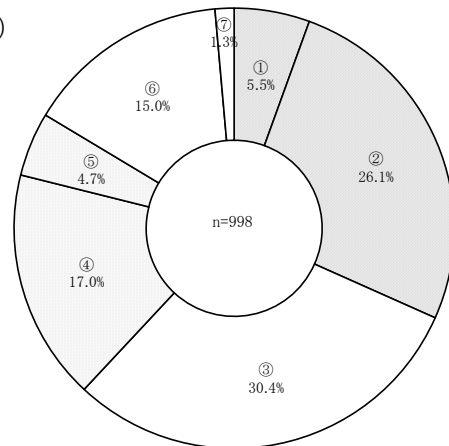
－ 「地域に開かれた教育を行っている」は、否定的印象を持っている人が30.3%と多い－

「地域に開かれた教育を行っている」について、「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた否定的印象が30.3%と多くなっている。

一方、「そう思う」、「多少そう思う」を合わせた肯定的印象は19.2%となっている。

(18) 工業、商業等の専門高校が多い

(全体)



- ① そう思う
- ② 多少そう思う
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまりそう思わない
- ⑤ そう思わない
- ⑥ わからない
- ⑦ 無回答

－ 「工業、商業等の専門高校が多い」は、肯定的印象を持っている人が31.6%と多い－

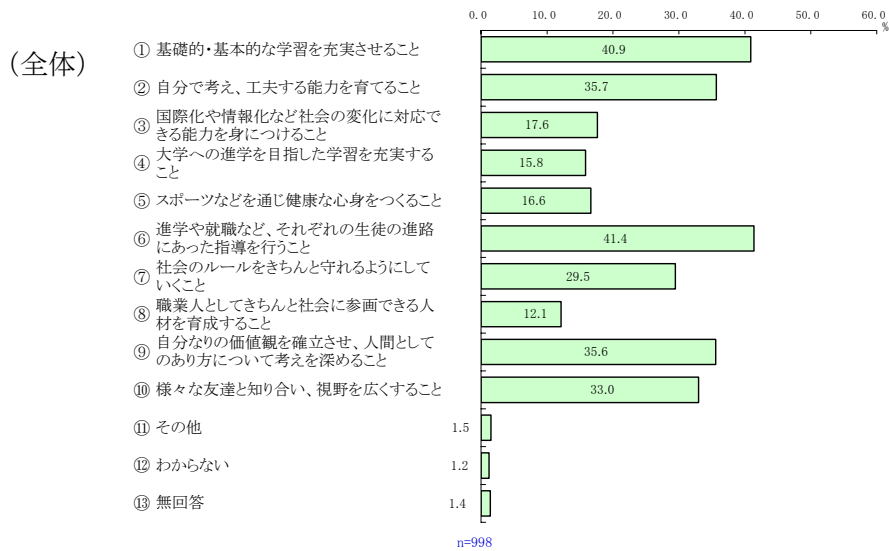
「工業、商業等の専門高校が多い」について、「そう思う」、「多少そう思う」を合わせた肯定的印象が31.6%と多い。

一方、「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた否定的印象は21.7%となっている。

## 2.1.5 都立高校の役割について

### 5-1 都立高校の役割について

問 12 都立高校の役割として特に重要と思われるのは次のどれですか？（3つまで○）



一都立高校の役割については、「進学や就職など、それぞれの生徒の進路にあった指導を行うこと」が41.4%と多い

都立高校の役割については、「進学や就職など、それぞれの生徒の進路にあった指導を行うこと」が41.4%と最も多く、次いで「基礎的・基本的な学習を充実させること」が40.9%、「自分で考え、工夫する能力を育てること」が35.7%、「自分なりの価値観を確立させ、人間としてのあり方について考えを深めること」が35.6%と多くなっている。

### 5-2 都立高校の選択理由について（ご自身またはお子様が都立高校に在学・卒業した方）

問 13 都立高校をお選びになった理由は何ですか？（3つまで○）

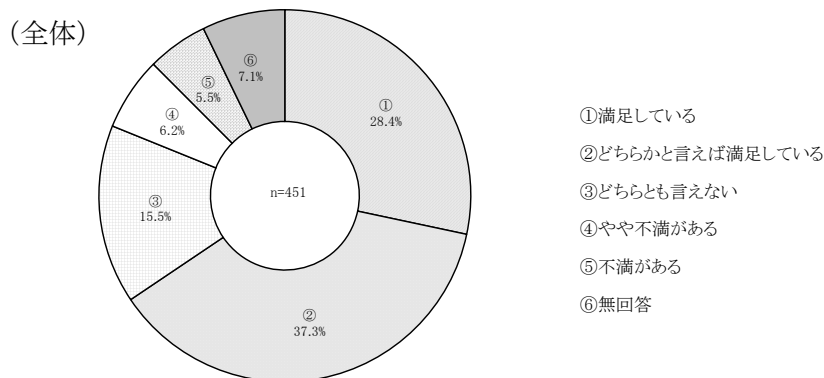


—都立高校の選択理由については、「学費が安いから」と答えた人が69.8%と多い—

都立高校の選択理由については、「学費が安いから」と答えた人が69.8%と多い。次いで、「通学の便がよいから」が43.2%となっている。

### 5-3 都立高校の満足度について

問 14 (都立高校を) お選びになった結果、どう感じていらっしゃいますか? (1つに○)

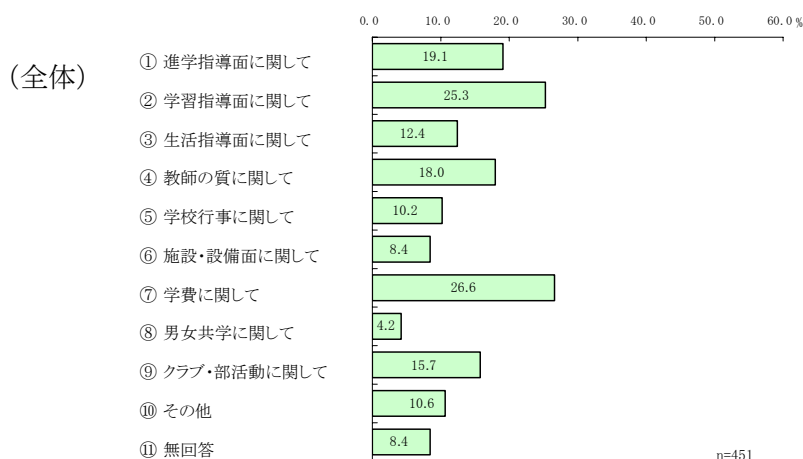


—都立高校の満足度については、「満足」と答えた人は65.7%となっている—

都立高校の満足度については、「満足している」、「どちらかと言えば満足している」を合わせると65.7%となり、「不満がある」、「やや不満がある」を合わせた11.7%を大きく上回る。

### 5-4 都立高校の満足理由について

問 15 問 14 でお答えになった理由はどのような面に関して感じていますか? (2つまで○)

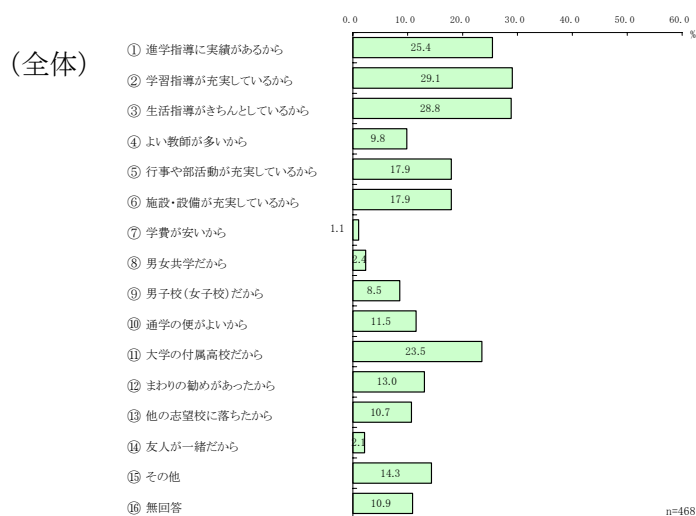


—都立高校の満足理由については、「学費に関して」が26.6%と多い—

都立高校の満足理由については、「学費に関して」が26.6%と最も多く、次いで「学習指導面に関して」が25.3%、「進学指導面に関して」が19.1%、「教師の質に関して」が18.0%となっている。

5-5 私立高校の選択理由について

問 16 私立高校をお選びになった理由は何ですか？（3つまで○）

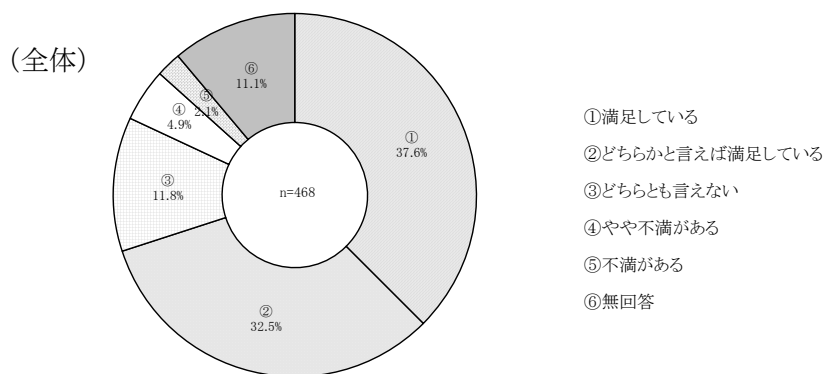


—私立高校の選択理由については、「学習指導が充実しているから」、「生活指導がきちんとしているから」がそれぞれ 29.1%、28.8%である—

私立高校の選択理由について、「学習指導が充実しているから」が 29.1%と最も多く、次いで、「生活指導がきちんとしているから」が 28.8%、「進学指導に実績があるから」が 25.4%、「大学の付属校だから」が 23.5%、「施設・設備が充実しているから」、「行事や部活動が充実しているから」がそれぞれ 17.9%となっている。

5-6 私立高校の満足度について

問 17 （私立高校を）お選びになった結果、どう感じていらっしゃいますか？（1つに○）



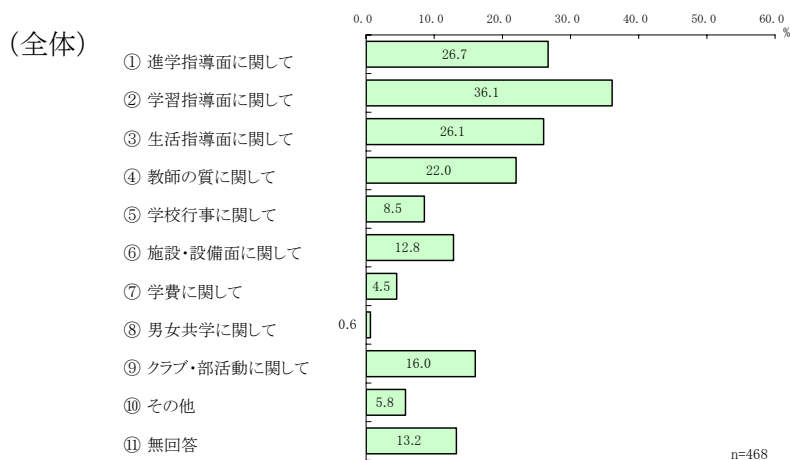
—私立高校の満足度については、「満足」と答えた人は 70.1%となっている—

私立高校の満足度について、「満足している」、「どちらかと言えば満足している」を合わせると 70.1%となっている。

一方、「不満がある」、「やや不満がある」を合わせると 7.0%である。

5-7 私立高校の満足理由について

問 18 問 17 でお答えになった理由はどのような面に関して感じていますか？（2つまで○）



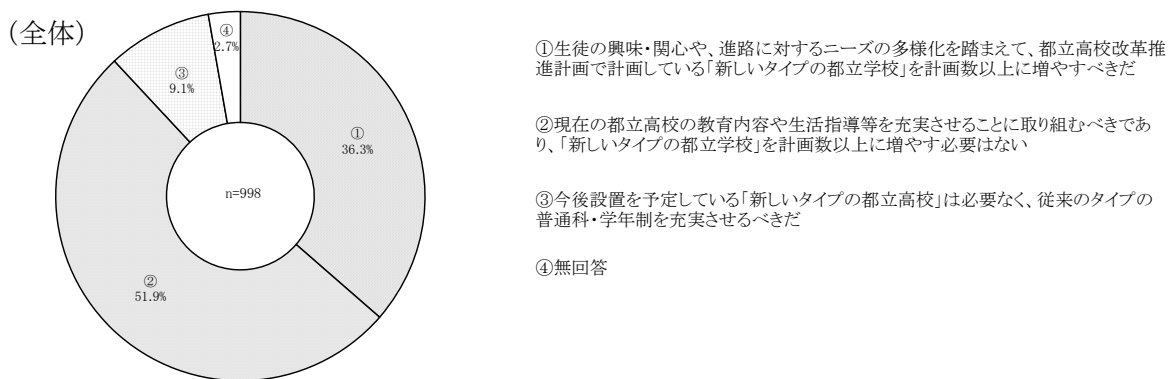
一私立高校の満足理由については、「学習指導面に関して」が 36.1%と多い

私立高校の満足理由については、「学習指導面に関して」が 36.1%と最も多く、次いで「進学指導面に関して」26.7%、「生活指導面に関して」が 26.1%の順で多くなっている。

2.1.6 これからの都立高校に期待すること

6-1 都立高校改革について

問 19-1 都立高校改革の方向性についてどうお考えになりますか？（1つに○）

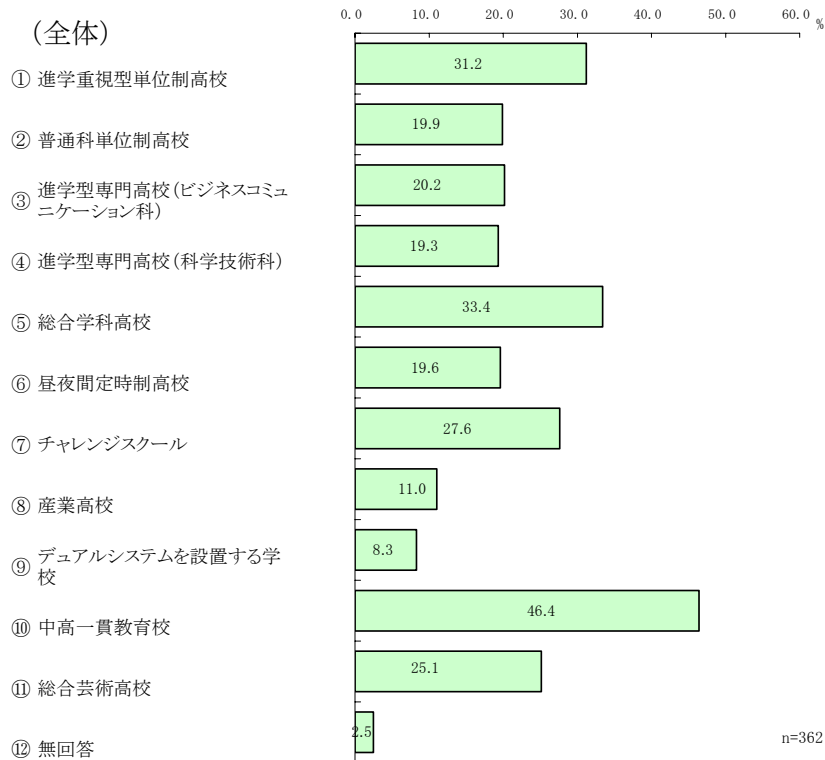


一都立高校改革の方向性については、「現在の都立学校の教育内容や生活指導等を充実させることに取り組むべきであり、『新しいタイプの都立学校』を計画数以上に増やす必要はない」が 51.9%と多い

都立高校改革の方向性については、「現在の都立学校の教育内容や生活指導等を充実させることに取り組むべきであり、『新しいタイプの都立学校』を計画数以上に増やす必要はない」が 51.9%、「生徒の興味・関心や、進路に対するニーズの多様化を踏まえて、都立高校改革推進計画で計画している『新しいタイプの都立学校』を計画数以上に増やすべきだ」36.3%となっている。



問 19-2 問 19-1 で 1 (『新しいタイプの都立学校』を計画数以上に増やすべきだ) と答えた方についてお聞きします。どのような種類の学校を増やすべきと考えますか。(3つまで○)



—どのような種類の学校を増やすべきかについては、「中高一貫教育校」が 46.4%と多い—

どのような種類の学校を増やすべきかについては、「中高一貫教育校」が 46.4%、「総合学科高校」33.4%、「進学重視型単位制高校」31.2%となっている。

#### 6-2 進学指導重点校 (\*3) について

問 19-3 国公立大学を中心とした難関大学の入学を目指すレベルの高校(中高一貫教育校を除く)は、今後どのくらい必要と考えますか？(1つに○)

#### (\*3) 《進学指導重点校とは》

国公立・難関私立大学への進学実績の向上を目指して、過去に進学実績があり、進学指導の組織的取組ができる都立高校を重点校として指定し、都教育委員会が様々な支援を行っています。平成13年9月に日比谷高校、戸山高校、西高校、八王子東高校、平成15年11月に青山高校、立川高校、国立高校を指定しています。

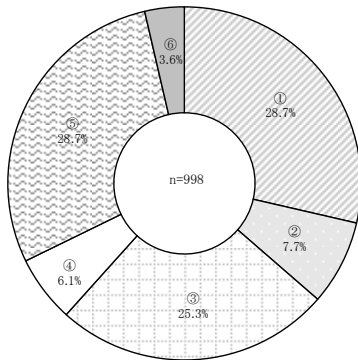
##### ○国公立・難関私立大学への進学を意識した教育課程

難関大学進学を意識した教育課程を編成しています。例えば、国公立大学等の進学に対応できるカリキュラムを編成して、生徒の学問への興味・関心を喚起しています。

##### ○土曜日や長期休業日等の講習

始業前や放課後の講習のほか、土曜日や長期休業日にも、生徒の進路希望に応じて受講できる講習会が多数用意されています。

(全体)



- ①現在の「進学指導重点校」だけでなく、国立大学を中心とした難関大学の入学を目指すレベルの学校があと10校程度必要
- ②現在の「進学指導重点校」だけでなく、国立大学を中心とした難関大学の入学を目指すレベルの学校があと20校程度必要
- ③現在の「進学指導重点校」の7校で十分
- ④その他
- ⑤わからない
- ⑥無回答

一難関大学の入学を目指すレベルの高校については、「現在の『進学指導重点校』だけでなく、国公立大学を中心とした難関大学の入学を目指すレベルの学校があと10校程度必要」が28.7%と多い。

どのような種類の学校を増やすべきかについては、「現在の『進学指導重点校』だけでなく、国公立大学を中心とした難関大学の入学を目指すレベルの学校があと10校程度必要」が28.7%と多く、「現在の『進学指導重点校』だけでなく、国立大学を中心とした難関大学の入学を目指すレベルの学校があと20校程度必要」の7.7%を合わせると36.4%が、難関大学を目指すレベルの高校を増やすことが必要と考えている。

6-3 エンカレッジスクール（\*4）について

問 20 エンカレッジスクールに特に重視して欲しい教育内容は次のうちどれですか？（2つまで○）

（\*4）《エンカレッジスクールとは》

小中学校で十分能力を発揮できなかった生徒のやる気を育て、頑張りを励まし、応援する全日制高校です。現在4校（足立東高校、秋留台高校、練馬工業高校、蒲田高校）を指定しています。（蒲田高校は平成19年度から実施予定）

○集中しながら学べる授業、豊富な体験学習

1～3時間目は、国語・数学・英語などの教科を中心に30分授業で行います。午後は体験学習や選択授業が中心です。教科によって、少人数指導を行い、分かる授業、力を引き出す授業を行います。

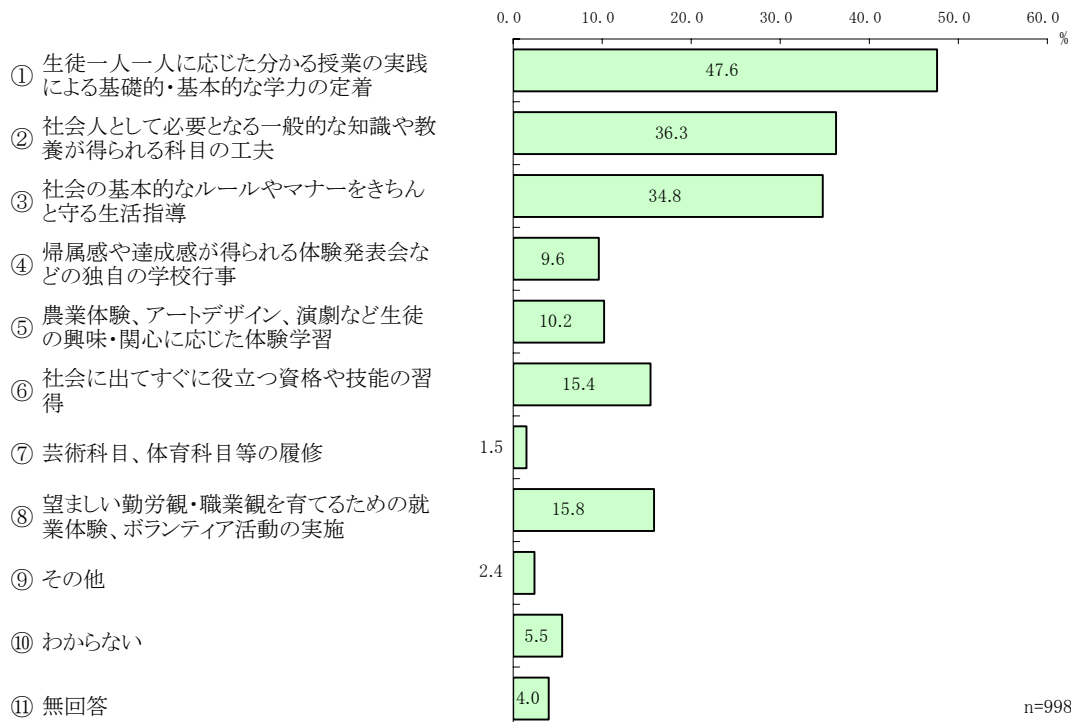
○二人担任制できめ細やかな指導

1クラスに2人の担任。学習相談や学校生活、進路指導などきめ細かく行います。

○試験より努力を評価

定期考査を行わず、どれだけできるようになったかという過程を評価します。

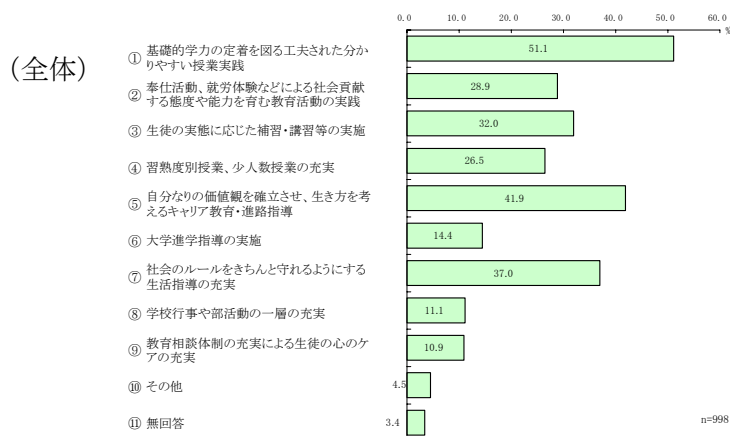
（全体）



ーエンカレッジスクールに特に重視して欲しい教育内容については、「生徒一人一人に応じた分かる授業の実践による基礎的・基本的な学力の定着」が47.6%と多いー

エンカレッジスクールに特に重視して欲しい教育内容については、「生徒一人一人に応じた分かる授業の実践による基礎的・基本的な学力の定着」が47.6%と最も多く、「社会人として必要となる一般的な知識や教養が得られる科目の工夫」が36.3%、「社会の基本的なルールやマナーをきちんと守る生活指導」が34.8%と多くなっている。

問 21 進学指導重点校やエンカレッジスクールを除いた全日制普通科学年制の都立高校に特に重視して欲しい教育内容は次のうちどれですか？（3つまで○）



－全日制普通科学年制の都立高校に特に重視して欲しい教育内容については、「基礎的学力の定着を図る工夫された分かりやすい授業実践」が 51.1%と多い－

全日制普通科学年制の都立高校に特に重視して欲しい教育内容については、「基礎的学力の定着を図る工夫された分かりやすい授業実践」が 51.1%と最も多く、「自分なりの価値観を確立させ、生き方を考えるキャリア教育・進路指導」が 41.9%、「社会のルールをきちんと守れるようにする生活指導の充実」が 37.0%と多くなっている。

#### 6-4 普通科単位制高校について

問 22 普通科単位制高校の学習をとおして、特に重視して欲しい教育内容は次のどれですか？（1つに○）（\* 5）

（\* 5）《普通科単位制高校とは》

決められた科目を学ぶのではなく、用意された科目の中から自分の興味・関心や進路希望に応じた科目を自分で選んで学べる学校です。

○いろいろな進路希望に対応できます

入学するときに自分の進路がはっきりしていなくても、多くの種類の選択科目が置いているので、学びながら進路について考え、決めた進路に向けて勉強できます。

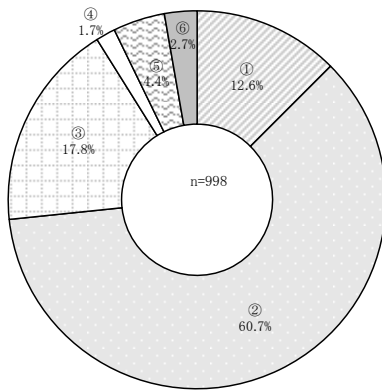
○自分でつくる時間割

学校で用意したいろいろな選択科目の中から、自分の学習希望や進路希望にあわせて、自分だけの時間割をつくって学ぶことができます。

○ガイダンスの充実

1年生からキャリアガイダンス（進路相談）をていねいに行います。それでも将来の進路希望が決められない場合は、いつでも相談に応じ、適切なアドバイスをを行います。

(全体)



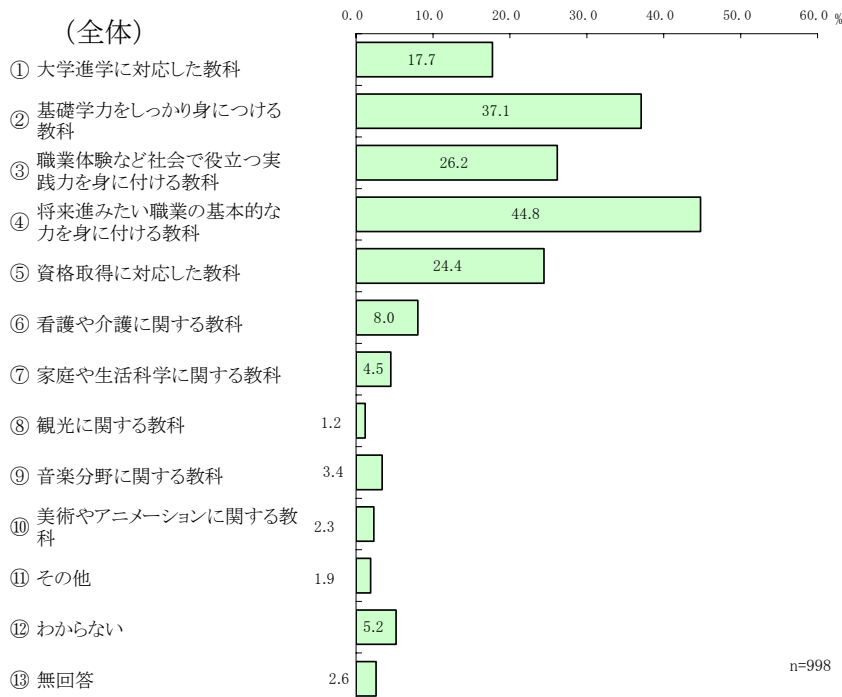
- ①国際交流や芸術教育など各高校に応じた特色ある教育
- ②自分の興味・関心のある教科の学習をとおして、得意分野を伸ばしていける教育
- ③基礎的、基本的な学習をとおし、職業人としてきちんと社会に参画できる教育
- ④その他
- ⑤わからない
- ⑥無回答

—普通科単位制高校の学習をとおして、特に重視して欲しい教育内容については、「自分の興味・関心のある教科の学習をとおして、得意分野を伸ばしていける教育」が60.7%と多い—

普通科単位制の都立高校に特に重視して欲しい教育内容については、「自分の興味・関心のある教科の学習をとおして、得意分野を伸ばしていける教育」が60.7%と最も多く、「基礎的、基本的な学習をとおし、職業人としてきちんと社会に参画できる教育」が17.8%、「国際交流や芸術教育など各高校に応じた特色ある教育」が12.6%と多くなっている。

問 23 多様な科目として設置する教科としてはどのような教科が適切ですか？（2つまで○）

(全体)



—設置する教科については、「将来進みたい職業の基本的な力を身に付ける教科」が44.8%と多い—

普通科単位制の都立高校に特に重視して欲しい教育内容については、「将来進みたい職業の基本的な力を身に付ける教科」が44.8%と最も多く、「基礎学力をしっかり身につける教科」が37.1%、「職業体験など社会で役立つ実践力を身に付ける教科」が26.2%と多くなっている。

6-5 進学重視型単位制高校について

問 24 進学重視型単位制高校に特に重視して欲しい教育内容は次のどれですか？（1つに○）  
（\* 6）

（\* 6）《進学重視型単位制高校とは》

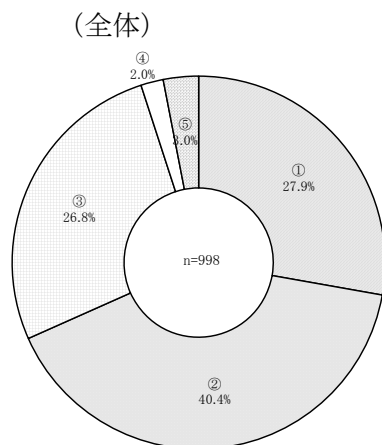
単位制の特長を活かして、生徒の大学進学希望の実現に力を入れる高校です。進学重視型単位制高校は新宿高校、墨田川高校、国分寺高校の3校です。

○大学進学に対応したたくさんの選択科目

大学進学にかかわり深い科目が多く設置され、進学に必要な科目、もっと力をつけたいと思う科目など、それぞれ必要に応じた授業を選べます。

○充実した補習授業

朝や放課後、土曜日や長期休業中など、それぞれの学校で積極的に補習授業が行われています。



- ①国公立大学を中心とした難関大学を目指して必要な学力を身につけることができる学校
- ②自ら立てた進路目標に向かって興味・関心に従って自主的に単位を選択できる学校
- ③大学進学を目指すと同時に、クラブ活動や行事等の学校生活が充実した学校
- ④その他
- ⑤無回答

一進学重視型単位制高校に特に重視して欲しい教育内容については、「自ら立てた進路目標に向かって興味・関心に従って自主的に単位を選択できる学校」が40.4%と多い一

進学重視型単位制高校に特に重視して欲しい教育内容については、「自ら立てた進路目標に向かって興味・関心に従って自主的に単位を選択できる学校」が40.4%と最も多く、「国公立大学を中心とした難関大学を目指して必要な学力を身につけることができる学校」が27.9%、「大学進学を目指すと同時に、クラブ活動や行事等の学校生活が充実した学校」が26.8%と多くなっている。

6-6 これからの専門高校の教育について

問 25 これからの専門高校（職業高校）（\* 7）の教育で特に重視して欲しい教育内容は何か？（2つまで○）

（\* 7）《専門高校（職業高校）》

専門高校（職業高校）は、農業、工業、商業、家庭等について専門的に学ぶ高校です。将来のスペシャリストを目指して、普通科目と専門科目を学びます。

### ○普通科にはない魅力的な教育

実習などの実際の、体験的な学習をとおして、専門的な技術や勤労観・職業観を身に付けることができます。普通科にはない魅力ある教育を行っています。在学中に様々な資格を取得できます。

### ○農業高校の特色

緑豊かな環境の中で、充実した施設・設備を活用して、園芸系、畜産系、食品系、環境系の技術を学ぶことができます。

### ○工業高校の特色

工業立国日本を支える技術者を目指して、機械系、電気系、化学系、建設系、工芸系などの楽しさを体験しながら学ぶことができます。

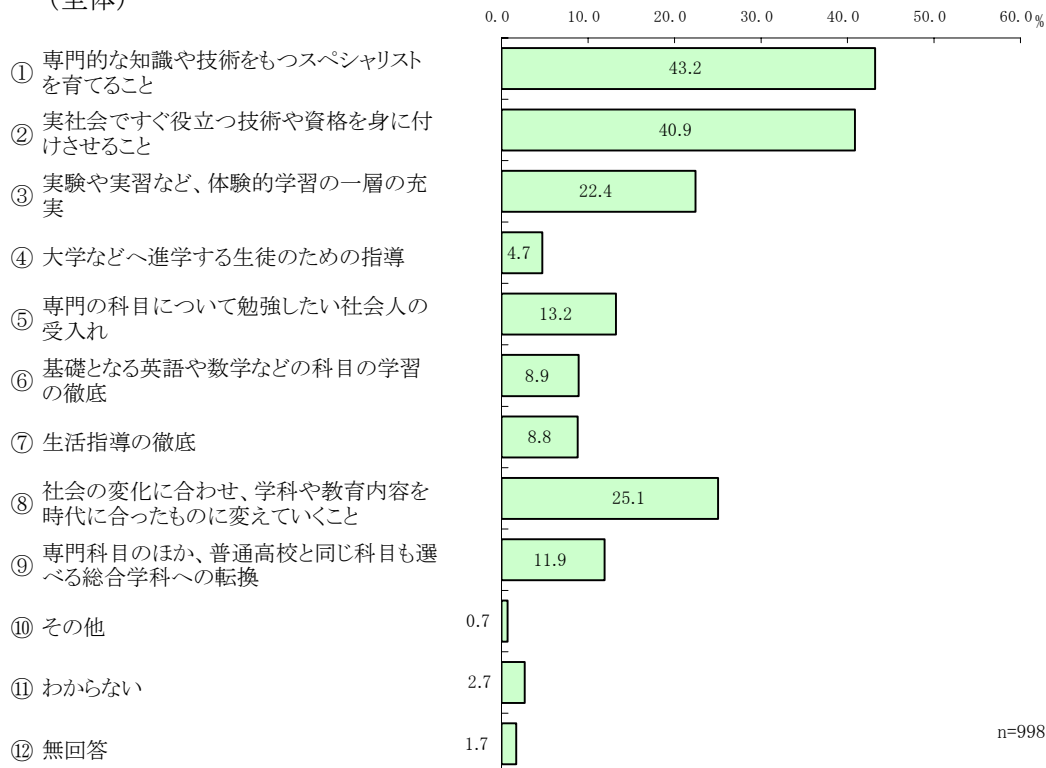
### ○商業高校の特色

21世紀の社会に役立つ商業系、情報処理系、総合ビジネス系の知識や技能を学びながら、いろいろな資格を取得して就職や進学に役立てることができます。

### ○家庭学科を置く高校の特色

将来の栄養士、保育士、デザイナー等になる基礎・基本を学ぶことで、心身とも自立した生活者の育成に努めます。家政系、食物系、服飾系、生活デザイン系の技術の楽しさを学べます。

(全体)



— 専門高校（職業高校）の教育で特に重視して欲しい教育内容については、「専門的な知識や技術をもつスペシャリストを育てること」が43.2%と多い—

専門高校（職業高校）の教育で特に重視して欲しい教育内容については、「専門的な知識や技術をもつスペシャリストを育てること」が43.2%と最も多く、「実社会ですぐ役立つ技術や資格を身に付けさせること」が40.9%、「社会の変化に合わせ、学科や教育内容を時代に合ったものに変えていくこと」が25.1%と多くなっている。

6-7 進学型専門高校（ビジネスコミュニケーション科）について

問 26 ビジネスコミュニケーション科（\*8）に特に重視して欲しい教育内容は何ですか？（2つまで○）

—（\*8）《進学型専門高校（ビジネスコミュニケーション科）とは》—

英語やビジネスについて興味・関心があり、ビジネスについての基本的な知識と、英語や実践的なコミュニケーションを学んで、将来のスペシャリストとして国際社会で活躍したいという生徒のための専門教育を行っています。卒業後は、社会科学系、人文科学系の大学進学を目的とした新しいタイプの専門高校です。すでに千早高校で開校していますが、平成21年度に大田地区に2校目の進学型専門高校を設置する予定です。

○コミュニケーション能力が身につけられます

国際理解のために、英語による実践的なコミュニケーション能力を身につけられます。

○経済の仕組みが学べます

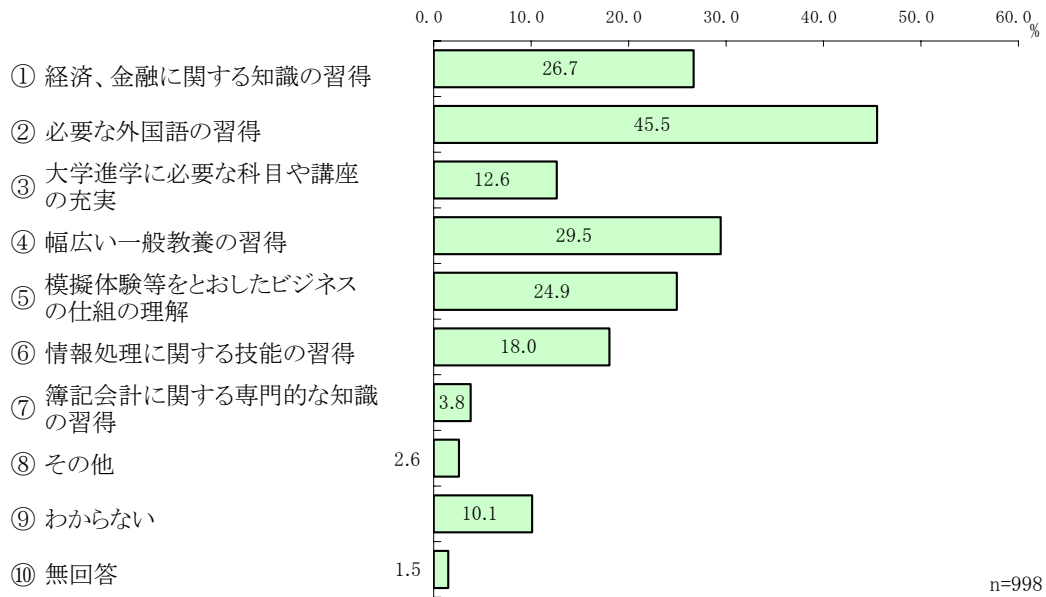
経済の仕組み、世の中の仕組みについてビジネス科目を通して学ぶことができます。また、情報処理を通じてICT社会（Information and Communication Technology）に対応できる情報の発信能力を身につけることができます。

○進路希望に応じられるように準備された選択科目

社会科学系、人文科学系の大学進学にそなえた進学講座（国語・英語）を設置しています。



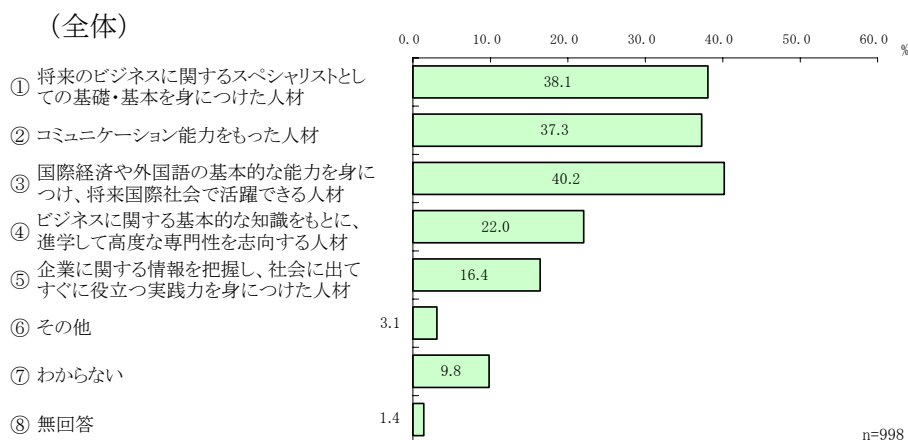
(全体)



ービジネスコミュニケーション科に特に重視して欲しい教育内容については、「必要な外国語の習得」が45.5%と多いー

ビジネスコミュニケーション科に特に重視して欲しい教育内容については、「必要な外国語の習得」が45.5%と最も多く、「幅広い一般教養の習得」が29.5%、「経済、金融に関する知識の習得」が26.7%と多くなっている。

問 27 ビジネスコミュニケーション科で特に育成して欲しい人材はどのような人材ですか。(2つまで○)



ービジネスコミュニケーション科で特に育成して欲しい人材については、「国際経済や外国語の基本的な能力を身につけ、将来国際社会で活躍できる人材」が40.2%と多いー

ビジネスコミュニケーション科で特に育成して欲しい人材については、「国際経済や外国語の基本的な能力を身につけ、将来国際社会で活躍できる人材」が40.2%と最も多く、「将来のビジネスに関するスペシャリストとしての基礎・基本を身につけた人材」が38.1%、「コミュニケーション能力をもった人材」が37.3%と多くなっている。

6-8 進学型専門高校（科学技術科）について

問 28 科学技術高校（\*9）に特に重視して欲しい教育内容は何ですか？（2つまで○）

（\*9）《進学型専門高校（科学技術科）とは》

科学について興味・関心があり、先端的な科学技術を学んで、将来のスペシャリストとして活躍したいという生徒のための専門教育を行っています。卒業後は、理系の大学等に進学し、更に高度な技術を学べるよう大学進学を目的とした新しいタイプの専門高校です。すでに江東区に科学技術高校を開校していますが、平成22年度に小金井地区に2校目の科学技術高校を設置する予定です。

○大学への進学を見据えた授業内容

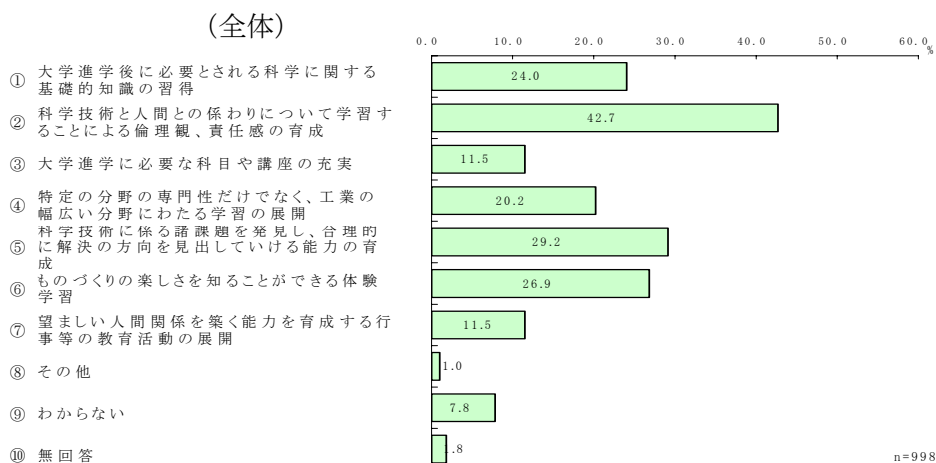
高校段階から、大学進学後の授業にも対応できるよう、広く科学技術について学んでいきます。

○科学技術高校ならではのユニークな授業

専門的な技能を身につけるだけでなく、実験・実習をとおして基礎から科学技術を学び、確かな学力の向上につながるように工夫した授業を行います。

○進路希望に応じられるように準備された選択科目

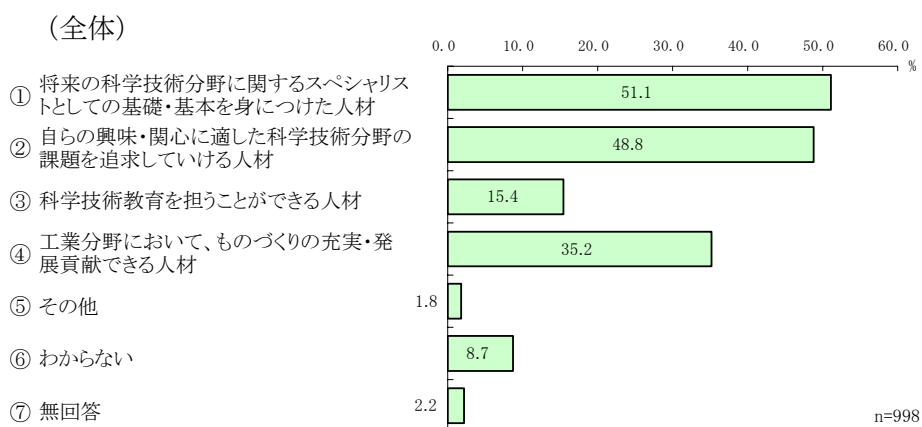
国公立大学の理工系の各学部への進学に備えた選択科目を設置しています。



—科学技術高校に特に重視して欲しい教育内容については、「科学技術と人間との係わりについて学習することによる倫理観、責任感の育成」が42.7%と多い—

科学技術高校に特に重視して欲しい教育内容については、「科学技術と人間との係わりについて学習することによる倫理観、責任感の育成」が42.7%と最も多く、「科学技術に係る諸課題を発見し、合理的に解決の方向を見出していける能力の育成」が29.2%、「ものづくりの楽しさを知ることができる体験学習」が26.9%と多くなっている。

問 29 科学技術高校で特に育成して欲しい人材はどのような人材ですか？（2つまで○）



—科学技術高校で特に育成して欲しい人材については、「将来の科学技術分野に関するスペシャリストとしての基礎・基本を身につけた人材」が51.1%と多い—

科学技術高校で特に育成して欲しい人材については、「将来の科学技術分野に関するスペシャリストとしての基礎・基本を身につけた人材」が51.1%と最も多く、「自らの興味・関心に適した科学技術分野の課題を追求していける人材」が48.8%、「工業分野において、ものづくりの充実・発展貢献できる人材」が35.2%と多くなっている。

6-9 デュアルシステム科について

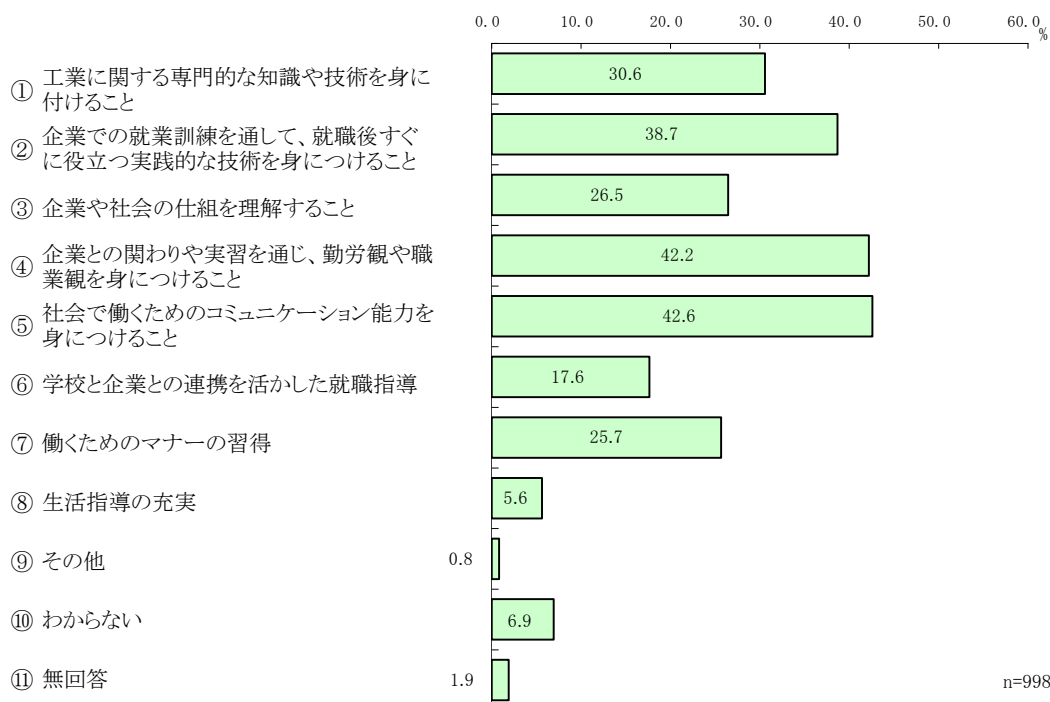
問 30 デュアルシステム科 (\* 1 0) に特に重視して欲しい教育内容は何か? (3つまで○)

(\* 1 0) 《デュアルシステム科とは》

デュアルシステムとは、学校と企業とが一緒になって生徒を育成する工業高校の新しい職業教育です。生徒が企業の一員として数か月間、企業で「働く訓練」を行い、その訓練を授業の一部として認めていく「働くことが学びになる」システムです。その訓練によって、卒業後の就職に役立つ生きた技術・技能を身に付けることができます。このシステムは、産業界から期待が寄せられています。

現在、六郷工科高校で実施しています。

(全体)



ーデュアルシステム科に特に重視して欲しい教育内容については、「社会で働くためのコミュニケーション能力を身につけること」が 42.6%と多いー

デュアルシステム科に特に重視して欲しい教育内容については、「社会で働くためのコミュニケーション能力を身につけること」が 42.6%と最も多く、「企業との関わりや実習を通じ、勤労観や職業観を身につけること」が 42.2%、「企業での就業訓練を通して、就職後すぐに役立つ実践的な技術を身につけること」が 38.7%と多くなっている。

6-10 総合学科高校について

問 31 総合学科高校（\*11）に特に重視して欲しい教育内容は何ですか？（2つまで○）

（\*11）《総合学科高校とは》

国語や理科などの普通科目から商業や工業、情報や美術などの専門科目まで、自分の興味・関心や進路希望に応じて幅広く学べる学校です。平成8年4月に都立として初めての総合学科高校「晴海総合高校」（中央区）を開校しました。「計画」では、総合学科高校を都全体で10校程度設置する予定です。

○ 自分の進路にあわせて学べる

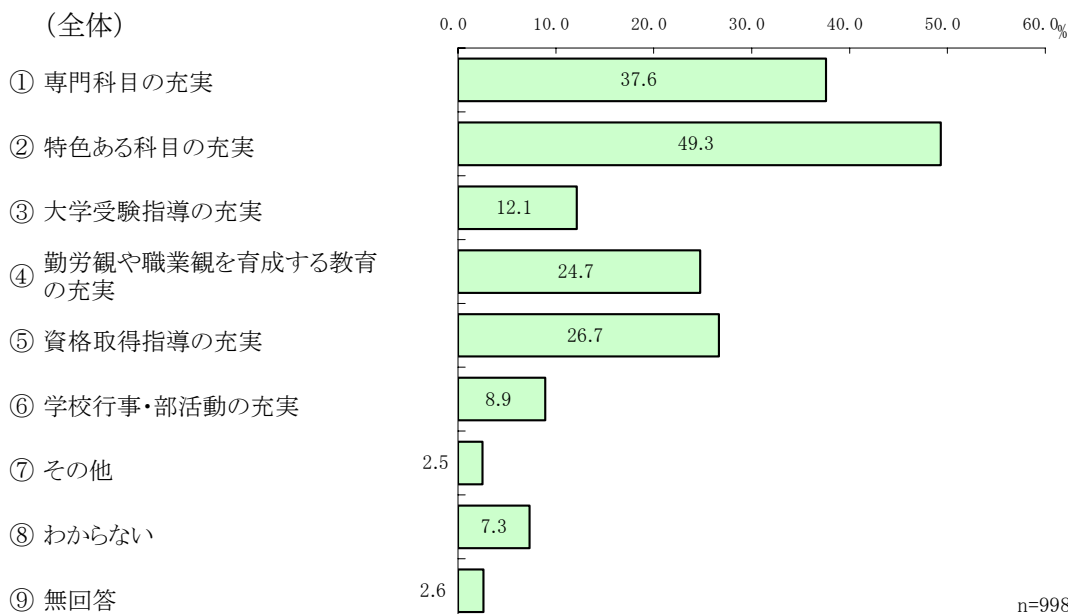
「高校入学の段階では、まだ進路を決めていないので、学びながら進路を決めたい。」「将来、自分が目指す職業の知識や技術を学びたい。」など、自分の興味関心に応じて、普通教科から専門教科まで幅広く学べます。

○ 自分でつくる時間割

自分の個性や進路希望にあわせて、学校が用意した多くの科目の中から、自分だけの時間割をつくって学んでいけます。

○ ガイダンスの充実

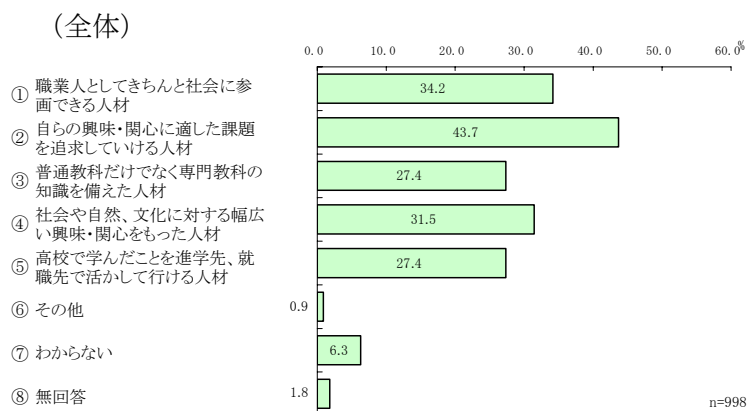
将来の進路や選択科目を自分で決められるように、専門の先生がいつでも相談に応じ、適切なアドバイスをします。



—総合学科高校に特に重視して欲しい教育内容については、「特色ある科目の充実」が 49.3%と多い—

総合学科高校に特に重視して欲しい教育内容については、「特色ある科目の充実」が 49.3%と最も多く、「専門科目の充実」が 37.6%、「資格取得指導の充実」が 26.7%と多くなっている。

問 32 普通教科とともに専門教科を総合的に学べる総合学科高校で特に育成して欲しい人材はどのような人材ですか？（2つまで○）



—総合学科高校で特に育成して欲しい人材については、「自らの興味・関心に適した課題を追求していける人材」が43.7%と多い—

総合学科高校で特に育成して欲しい人材については、「自らの興味・関心に適した課題を追求していける人材」が43.7%と最も多く、「職業人としてきちんと社会に参画できる人材」が34.2%、「社会や自然、文化に対する幅広い興味・関心をもった人材」が31.5%と多くなっている。

#### 6-11 定時制教育で特に取り組むべき点

問 33 これからの定時制教育（※12）で特に取り組むべき点は何だとお考えですか？（2つまで○）

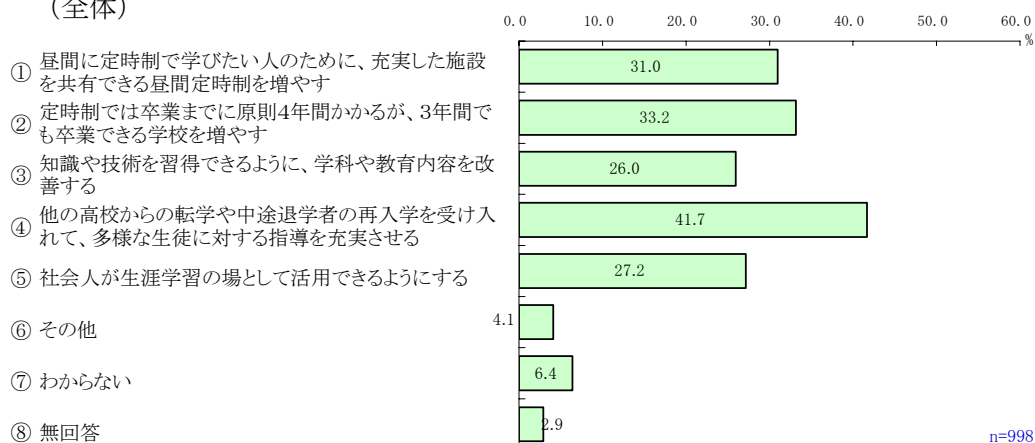
#### （※12）《都立の定時制高校について》

平成18年5月現在定時制高校は94校2分校あり、このうち夜間だけでなく昼間も学べる昼夜間定時制高校（チャレンジスクールを含む。）は8校設置されています。都立の全日制は1クラスの定員を35～40人にしていますが、定時制では定員を30人としてきめ細かな指導を行っています。

近年、夜間定時制高校では働きながら学ぶ生徒が少数となり、不登校経験をもつ生徒や全日制高校を中途退学した生徒など多様な生徒を受け入れています。また、この変化に伴い、現在の夜間定時制には昼間に学ぶことを希望する生徒が多く在籍するようになってきました。

「計画」では、このような生徒の多様化に対応するため、「新たなタイプの昼夜間定時制高校」（午前・午後・夜間の3部制、単位制普通科）を4校設置、「チャレンジスクール」（午前・午後・夜間の3部制、単位制総合学科）を5校設置することにしています。

(全体)



— これからの定時制教育で特に取り組むべき点については、「他の高校からの転学や中途退学者の再入学を受け入れて、多様な生徒に対する指導を充実させる」が41.7%と多い —

これからの定時制教育で特に取り組むべき点については、「他の高校からの転学や中途退学者の再入学を受け入れて、多様な生徒に対する指導を充実させる」が41.7%と最も多く、次いで「3年間でも卒業できる学校を増やす」33.2%、「昼間に定時制で学びたい人のために、充実した施設を共有できる昼間定時制を増やす」が31.0%と多くなっている。

#### 6-12 昼夜間定時制高校の教育内容について

問 34 昼夜間定時制高校（\*13）に特に重視して欲しい教育内容は何ですか？（2つまで○）

#### （\*13）《新たなタイプの昼夜間定時制高校とは》

新たなタイプの昼夜間定時制高校とは、夜だけではなく、午前・午後・夜間の各時間帯から選んで入学できる高校です。周辺の夜間定時制を統合しながら、交通の利便性や地域の特性に配慮しながら設置を進めており、現在、一橋高校、浅草高校の2校が開校しています。平成19年度には、杉並地区昼夜間定時制高校、八王子地区昼夜間定時制高校の2校が開校する予定です。

#### ○3年で卒業することも可能です

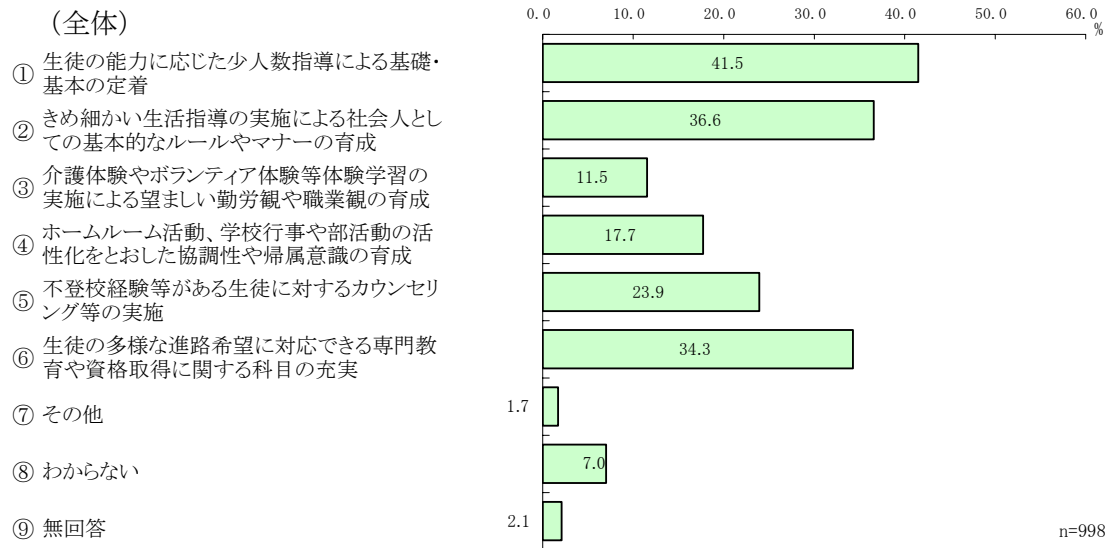
午前・午後・夜間の自分の所属する部で、1日4時間ずつ4年間かけて学ぶことが基本ですが、他の部を合わせて1日6時間授業を受けられるので、3年で卒業することもできます。

#### ○きめ細かい指導が受けられます

1クラス30人定員です。また、基礎基本を重視して、習熟度別授業や少人数指導などきめ細かな指導が受けられます。

#### ○自分の学習計画が立てられます

単位制なので、学習の進み具合に合わせて学習計画を立てられます。



—昼夜間定時制高校に特に重視して欲しい教育内容については、「生徒の能力に応じた少人数指導による基礎・基本の定着」が41.5%と多い—

昼夜間定時制高校に特に重視して欲しい教育内容については、「生徒の能力に応じた少人数指導による基礎・基本の定着」が41.5%と最も多く、「きめ細かい生活指導の実施による社会人としての基本的なルールやマナーの育成」が36.6%、「生徒の多様な進路希望に対応できる専門教育や資格取得に関する科目の充実」が34.3%と多くなっている。



6-13 チャレンジスクールについて

問 35 チャレンジスクール（\*14）の生徒にどのような能力を身につけさせて社会に送り出すべきと考えますか？（2つまで○）

（\*14）《チャレンジスクールとは》

小中学校で学校になじめず不登校の経験があったり、高校での中途退学を経験したり、これまで自分の個性や能力を十分に発揮できなかったが、自分の夢や目標に向かってもう一度はじめからチャレンジしたいという生徒を応援する学校です。現在4校（桐ヶ丘高校、世田谷泉高校、大江戸高校、六本木高校）で開校しており、平成19年4月に中野地区に開校予定の1校を加え合計5校の設置を計画しています。

○午前部から学べる三部制の単位制高校です

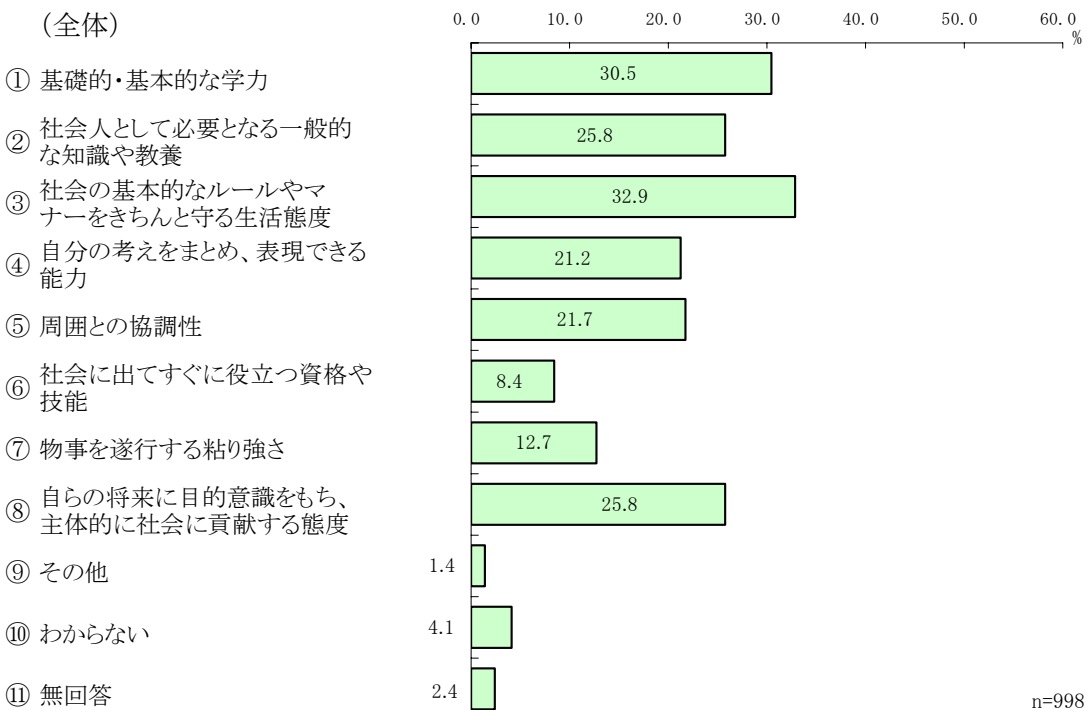
午前・午後・夜間の各部からなる昼夜開校の3部制の高校です。学年がない単位制の高校で、多くの科目の中から選択して、一人一人が時間割をつくることができます。

○専門科目を学べます

普通科目以外にも、丁寧なキャリアガイダンスを受けながら、さまざまな専門科目（例、商業、美術等）を学ぶことができます。

○体験的な学習を重視しています

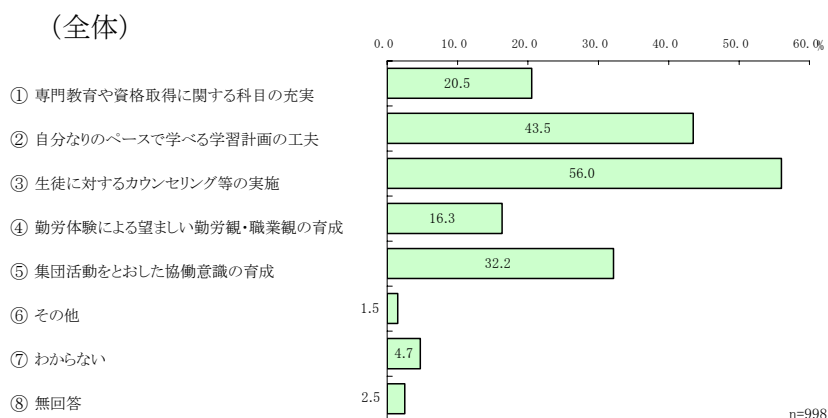
ボランティア、福祉活動等体験的な活動を通じて、豊かな人間性を育成します。



ーチャレンジスクールの生徒にどのような能力を身につけさせて社会に送り出すべきかについては、「社会の基本的なルールやマナーをきちんと守る生活態度」が32.9%と多いー

チャレンジスクールの生徒にどのような能力を身につけさせて社会に送り出すべきかについては、「社会の基本的なルールやマナーをきちんと守る生活態度」が32.9%と最も多く、「基礎的・基本的な学力」が30.5%、「社会人として必要となる一般的な知識や教養」、「自らの将来に目的意識をもち、主体的に社会に貢献する態度」がそれぞれ25.8%と多くなっている。

### 問 36 チャレンジスクールに特に重視して欲しい教育内容は何ですか？（2つまで○）



ーチャレンジスクールに特に重視して欲しい教育内容については、「生徒が分からないことや困ったことについて日常的に教師に相談できる体制や、不登校経験等がある生徒に対するカウンセリング等の実施」が56.0%と多いー

チャレンジスクールに特に重視して欲しい教育内容については、「生徒が分からないことや困ったことについて日常的に教師に相談できる体制や、不登校経験等がある生徒に対するカウンセリング等の実施」が56.0%と最も多く、「生徒の学習進度や個性、能力、適性に応じて、自分なりのペースで学べる学習計画の工夫」が43.5%、「生徒間の温かな友情が形成されるよう、集団活動をととした協働意識の育成」が32.2%と多くなっている。

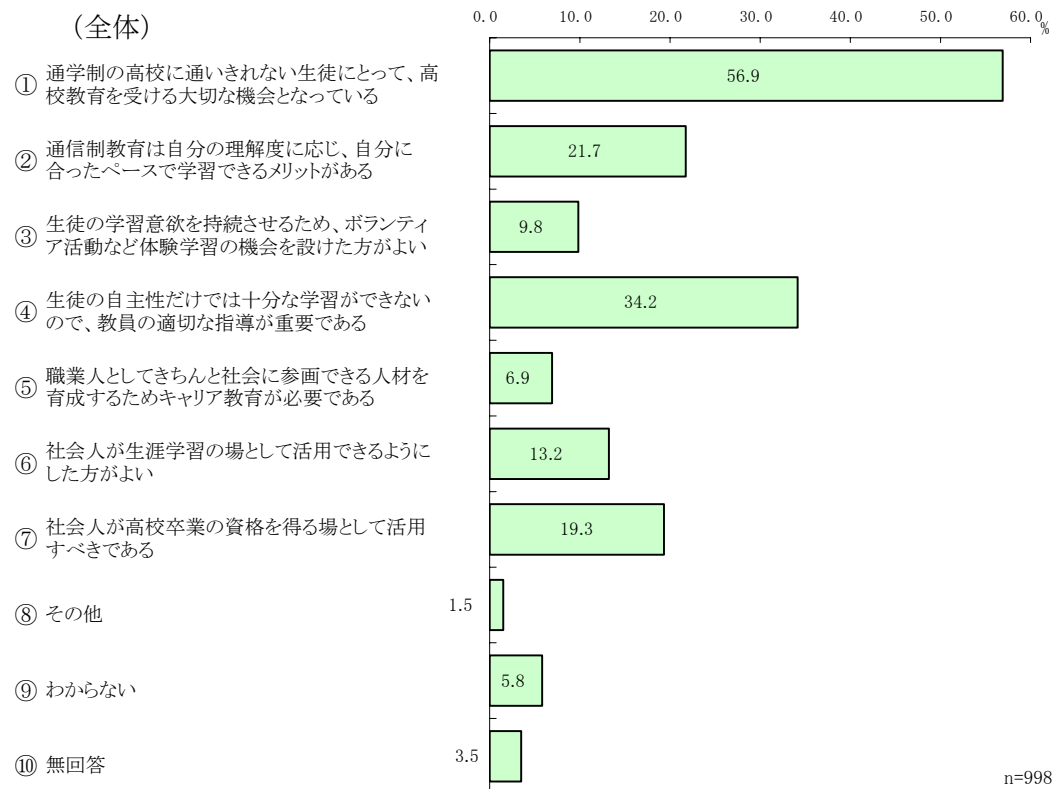
## 6-14 通信教育について

問 37 何らかの理由で毎日学校に通学できない場合でも、意欲があれば学ぶことのできる通信制教育（\*15）について、どのようにお考えですか？（2つまで○）

### （\*15）《通信制教育について》

都立の通信制高校は、何らかの理由で毎日学校に通学できない場合でも、意欲があれば学ぶことのできる学校で、平成18年5月現在、新宿山吹高校、一橋高校、砂川高校の3校を設置しています。通信制高校ではプリントによる自己学習を基本にして、レポートの添削指導やスクーリング等により学習を行います。そのため、生徒は自分の都合のよい時間に、学習することができます。

また、自分の理解度の弱いところを重点的に勉強するなど、自分のペースで学習を進めることが可能です。



—通信制教育については、「通学制の高校に通いきれない生徒にとって、高校教育を受ける大切な機会となっている」が56.9%と多い—

通信制教育については、「通学制の高校に通いきれない生徒にとって、高校教育を受ける大切な機会となっている」が56.9%と最も多く、「生徒の自主性だけでは十分な学習ができないので、教員の適切な指導が重要である」が34.2%、「通信制教育は自分の理解度に応じ、自分に合ったペースで学習できるメリットがある」が21.7%と多くなっている。

6-15 中高一貫教育校について

問 38 公立中高一貫教育校（\*16）の魅力は何ですか？（2つまで○）

（\*16）《中高一貫教育校とは》

中高一貫教育校は、中学から高校までの6年間を継続してじっくり学ぶことができる学校です。6年間にわたる一貫した教育活動を計画的・効率的に行うことにより、学力や教養を身につけ、将来、社会の様々な場面、分野でのリーダーとなりうる人材を育てていきます。

○6年間を見通した教育

6年間見通した学習プログラムの中で、自分の得意なことを伸ばしたり、好きなことにじっくり取り組んでいけます。6年間の生活の中で、自然体験や社会体験などの体験学習にも力を入れます。

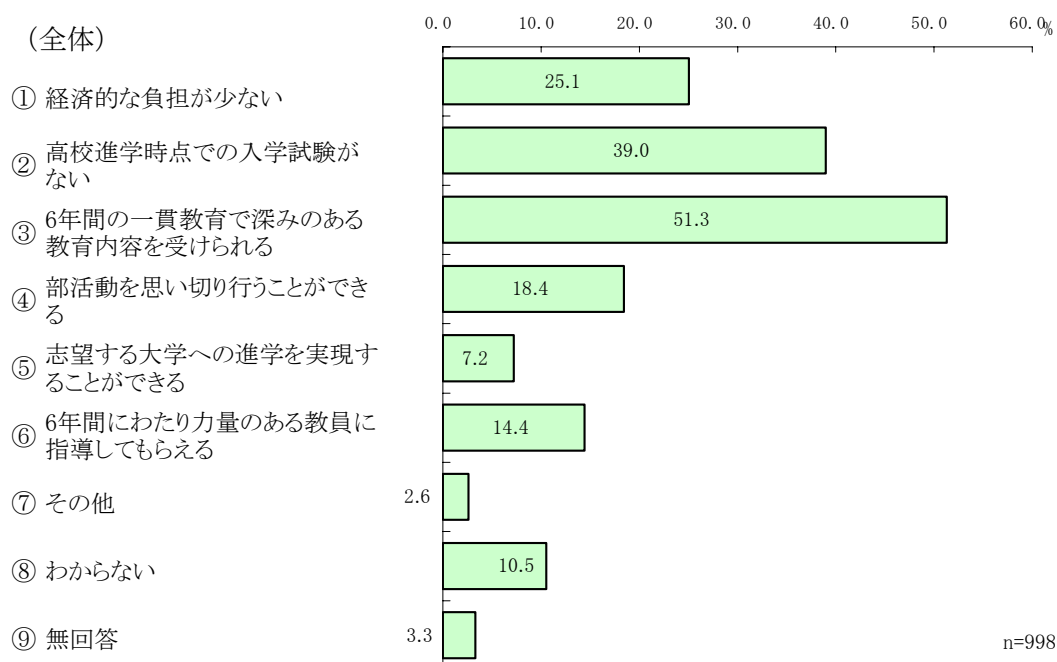
○中学生と高校生との連携

中学生と高校生が、文化祭や体育祭などの学校行事や部活動などに一緒に取り組めるようになり、充実した学校生活を送ることができます。

平成17年4月には、都立白鷗高等学校附属中学校、平成18年4月には、桜修館中等教育学校、小石川中等教育学校、両国高等学校附属中学校の3校に加え、千代田区立九段中等教育学校が新設されました。

今後、平成20年4月には、武蔵野地区中高一貫6年制学校及び立川地区中高一貫6年制学校が、平成22年4月には、中野地区、練馬地区、八王子地区及び三鷹地区各中高一貫6年制学校が設置される予定です。

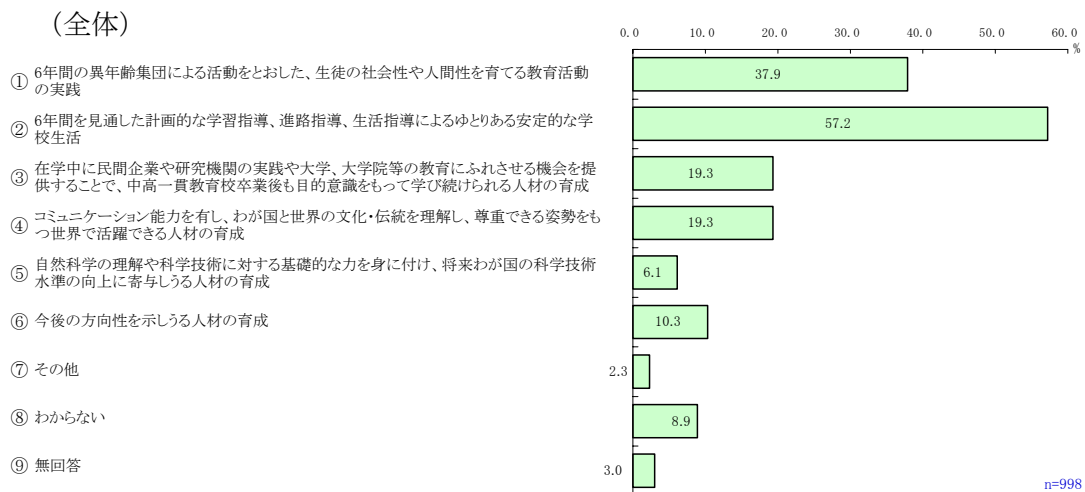
（全体）



ー公立中高一貫教育校の魅力については、「6年間の一貫教育で深みのある教育内容を受けられる」が51.3%と多いー

公立中高一貫教育校の魅力については、「6年間の一貫教育で深みのある教育内容を受けられる」が51.3%と最も多く、「高校進学時点での入学試験がない」が39.0%、「経済的な負担が少ない」が25.1%と多くなっている。

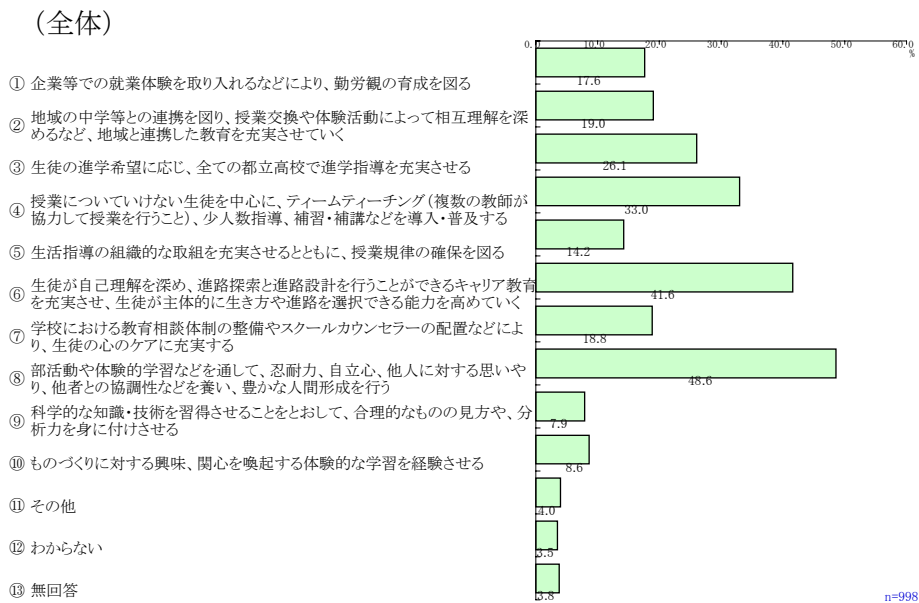
問 39 公立中高一貫教育校に特に重視して欲しい教育内容は何ですか？（2つまで○）



ー公立中高一貫教育校に特に重視して欲しい教育内容については、「6年間を見通した計画的な学習指導、進路指導、生活指導によるゆとりある安定的な学校生活」が57.2%と多いー

公立中高一貫教育校に特に重視して欲しい教育内容については、「6年間を見通した計画的な学習指導、進路指導、生活指導によるゆとりある安定的な学校生活」が57.2%と最も多く、「6年間の異年齢集団による活動をとおした、生徒の社会性や人間性を育てる教育活動の実践」が37.9%と多くなっている。

問 40 今後、都立高校は特にどのような取組に力を入れるべきだとお考えですか？（3つまで○）



ー今後、都立高校は特にどのような取組に力を入れるべきかについては、「部活動や体験的学習などを通して、忍耐力、自立心、他人に対する思いやり、他者との協調性を養い、豊かな人間形成を行う」が 48.6%と多いー

今後、都立高校は特にどのような取組に力を入れるべきかについては、「部活動や体験的学習などとおして、忍耐力、自立心、他人に対する思いやり、他者との協調性を養い、豊かな人間形成を行う」が 48.6%と最も多く、「生徒が自己理解を深め、進路探索と進路設計を行うことができるキャリア教育を充実させ、生徒が主体的に生き方や進路を選択できる能力を高めていく」が 41.6%、「授業についていけない生徒を中心に、チームティーチング（複数の教師が協力して授業を行うこと）、少人数指導、補習・補講などを導入・普及する」が 33.0%と多くなっている。

## 2.1.7 都立高校の教師について

### 7-1 都立高校の教師の印象について(総評)

問 40 都立高校の教師に対してどのような印象がありますか？(項目ごとに1つに○)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	肯定	否定
	そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答		
(1)教育熱心	3.1	15.4	35.3	18.1	7.8	15.7	4.3	18.5	< 26.0
(2)生徒をよく理解している	2.4	10.6	33.1	23.4	9.9	16.5	4.0	13.0	< 33.4
(3)指導力がある	1.7	10.3	35.1	23.4	9.3	16.3	3.8	12.0	< 32.8
(4)授業が上手	0.8	7.1	37.7	21.0	9.8	19.2	4.3	7.9	< 30.9
(5)部活動などに熱心	3.3	16.1	32.4	18.0	9.2	16.9	3.8	19.6	< 27.3
(6)保護者とよく連絡をとっている	1.6	6.0	29.0	25.4	14.8	19.5	3.7	7.6	< 40.2

—都立高校の教師の印象については、「教育熱心」、「部活動などに熱心」は肯定的印象と否定的印象が比較的拮抗しているが、「生徒をよく理解している」、「指導力がある」、「授業が上手」、「保護者とよく連絡をとっている」は、30%程度が否定的印象である—

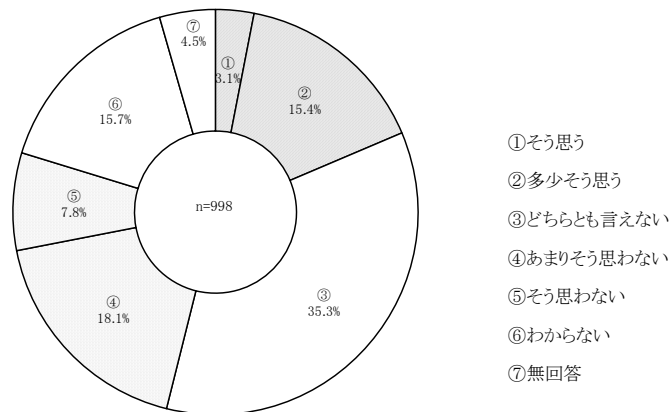
都立高校の教師の印象については、「教育熱心」、「部活動などに熱心」は、「そう思う」と「多少そう思う」を合わせた肯定的印象がそれぞれ18.5%、19.6%と、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた否定的印象のそれぞれ26.0%、27.3%と比較的拮抗している。

一方、「生徒をよく理解している」、「指導力がある」、「授業が上手」、「保護者とよく連絡をとっている」については、「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせると、それぞれ33.4%、32.8%、30.9%、40.2%となり、30%程度が否定的印象を持っている。

7-2 都立高校の教師の印象について(各項目別)

(1) 教育熱心

(全体)



- ① そう思う
- ② 多少そう思う
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまりそう思わない
- ⑤ そう思わない
- ⑥ わからない
- ⑦ 無回答

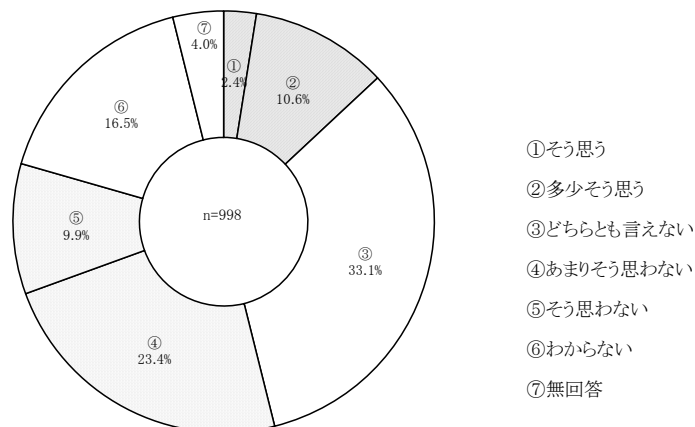
— 「教育熱心」は、否定的印象が26.0%とやや多い—

「教育熱心」について、「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた否定的印象が26.0%とやや多くなっている。

一方、「そう思う」、「多少そう思う」を合わせた肯定的印象は18.5%にとどまっている。また、「どちらとも言えない」が35.3%と多くなっている。

(2) 生徒をよく理解している

(全体)



- ① そう思う
- ② 多少そう思う
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまりそう思わない
- ⑤ そう思わない
- ⑥ わからない
- ⑦ 無回答

— 「生徒をよく理解している」は、否定的印象が33.4%と多い—

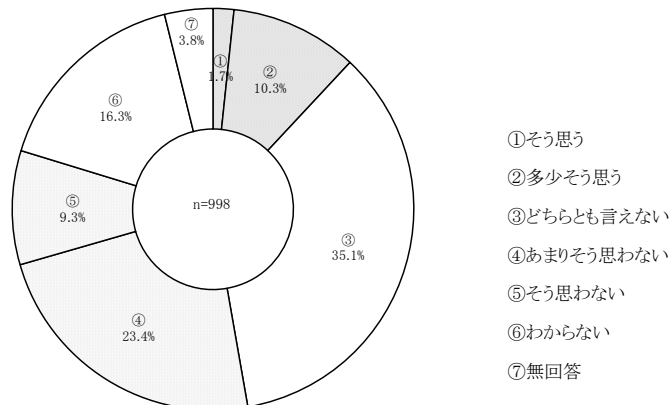
「生徒をよく理解している」について、「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた否定的印象が33.4%と多くなっている。

一方、「そう思う」、「多少そう思う」を合わせた肯定的印象は13.0%にとどまっている。また、「どちらとも言えない」が33.1%と多くなっている。



### (3) 指導力がある

(全体)



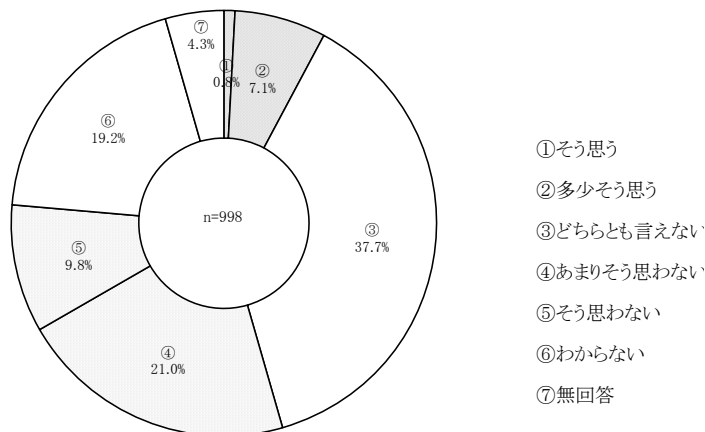
#### — 「指導力がある」は、否定的印象が 32.8%と多い—

「指導力がある」について、「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた否定的印象が 32.8%と多くなっている。

一方、「そう思う」、「多少そう思う」を合わせた肯定的印象は 12.0%にとどまっている。また、「どちらとも言えない」が 35.1%と多くなっている。

### (4) 授業が上手

(全体)



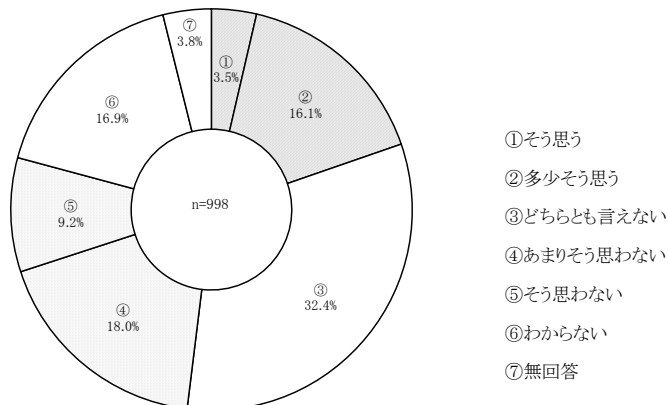
#### — 「授業が上手」は、否定的印象が 30.9%と多い—

「授業が上手」について、「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた否定的印象が 30.9%と多くなっている。

一方、「そう思う」、「多少そう思う」を合わせた肯定的印象は 7.9%にとどまっている。また、「どちらとも言えない」が 37.7%と多くなっている。

(5)部活動などに熱心

(全体)



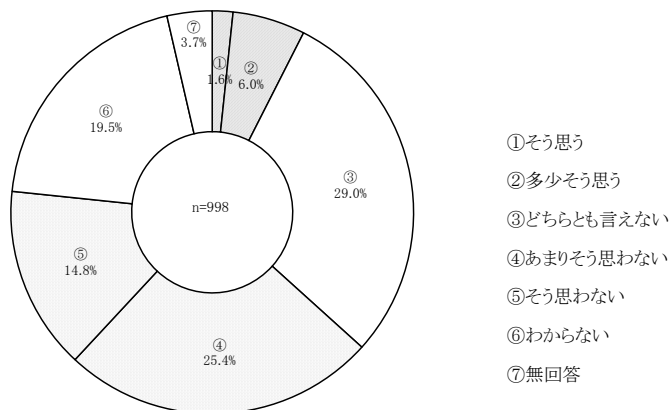
— 「部活動などが熱心」は、否定的印象が27.3%とやや多い—

「部活動などが熱心」について、「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた否定的印象が27.3%とやや多くなっている。

一方、「そう思う」、「多少そう思う」を合わせた肯定的印象は19.6%にとどまっている。また、「どちらとも言えない」が32.4%と多くなっている。

(6)保護者とよく連絡をとっている

(全体)



— 「保護者とよく連絡をとっている」は、否定的印象が40.2%と多い—

「保護者とよく連絡をとっている」について、「そう思わない」、「あまりそう思わない」を合わせた否定的印象が40.2%と多くなっている。

一方、「そう思う」、「多少そう思う」を合わせた肯定的印象は7.6%にとどまっている。また、「どちらとも言えない」が29.0%と多くなっている。

### 7-3 民間人校長について

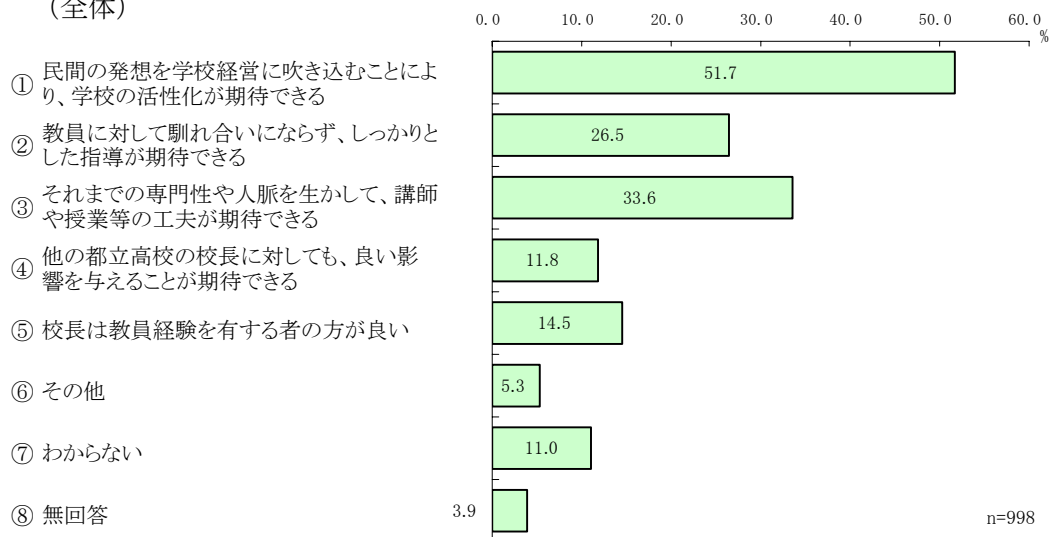
問 42 教員以外の者（例えば、企業等の勤務経験のある者）を都立高校の校長として任用すること（\*17）についてどのように考えますか？（2つまで○）

#### （\*17）《民間人校長》

平成12年1月に法令が改正され、教員免許の有無にかかわらず、学校運営に、真に優れたリーダーシップを有する人を公立学校の校長として任用することが可能になりました。

これは、学校の実情に応じ、幅広く人材を確保する観点から行われたもので、民間企業などで培った経営感覚や組織運営能力を学校経営に生かし、個性や特色ある学校活動が展開されることを期待しています。

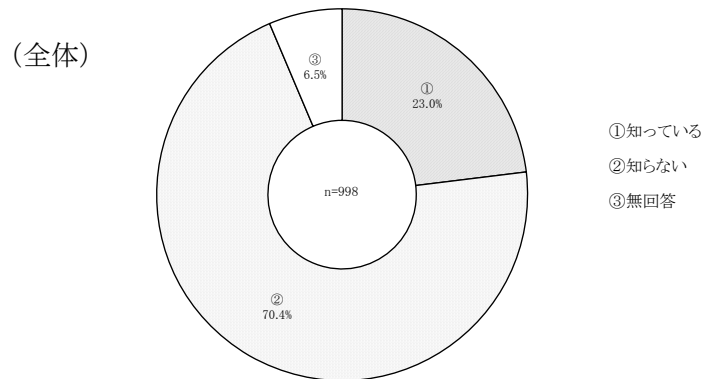
（全体）



ー民間人校長の任用については、「民間の発想を学校経営に吹き込むことにより、学校の活性化が期待できる」が51.7%と最も多いー

民間人校長の任用については、「民間の発想を学校経営に吹き込むことにより、学校の活性化が期待できる」が51.7%で最も多く、次いで「それまでの専門性や人脈を生かして、講師や授業等の工夫が期待できる」が33.6%、「教員に対して馴れ合いにならず、しっかりとした指導が期待できる」26.5%となっている。

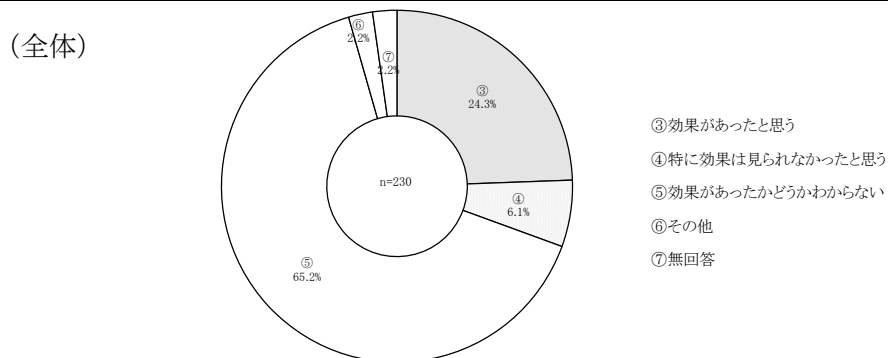
問 43 今まで、都立高島高校（平成13年度～17年度）、都立つばさ総合高校（平成13年度～）、都立青山高校、都立千早高校（平成15年度～）の校長に、教員以外の者を任用してきたことをご存知ですか



—都立高島高校、都立つばさ総合高校、都立青山高校、都立千早高校の校長については、「知らない」が70.4%と多い—

都立高島高校、都立つばさ総合高校、都立青山高校、都立千早高校の校長については、「知らない」が70.4%と多く、知っていた人は23.0%である。

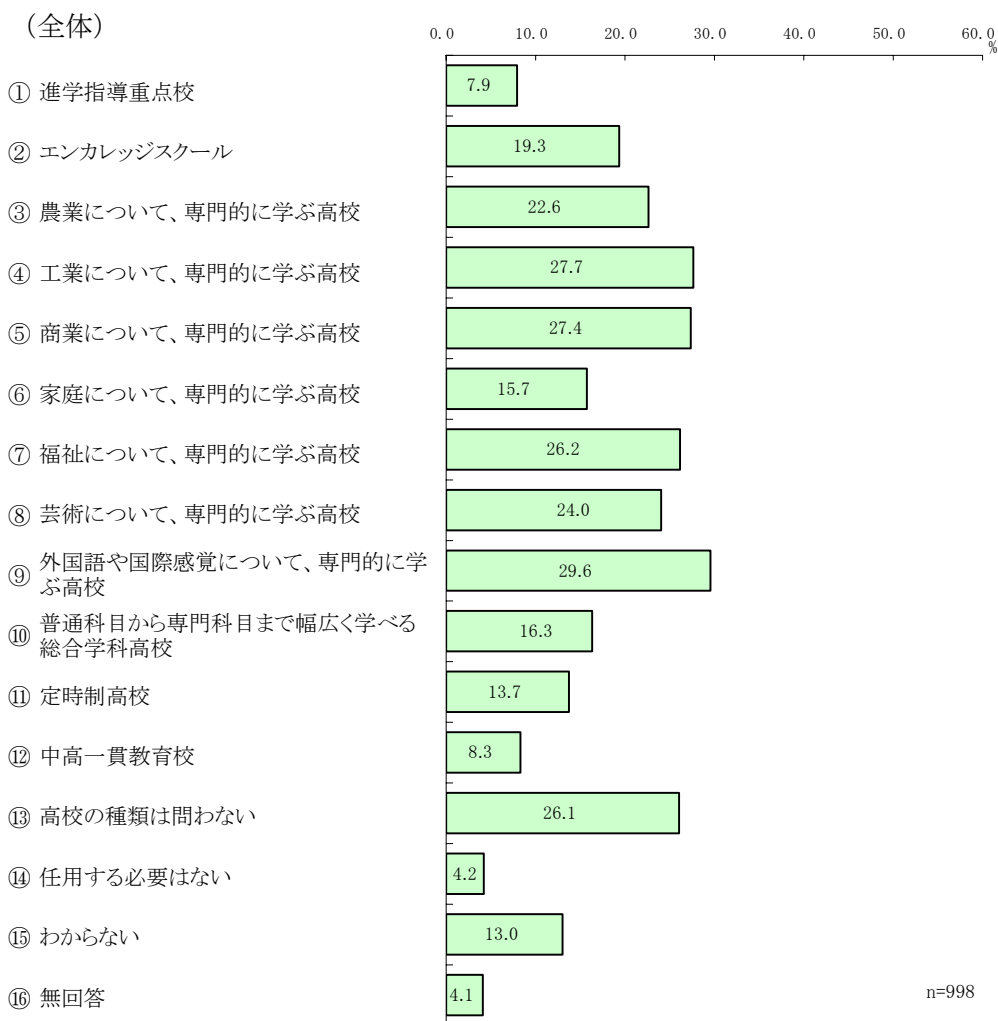
問 43 また効果があったと思いますか？ 1に○をされた方は → にお進みください。(1つ○)



—効果があったかについては、「わからない」が65.2%と多い—

民間の校長について「効果があった」と考えている人は24.3%で、65.2%の人が「わからない」である。

問 44 今後、教員以外の者を都立高校の校長に任用するのは、どのような学校がいいですか？（複数回答可）



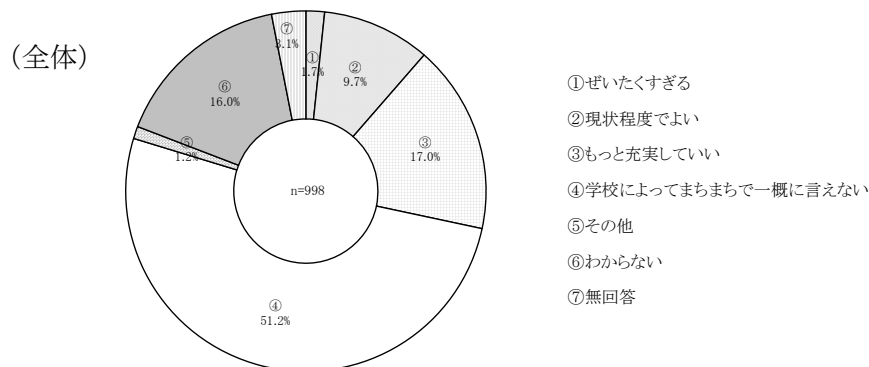
—今後、教員以外の者を都立高校の校長に任用すべき学校については、「外国語や国際感覚について、専門的に学ぶ高校」29.6%と最も多い—

今後、教員以外の者を都立高校の校長に任用すべき学校については、「外国語や国際感覚について、専門的に学ぶ高校」が29.6%で最も多く、次いで「工業について専門的に学ぶ高校」27.7%、「商業について、専門的に学ぶ高校」27.4%、「福祉について、専門的に学ぶ高校」が26.2%となっている。

## 2.1.8 都立高校の施設について

### 8-1 都立高校の施設の印象

問 45 都立高校の施設にはどのような印象をお持ちですか？（1つに○）

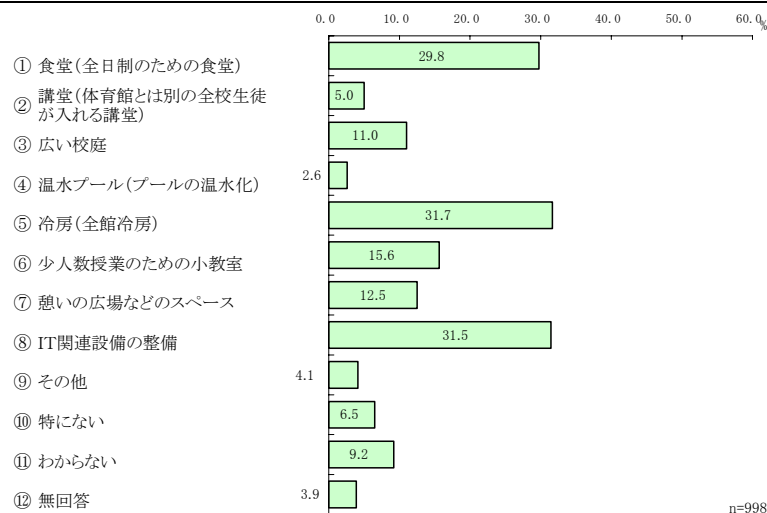


—都立高校の施設の印象については、「学校によってまちまちで一概に言えない」が 51.2%と最も多い—

都立高校の施設の印象については、「学校によってまちまちで一概に言えない」が 51.2%と最も多くなっている。次いで「もっと充実していい」17.0%、「わからない」16.0%である。一方、「ぜいたくすぎる」という意見は1.7%と少ない。

### 8-2 都立高校に必要な施設・設備

問 46 これからの都立高校には、どんな施設や設備が必要だと思いますか？（2つまで○）



—都立高校に必要な施設・設備については、「冷房（全体冷房）」が 31.7%と最も多い—

都立高校に必要な施設・設備については、「冷房（全館冷房）」が 31.7%と最も多く、次いで「IT関連設備の整備」31.5%、「食堂（全日制のための食堂）」29.8%となっている。

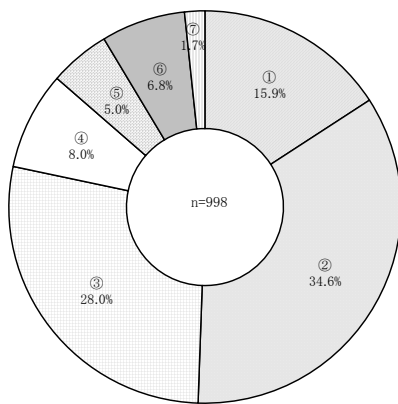
### 8-3 都立高校の授業料について

問 47 都立高校の授業料（\*18）は今後どうすべきだと思いますか？（1つに○）

#### （\*18）《都立高校に要する経費について》

都立高校に要した経費（施設整備費を含む）を生徒1人あたりに換算すると年間約約127万8千円となります（平成16年度）。一方、都立高校（全日制）の授業料は1人あたり年間11万5千2百円となっています。残りの経費は、基本的に税金で負担していますが、今後教育環境の向上を図るうえで、更なる経費の増大も予想されます。

（全体）



- ①生徒減少で一人当たりの経費が増える場合には、授業料が上がるのはやむを得ない
- ②都立高校の教育環境が向上するならば、授業料が上がるのはやむを得ない
- ③現在程度の授業料のままで良い
- ④税金による負担が増えても現在の授業料を安くすべき
- ⑤その他
- ⑥わからない
- ⑦無回答

—今後の都立高校の授業料のあり方については、「都立高校の教育環境が向上するならば、授業料が上がるのはやむを得ない」が34.6%と最も多い—

今後の都立高校の授業料のあり方については、「都立高校の教育環境が向上するならば、授業料が上がるのはやむを得ない」が34.6%で最も多く、次いで「現在程度の授業料のままで良い」28.0%、「生徒減少で一人当たりの経費が増える場合には、授業料が上がるのはやむを得ない」15.9%となっている。

### 2.1.9 これからの都立高校について

問 48 こうした状況も踏まえ（\*19）、これからの都立高校はどうあるべきか、率直なご意見をお聞かせください。

#### \*19 これからの都立高校について

以上のおり都立高校をめぐる状況は近年大きく変化しており、特色ある学校づくりや開かれた学校づくりを進めていくことが求められています。このため、

- ①教育内容・方法の改善・充実
- ②教員の資質向上
- ③施設整備の充実
- ④規模と配置の適正化

などを図り、都民にとってより一層魅力のある学校にしていくことが課題となっています。

これからの都立高校のあり方について自由意見を聞いたところ、回収数 1018 票のうち、本問について回答のあったものは 633 票（教育モニター：87 票、教育モニターを除く都内居住者：546 票）である。

多かった意見は、都立高校の教育に関する意見（202 票）、都立高校教員に関する意見（158 票）、都立高校改革推進計画について（189 票）である。

都立高校の教育に関する意見には、教育内容の充実を図るための「教育内容の改善」に対しての意見、「生活指導の徹底」の意見がみられた。「教育内容の改善」の意見には、「生徒が参加できる授業」、「教育方針の明確化と具体的プログラムの作成」、「個々にあった教育や指導がなされることが必要」等があげられた。

また、「生活指導の徹底」の意見には、「社会人としてのマナー・モラル教育」が多くあげられた。

都立高校教員に関する意見には、教員の資質向上を図ることを求める意見が多かった。教員の資質向上を図るために「教員の意識改革」等があげられ、教員の採用については「民間企業経験者の採用」、「退職者の再雇用」等があげられ、教員の教育として「教員の定期的研修」等の意見がみられた。

都立高校改革推進計画については、計画について賛同の意見、計画に対する批判および計画を推進していく上での参考となる意見をいただいた。

この他、「都立高校教育の制度に関して」、「都立高校の運営について」等についての意見があり、本アンケート調査に関しての意見もいただいた。



## 2.2 調査票2（東京都内で営業する企業を対象）

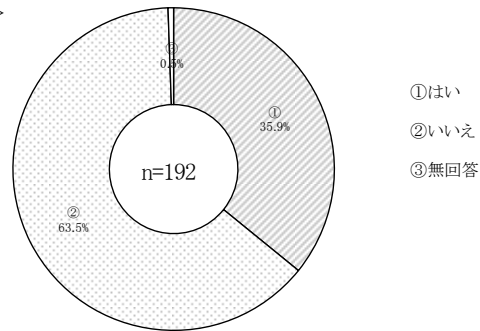
### 2.2.1 高校卒業者の採用状況について

#### 1-1 高校卒業者の採用について

##### 1) 高校卒業者の採用について－1

問1 貴社では高校卒業者の採用を行っていますか？ **1か2**に○。2と答えた方は3, 4, 5のいずれかに○。

<全体>

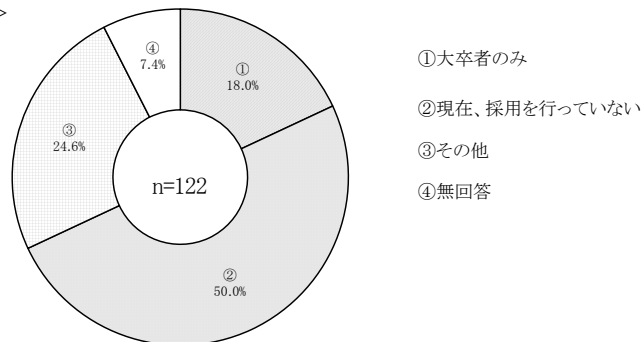


高校卒業者の採用を行っている企業は全体の35.9%となっている。

##### 2) 高校卒業者の採用について－2

問1 上記問で2と答えた方は3, 4, 5のいずれかに○。

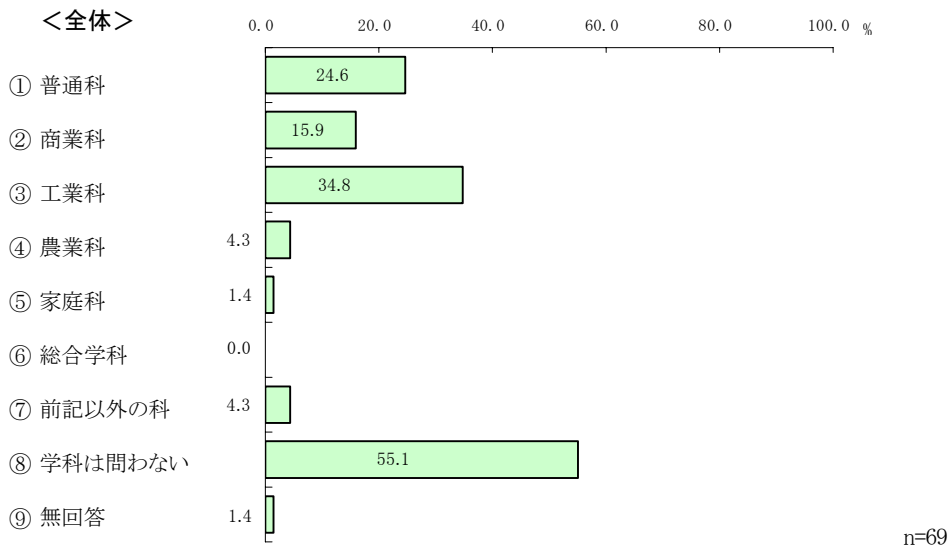
<全体>



高校卒業者の採用を行っていない企業の採用状況は「現在、採用を行っていない」が50.0%と最も多く、「大卒者のみ」が18.0%、「その他」が24.6%となっている。

1-2 採用高校の学科について

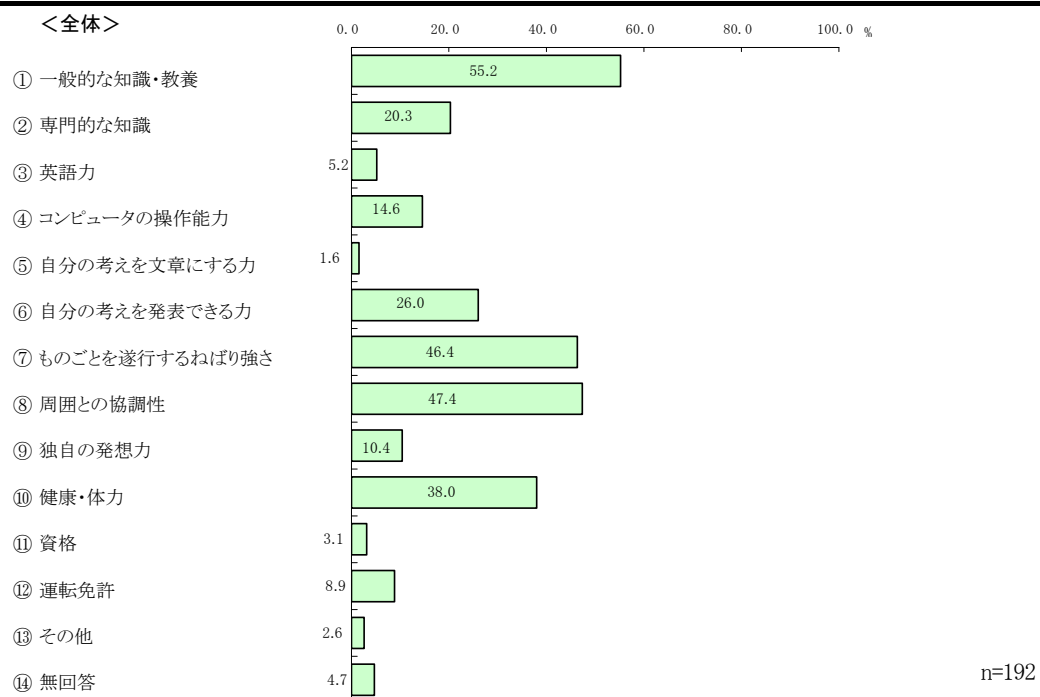
問2 問1で「はい」の場合、お答えください。貴社で採用している高校の学科は何ですか？（該当するものに○）



高校卒業者の採用を行っている企業で採用している高校の学科は「学科は問わない」が55.1%と最も多く、「工業科」が34.8%と次に多く、「普通科」24.6%、「商業科」15.9%の順となっている。

1-3 採用に際しての重視点

問3 高校生、大学生を問わず貴社で採用に際し重視している点は何ですか？（3つに○）

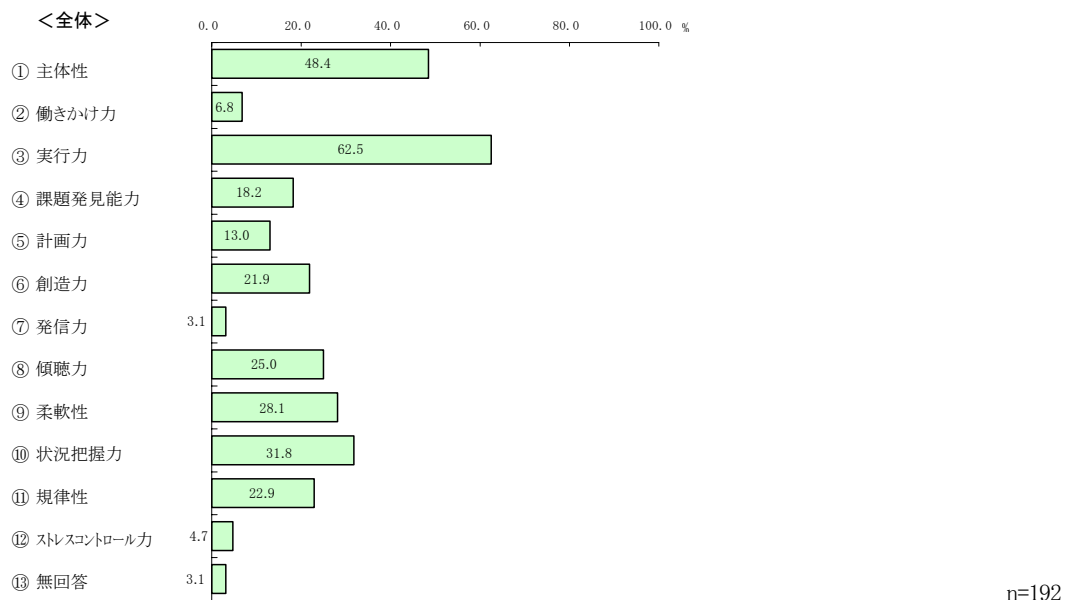


採用に際し重視している点としては「一般的な知識・教養」が最も多く、55.2%である。次いで「周囲との協調性」47.4%、「ものごとを遂行するねばり強さ」46.4%となっている。

1-3 社会に出る際に身につけてきてほしいこと ー社会人としての基礎能力

問4 高校生、大学生を問わず社会に出るにあたり、特に身につけてきてほしいことは何ですか？（問4-1、問4-2それぞれに3つに○）

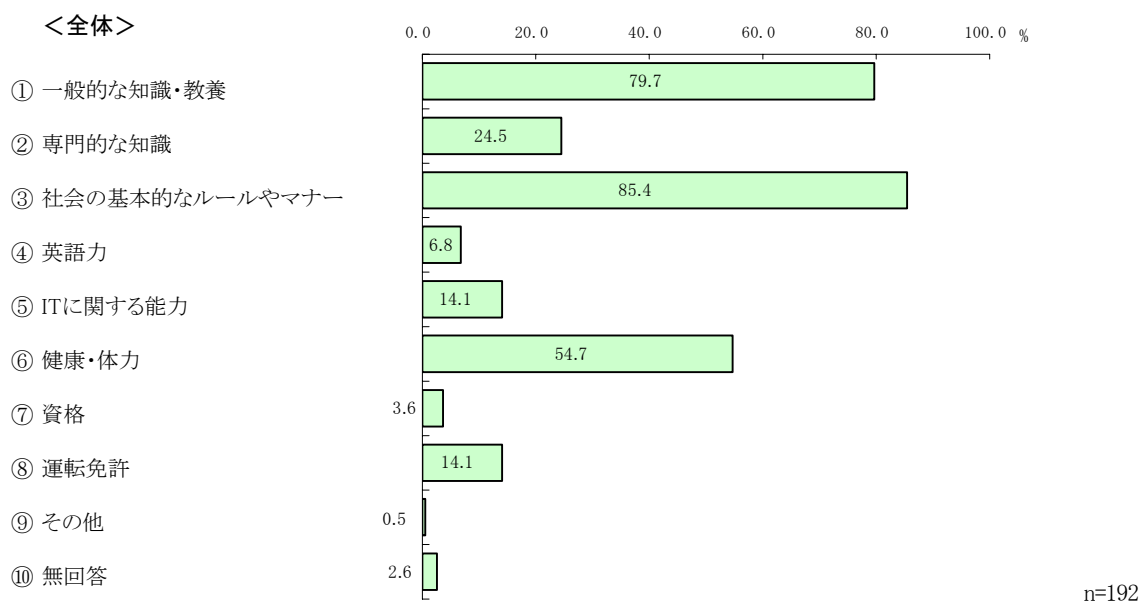
問4-1 社会人としての基礎的能力



社会に出るにあたり特に身につけてほしいことの「社会人としての基礎的能力」としては、「実行力」が62.5%と最も多く、次いで「主体性」の48.4%が続く。

1-4 社会に出る際に身につけてきてほしいこと ー教養、その他の要素

問4-2 教養、その他の要素



社会に出る際に身につけてほしいことの「教養、その他の要素」としては、「社会の基本的ルールやマナー」が85.4%、「一般的な知識・教養」が79.7%と多い。次いで「健康・体力」が54.7%と続く。

## 2.2.2 都立高校改革について

### 2-1 都立高校改革の認知度

問5 都立高校改革についてお聞きします。

問5-1 現在、都立高校改革（\*1）が進められていることについてご存じでしたか？（複数に○可）

#### （\*1）《都立高校改革推進計画》

都立高校では、生徒の能力、適性や進路希望等の多様化が進み、学校生活に適応できない生徒や中途退学者への対応が求められています。また、少子化の進行により、学校の小規模化が進み、都立高校の規模と配置の適正化が大きな課題となっています。「新たな実施計画」では、これらの課題を解決するとともに、都民の高校教育に対する期待に応え、都民に魅力ある都立高校を実現するための改革方策をまとめました。具体的な改革方策として「日本の未来を担う人間を育成する教育の推進」、「生徒の多様な希望に応える学校づくり」、「都民に信頼される学校経営の確立」、「地域とのパートナーシップを築く学校づくり」、「少子化時代の質の高い教育の場の確保」を掲げています。

現在、東京都教育委員会では、

#### ① 新しいタイプの都立学校の設置

中高一貫教育校、総合学科高校、単位制高校、科学技術高校、産業高校、進学型商業高校、総合芸術高校（各校の概要は別紙）などを順次設置しています。

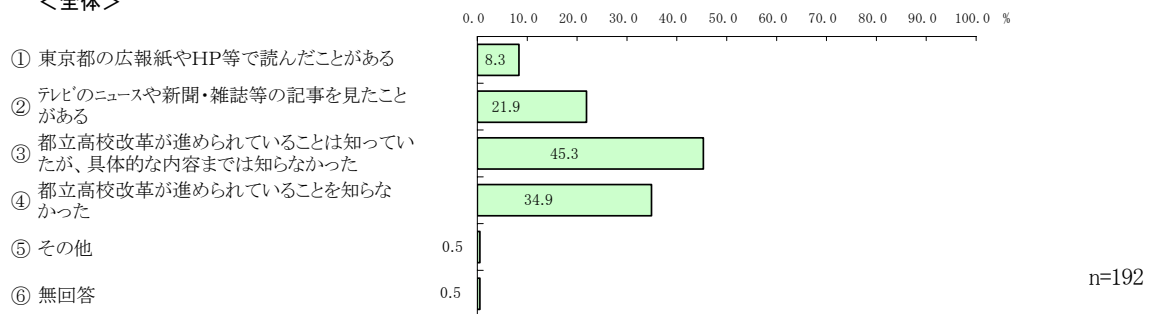
#### ② 既存校の改革

進学指導重点校の指定、エンカレッジスクールの指定、専門高校の改善（リーディングコマースシャルハイスクール）などを実施しています。

#### ③ 定時制課程の改編

全定併置校の解消を進め、チャレンジスクール、新たなタイプの昼夜間定時制高校を順次設置しています。

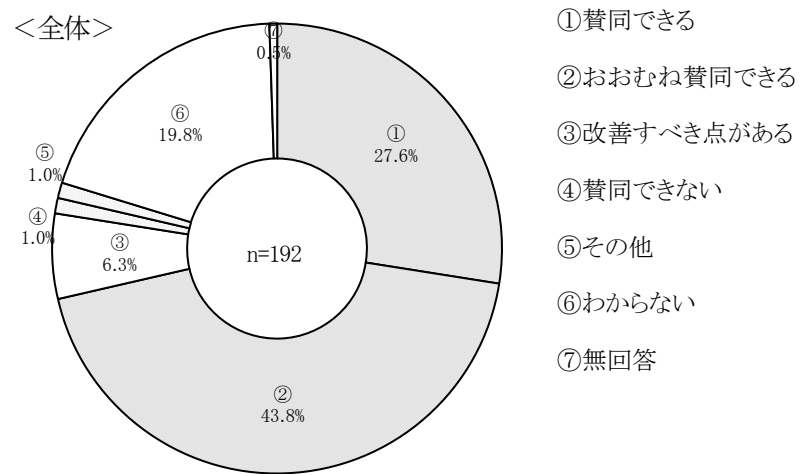
#### <全体>



「都立高校改革」については「都立高校改革が進められていることは知っていたが、具体的な内容までは知らなかった」が45.3%と最も多く、次いで「都立高校改革が進められていることを知らなかった」が34.9%と続く。

2-2 都立高校改革推進計画について

問5-2 都立高校改革推進計画について、どのようにお考えですか？（1つに○）



「都立高校改革推進計画」については「おおむね賛同できる」が43.8%と最も多く、次いで「賛同できる」が27.6%となっており肯定する結果が合わせて71.4%になる。

## 2.2.3 新しいタイプの高校（\*2）の設置について

### （\*2）《新しいタイプの高校》

生徒の個性や能力を伸ばし、さまざまな進路希望や学習希望にこたえるため、「計画」では新しいタイプの高校を順次設置していく予定です。

### 3-1 進学指導重点校（\*3）について

問6 進学指導重点校において、学問以外では何を学ばせるべきだとお考えですか。（1つに○）

### （\*3）《進学指導重点校とは》

国公立・難関私立大学への進学実績の向上を目指して、過去に進学実績があり、進学指導の組織的取組ができる都立高校を重点校として指定し、都教育委員会が様々な支援を行っています。平成13年9月に日比谷高校、戸山高校、西高校、八王子東高校、平成15年11月に青山高校、立川高校、国立高校を指定しています。

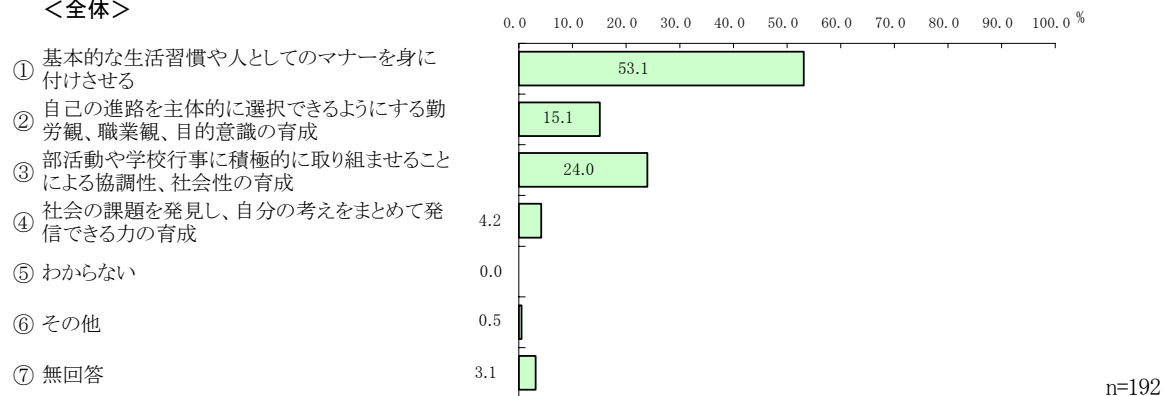
#### ○国公立・難関私立大学への進学を意識した教育課程

難関大学進学を意識した教育課程を編成しています。例えば、国公立大学等の進学に対応できるカリキュラムを編成して、生徒の学問への興味・関心を喚起しています。

#### ○土曜日や長期休業日等の講習

始業前や放課後の講習のほか、土曜日や長期休業日にも、生徒の進路希望に応じて受講できる講習会が多数用意されています。

#### <全体>



進学指導重点校において、学問以外に学ばせるべきこととして「基本的な生活習慣や人としてのマナーを身に付けさせる」が53.1%と最も多くなった。次いで、「部活動や学校行事に積極的に取り組ませることによる協調性、社会性の育成」が24.0%と続いている。

### 3-2 エンカレッジスクールについて

問7 エンカレッジスクール（\*4）の生徒にどのような能力を身につけさせて社会に送り出すべきと考えますか。（2つに○）

#### （\*4）《エンカレッジスクールとは》

小中学校で十分能力を発揮できなかった生徒のやる気を育て、頑張りを励まし、応援する全日制高校です。現在3校（足立東高校・秋留台高校・練馬工業高校）を指定しています。今後2校を指定し合計5校となる予定です。

##### ○集中しながら学べる授業、豊富な体験学習

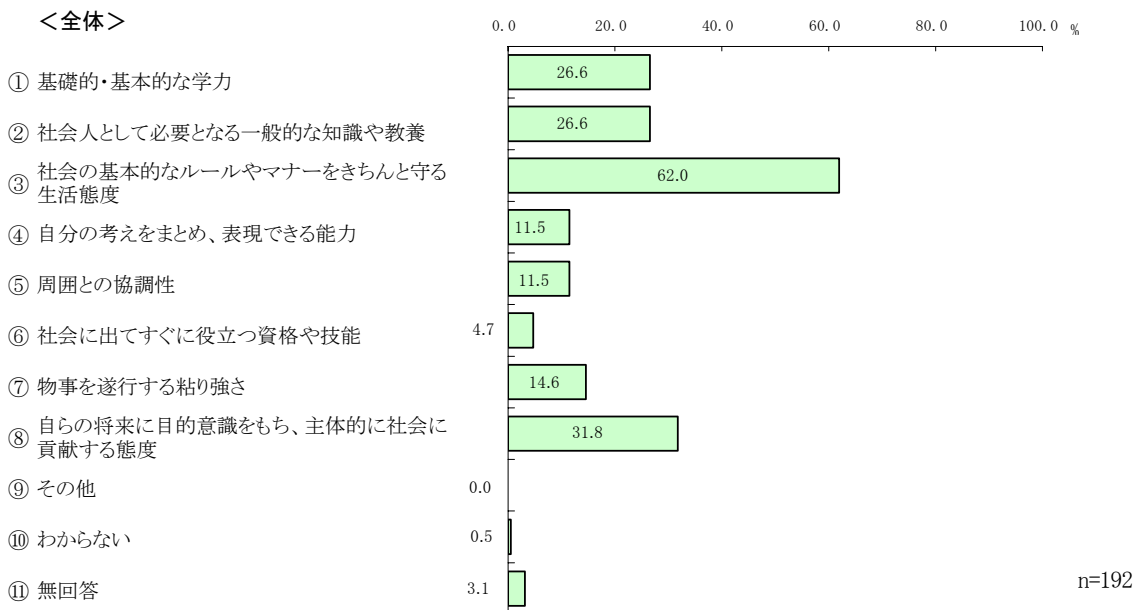
1～3時間目は、国語・数学・英語などの教科を中心に30分授業で行います。午後は体験学習や選択授業が中心です。教科によって、少人数指導を行い、分かる授業、力を引き出す授業を行います。

##### ○二人担任制できめ細やかな指導

1クラスに2人の担任。学習相談や学校生活、進路指導などきめ細かく行います。

##### ○試験より努力を評価

定期考査を行わず、どれだけできるようになったかという課程を評価します。



エンカレッジスクールの生徒に身につけさせる能力は「社会の基本的なルールやマナーをきちんと守る生活態度」が62.0%と最も多くなった。次いで、「自らの将来に目的意識をもち、主体的に社会に貢献する態度」が31.8%、「基礎的・基本的な学力」、「社会人として必要となる一般的な知識や教養」がそれぞれ26.6%となっている。

3-3 普通科単位制高校（\*5）について

問8 多様な科目として設置する教科としてはどのような教科が適切ですか？（2つに○）

（\*5）《普通科単位制高校とは》

決められた科目を学ぶのではなく、用意された科目の中から自分の興味・関心や進路希望に応じた科目を自分で選んで学べる学校です。

○いろいろな進路希望に対応

入学するとき自分の進路がはっきりしていなくても、多くの種類の選択科目が置いているので、学びながら進路について考え、決めた進路に向けて勉強できます。

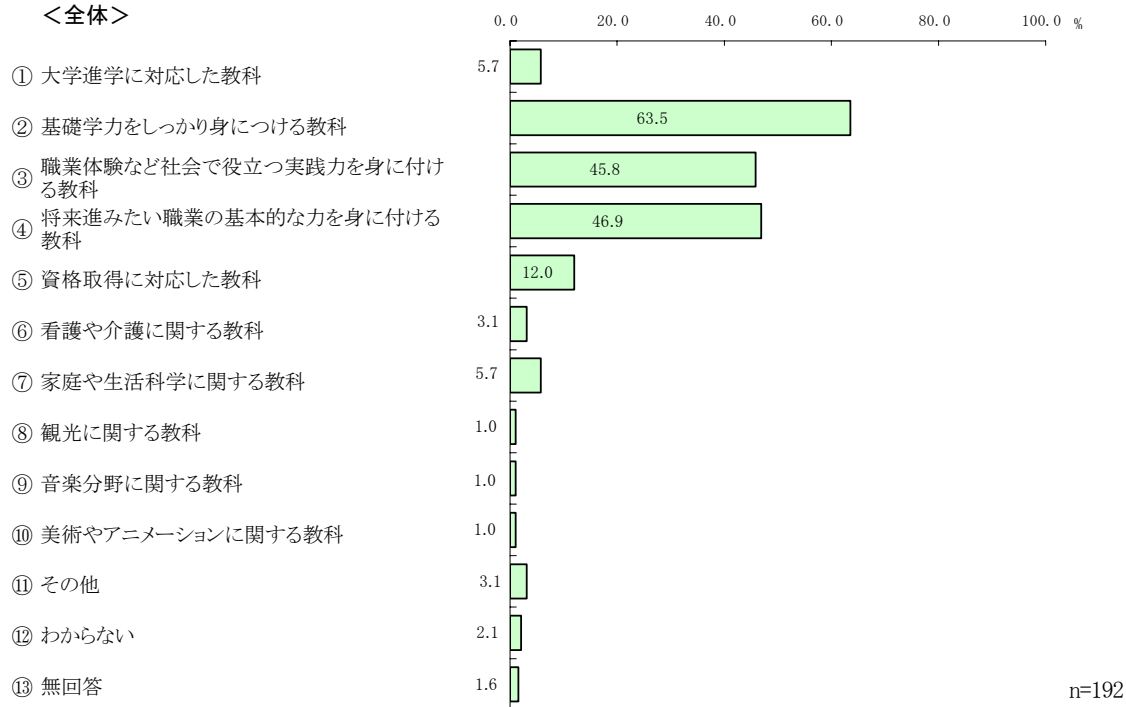
○自分でつくる時間割

学校で用意したいろいろな選択科目の中から、自分の学習希望や進路希望にあわせて、自分だけの時間割をつくって学ぶことができます。

○ガイダンスの充実

1年生からキャリアガイダンス（進路相談）をていねいに行います。それでも将来の進路希望が決められない場合は、いつでも相談に応じ、適切なアドバイスを行います。

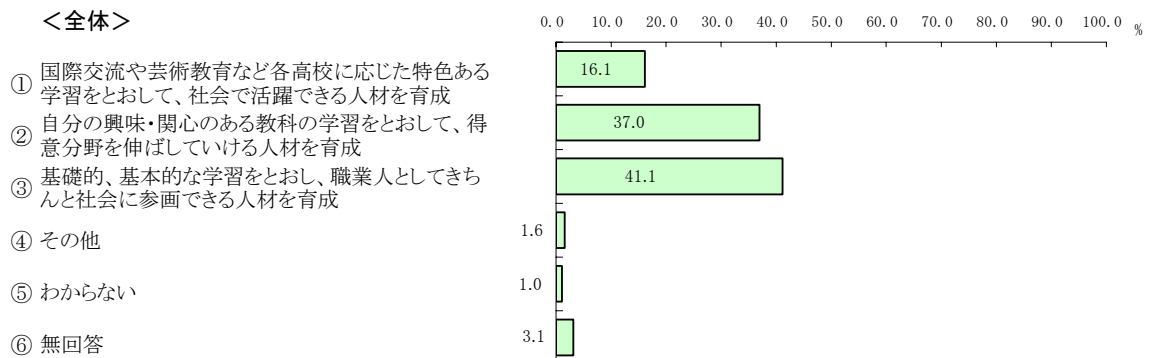
<全体>



多様な科目として設置する教科としては「基礎学力をしっかり身につける教科」が 63.5%と最も多く、次いで「将来進みたい職業の基本的な力を身に付ける教科」が 46.9%、「職業体験など社会で役立つ実践力を身に付ける教科」が 45.8%と続く。



問9 普通科単位制高校の学習をとおして、どのような人材を育成して欲しいですか？（1つに○）



n=192

普通科単位制高校の学習をとおして、育成する人材としては「基礎的、基本的な学習をとおし、職業人としてきちんと社会に参画できる人材を育成」41.1%、「自分の興味・関心のある教科の学習をとおして、得意分野を伸ばしていける人材を育成」37.0%、「国際交流や芸術教育など各高校に応じた特色ある学習をとおして、社会で活躍できる人材を育成」16.1%の順となっている。

3-4 これからの専門高校の教育について

問10 これからの専門高校（職業高校）（\*6）の教育で特に重要な点は何だと思われますか？（2つまで○）

（\*6）《専門高校（職業高校）とは》

専門高校（職業高校）は、農業、工業、商業、家庭等について専門的に学ぶ高校です。将来のスペシャリストを目指して、普通科目と専門科目を学びます。

○普通科にはない魅力的な教育

実習などの実際の、体験的な学習をとおして、専門的な技術や勤労観・職業観を身に付けることができます。普通科にはない魅力ある教育を行っています。在学中に様々な資格を取得できます。

○農業高校の特色

緑豊かな環境の中で、充実した施設・設備を活用して、園芸系、畜産系、食品系、環境系の技術を学ぶことができます。

○工業高校の特色

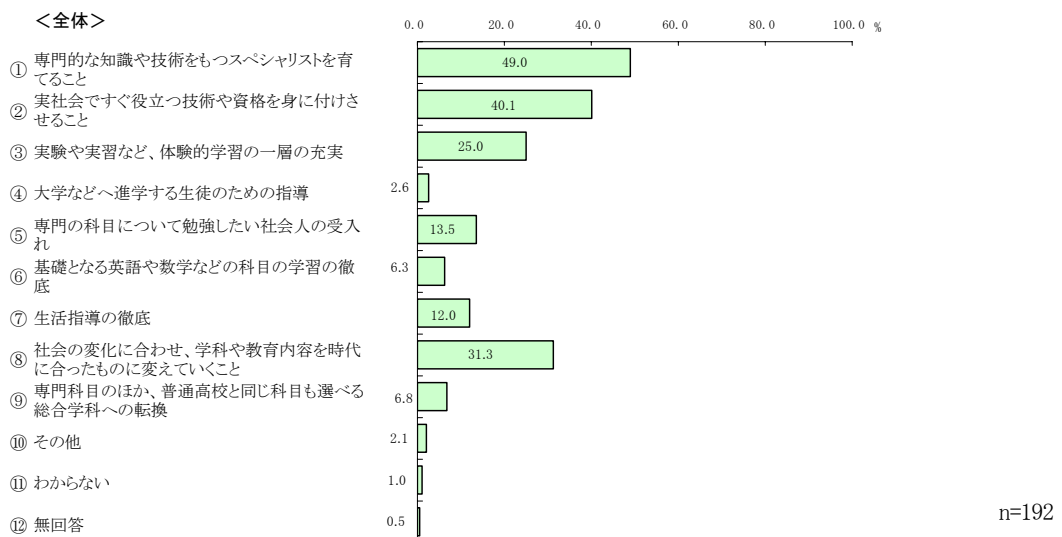
工業立国日本を支える技術者を目指して、機械系、電気系、化学系、建設系、工芸系などの楽しさを体験しながら学ぶことができます。

○商業高校の特色

21世紀の社会に役立つ商業系、情報処理系、総合ビジネス系の知識や技能を学びながら、いろいろな資格を取得して就職や進学に役立てることができます。

○家庭学科を置く高校の特色

将来の栄養士、保育士、デザイナー等になる基礎基本を学ぶことで、心身とも自立した生活者の育成に努めます。家政系、食物系、服飾系、生活デザイン系の技術の楽しさを学べます。



これからの専門高校（職業高校）の教育で特に重要な点としては「専門的な知識や技術をもつスペシャリストを育てること」が49.0%と最も多く、次いで「実社会ですぐ役立つ技術や資格を身に付けさせること」40.1%、「社会の変化に合わせ、学科や教育内容を時代に合ったものに変えていくこと」31.3%、「実験や実習など、体験的学習の一層の充実」25.0%の順となっている。

3-5 進学型専門高校（ビジネスコミュニケーション科）について

問 11 進学型専門高校（ビジネスコミュニケーション科）（\*7）の性格を踏まえ、ビジネスコミュニケーション科で特に力を入れるべきものは何だと思われますか？（2つまで○）

（\*7）《進学型専門高校（ビジネスコミュニケーション科）とは》

英語やビジネスについて興味・関心があり、ビジネスについての基本的な知識と、英語や実践的なコミュニケーションを学んで、将来のスペシャリストとして国際社会で活躍したいという生徒のための専門教育を行っています。卒業後は、社会科学系、人文科学系の大学進学を目的とした新しいタイプの専門高校です。すでに千早高校で開校していますが、平成21年度に大田地区に2校目の進学型専門高校を設置する予定です。

○コミュニケーション能力が身につけられます

国際理解のために、英語による実践的なコミュニケーション能力を身につけられます。

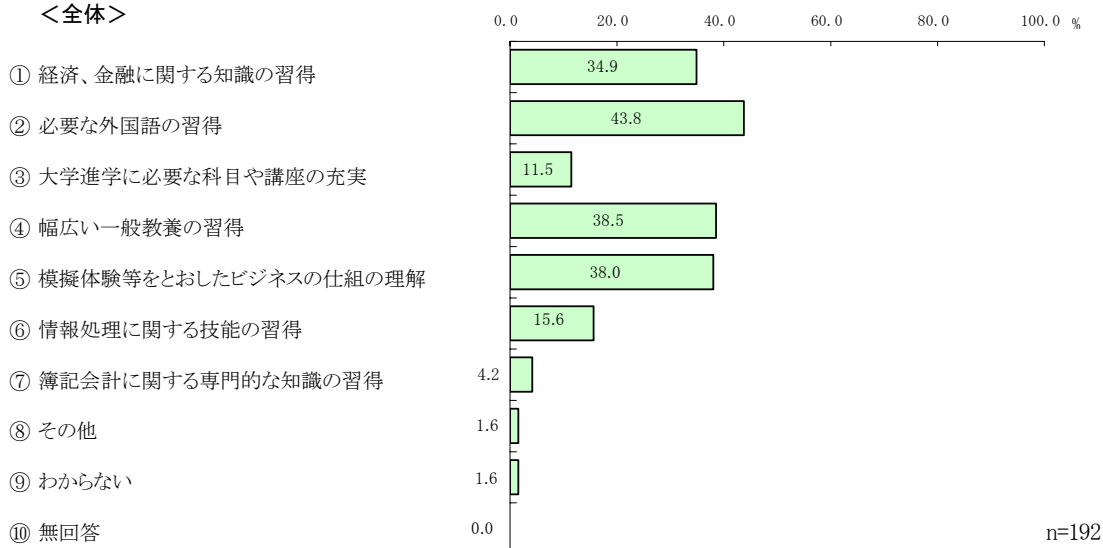
○経済の仕組みが学べます

経済の仕組み、世の中の仕組みについてビジネス科目を通して学ぶことができます。また、情報処理を通じてICT社会（Information and Communication Technology）に対応できる情報の発信能力を身につけることができます。

○進路希望に応じられるように準備された選択科目

社会科学系、人文科学系の大学進学にそなえた進学講座（国語・英語）を設置しています。

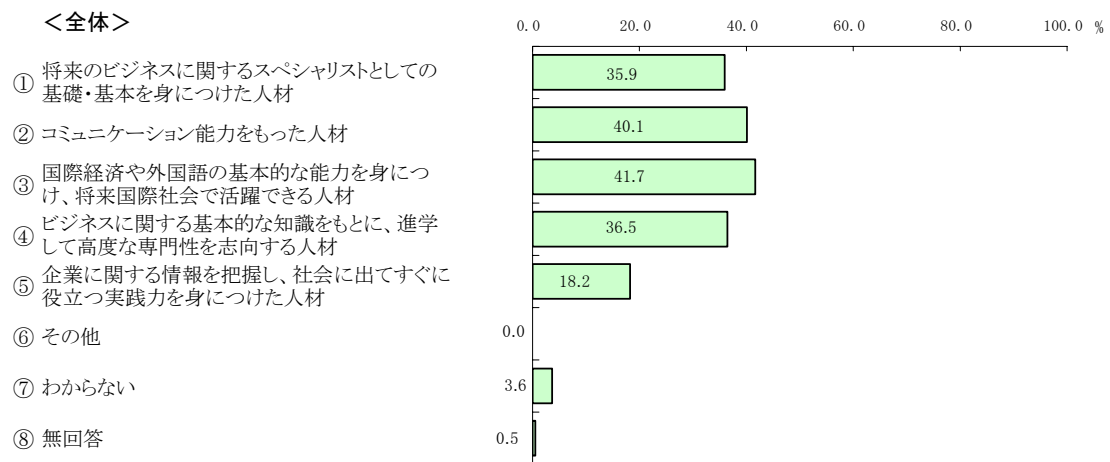
<全体>



ビジネスコミュニケーション科で特に力を入れるべきものは「必要な外国語の習得」が43.8%と最も多く、次いで「幅広い一般教養の習得」38.5%と「模擬体験等とおしたビジネスの仕組みの理解」38.0%がほぼ同じで、「経済、金融に関する知識の習得」が34.9%の順となっている。

問12 ビジネスコミュニケーション科で特に育成して欲しい人材はどのような人材ですか？（2つまで

○)



n=192

ビジネスコミュニケーション科で特に育成して欲しい人材は「国際経済や外国語の基本的な能力を身につけ、将来国際社会で活躍できる人材」が41.7%と最も多く、次いで「コミュニケーション能力をもった人材」40.1%が続き、さらに「ビジネスに関する基本的な知識をもとに、進学して高度な専門性を志向する人材」が36.5%、「将来のビジネスに関するスペシャリストとしての基礎・基本を身につけた人材」が35.9%になっている。

3-6 進学型専門高校（科学技術科）について

問 13 進学型専門高校（科学技術科）（\* 8）の性格を踏まえ、科学技術高校で特に力を入れるべきものは何だと思えますか？（2つまで○）

（\* 8）《進学型専門高校（科学技術科）とは》

科学について興味・関心があり、先端的な科学技術を学んで、将来のスペシャリストとして活躍したいという生徒のための専門教育を行っています。卒業後は、理系の大学等に進学し、さらに高度な技術を学べるよう大学進学を目的とした新しいタイプの専門高校です。すでに江東区に科学技術高校を開校していますが、平成22年度に小金井地区に二校目の科学技術高校を設置する予定です。

○大学への進学を見据えた授業内容

高校段階から、大学進学後の授業にも対応できるよう、広く科学技術について学んでいきます。

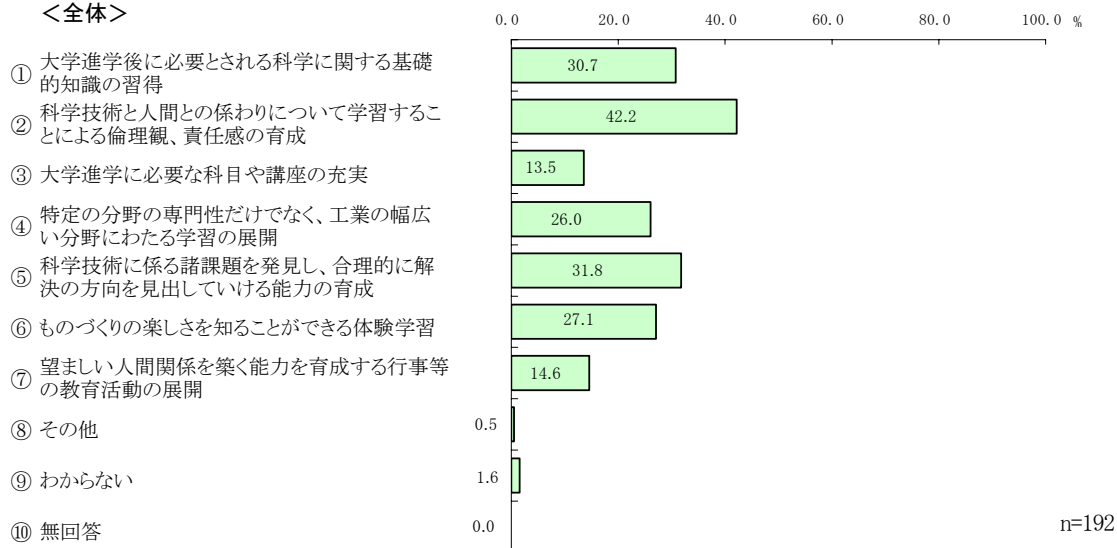
○科学技術高校ならではのユニークな授業

専門的な技能を身につけるだけでなく、実験・実習をとおして基礎から科学技術を学び、確かな学力の向上につながるよう工夫した授業を行います。

○進路希望に応じられるように準備された選択科目

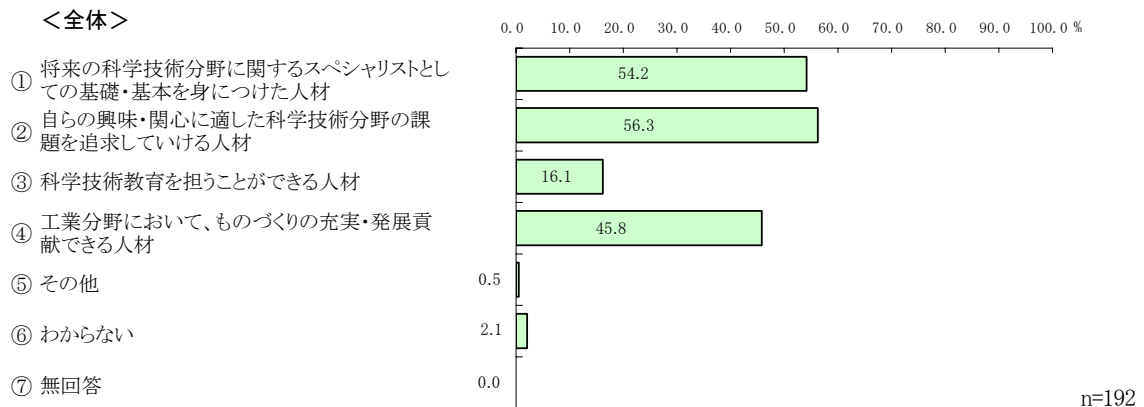
国公立大学の理工学系の各学部への進学にそなえた選択科目を設置しています

<全体>



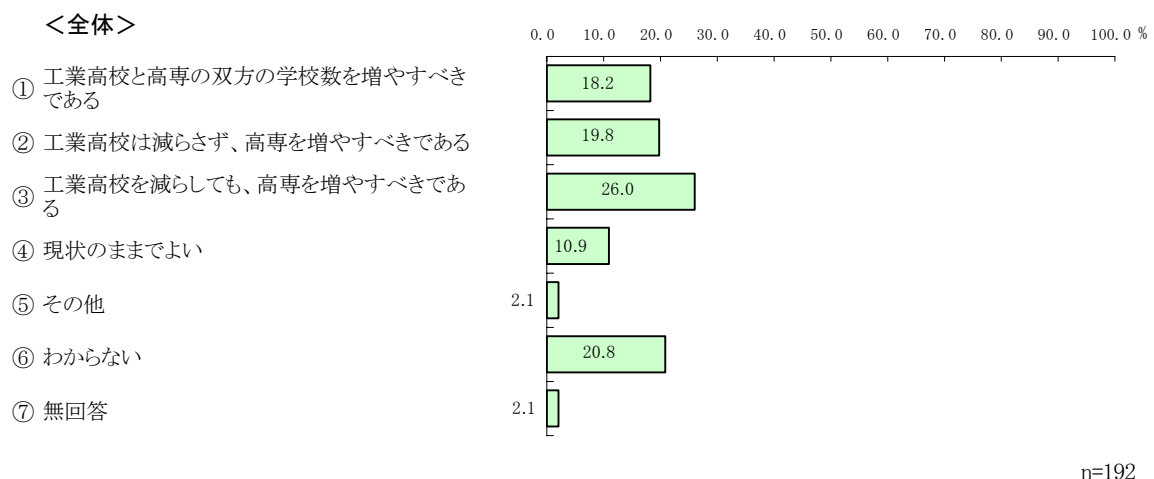
進学型専門学校（科学技術科）で特に力を入れるべきものは「科学技術と人間との係わりについて学習することによる倫理観、責任感の育成」が 42.2%と最も多くなっている。次いで、「科学技術に係る諸課題を発見し、合理的に解決の方向を見出していける能力の育成」31.8%、「大学進学後に必要とされる科学に関する基礎的知識の習得」30.7%の順となっている。

問 14 科学技術高校で特に育成して欲しい人材はどのような人材ですか？（2つまで○）



科学技術高校で特に育成して欲しい人材は「自らの興味・関心に適した科学技術分野の課題を追求していける人材」が56.3%と最も多く、次いで「将来の科学技術分野に関するスペシャリストとしての基礎・基本を身につけた人材」の54.2%、「工業分野において、ものづくりの充実・発展貢献できる人材」の45.8%の順となっている。

問 15 現在、東京都には、5年間でより専門的な知識や技術をもつスペシャリストを育てる都立の産業技術高等専門学校（高専）が1校（18年度募集を行った学校）あります。また、工業高校は全日制、定時制あわせて30校（18年度募集を行った学校）あります。工業高校と高専の設置数とはどうあるべきかと思われませんか？（1つに○）



工業高校と高専の設置数については「工業高校を減らしても、高専を増やすべきである」が26.0%と最も多く、次いで、「わからない」の20.8%、「工業高校は減らさず、高専を増やすべきである」の19.8%、「工業高校と高専の双方の学校数を増やすべきである」の18.2%の順となっている。

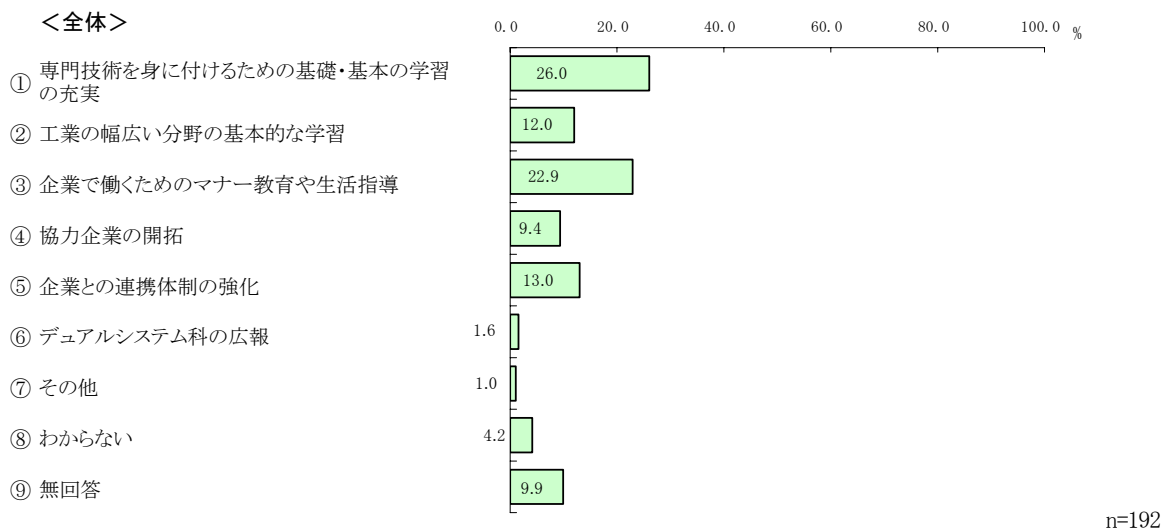
### 3-7 デュアルシステム科について

問16 デュアルシステム科（\*9）で特に力を入れるべきものは何だと思いますか？（1つに○）

#### （\*9）《デュアルシステム科とは》

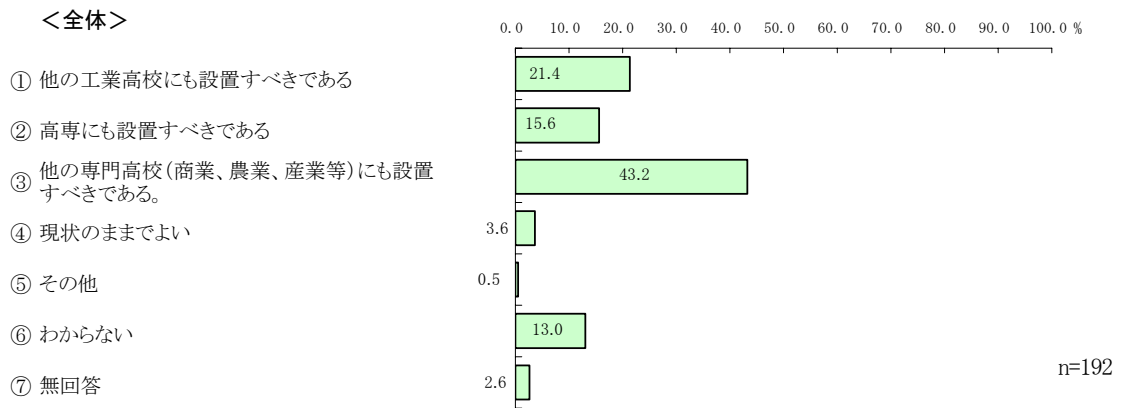
デュアルシステムとは、学校と企業とが一緒になって生徒を育成する工業高校の新しい職業教育です。生徒が企業の一員として数ヶ月間、企業で「働く訓練」を行い、その訓練を授業の一部として認めていく「働くことが学びになる」システムです。その訓練によって、卒業後の就職に役立つ生きた技術・技能を身に付けることができます。このシステムは、産業界から期待が寄せられています。

現在、六郷工科高校で実施しています。



デュアルシステム科で特に力を入れるべきものは、「専門技術を身に付けるための基礎・基本の学習の充実」が26.0%と最も多く、次いで「企業で働くためのマナー教育や生活指導」の22.9%の順となっている。

問 17 デュアルシステム科では産業界と学校とが協働して職業人の育成を図ることを1つの目標としていますが、東京の産業の発展という観点で、デュアルシステムの設置校はどうあるべきだと思いますか？  
 (1つに○)



東京の産業の発展という観点でのデュアルシステムの設置校については、「他の専門高校（商業、農業、産業等）にも設置すべきである」が43.2%と最も多く、次いで「他の工業高校にも設置すべきである」の21.4%となっている。



3-8 総合学科高校について

問18 総合学科高校（\*10）に特に重視して欲しい教育内容は何か？（2つまで○）

（\*10）《総合学科高校とは》

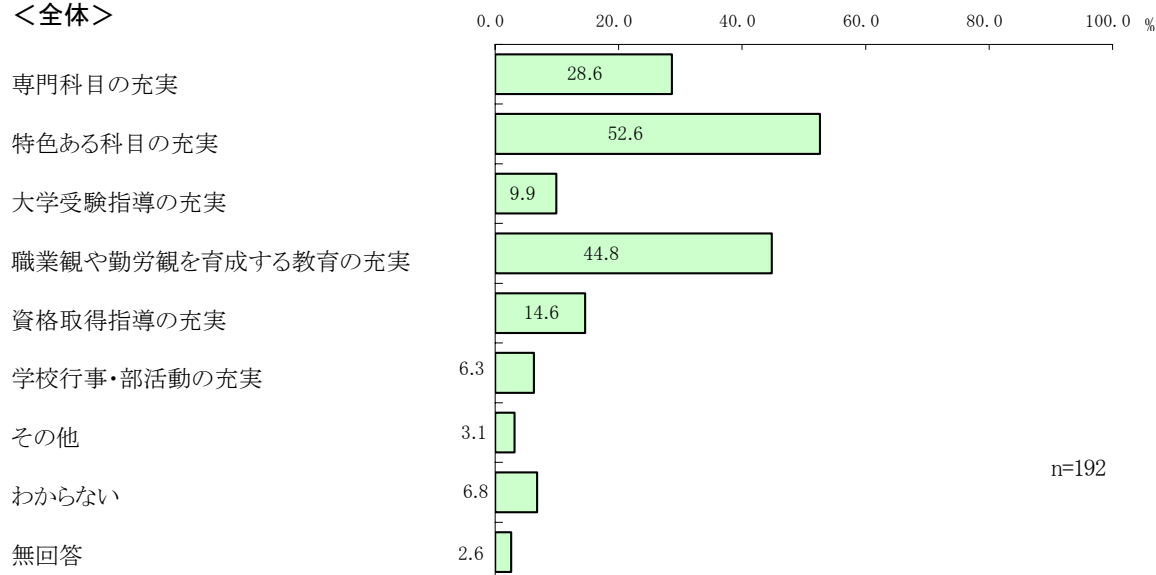
国語や理科などの普通科目から商業や工業、情報や美術などの専門科目まで、自分の興味・関心や進路希望に応じて幅広く学べる学校です。平成8年4月に都立として初めての総合学科高校「晴海総合高校」（中央区）を開校しました。「計画」では、総合学科高校を都全体で10校程度設置する予定です。

**○自分の進路にあわせて学べる**  
 「高校入学の段階では、まだ進路を決めていないので、学びながら進路を決めたい」、  
 「将来、自分が目指す職業の知識や技術を学びたい」など、自分の興味関心に応じて、普通教科から専門教科まで幅広く学べます。

**○自分でつくる時間割**  
 自分の個性や進路希望にあわせて、学校が用意した多くの科目の中から、自分だけの時間割をつくって学んでいきます。

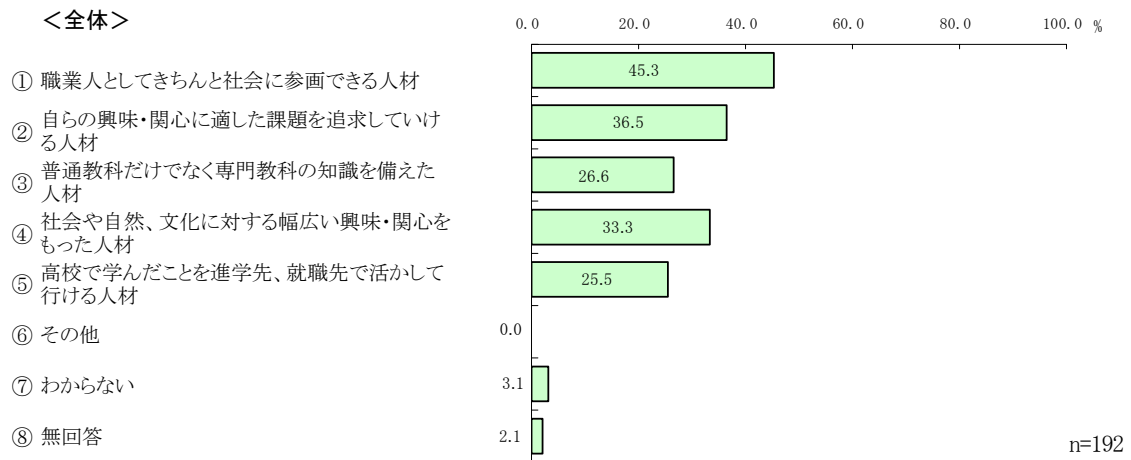
**○ガイダンスの充実**  
 将来の進路や選択科目を自分で決められるように、専門の先生がいつでも相談に応じ、適切なアドバイスをします。

<全体>



総合学科高校に特に重視して欲しい教育内容は「特色ある科目の充実」が52.6%と最も多く、次いで「職業観、勤労観を育成する教育の充実」が44.8%と続いている。

問 19 普通教科とともに専門教科を総合的に学べる総合学科高校で特に育成して欲しい人材はどのような人材ですか？（2つまで○）



総合学科高校で特に育成して欲しい人材は「職業人としてきちんと社会に参画できる人材」が45.3%と最も多く、次いで「自らの興味、関心に適した課題を追求していける人材」の36.5%、「社会や自然、文化に対する幅広い興味・関心をもった人材」の33.3%、「普通教科だけでなく専門教科の知識を備えた人材」の26.6%、「高校で学んだことを進学先、就職先で活かして行ける人材」の25.5%の順となっている。

3-9 定時制教育で特に取り組むべき

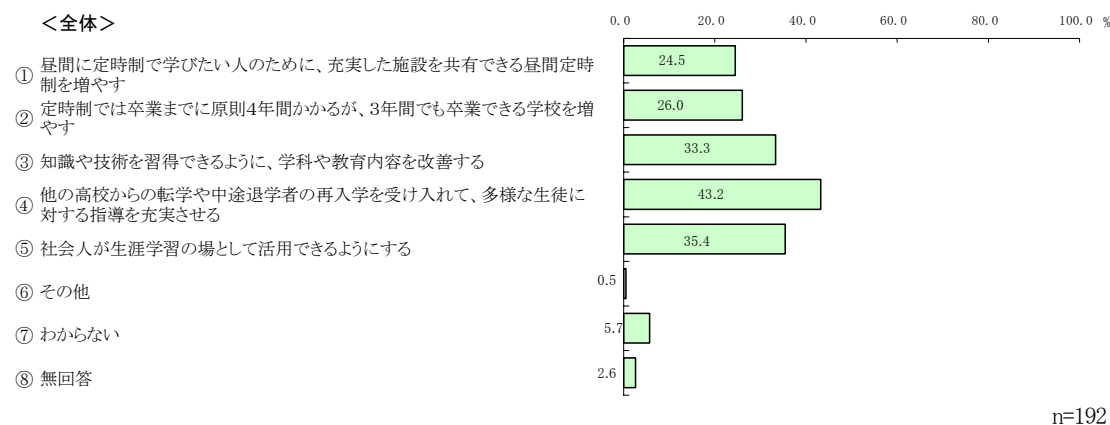
問 20 これからの定時制教育（\*11）で特に取り組むべき点は何だとお考えですか？（2つまで○）

（\*11）《都立の定時制高校について》

平成18年5月現在定時制高校は94校2分校あり、このうち夜間だけでなく昼間も学べる昼夜間定時制高校（チャレンジスクールを含む）は8校設置されています。都立の全日制は1クラスの定員を35～40人にしていますが、定時制では定員を30人としてきめ細かな指導を行っています。

近年、夜間定時制高校では働きながら学ぶ生徒が少数となり、不登校経験をもつ生徒や全日制高校を中途退学した生徒など多様な生徒を受け入れています。また、この変化に伴い、現在の夜間定時制には昼間に学ぶことを希望する生徒が多く在籍するようになっていきます。

「計画」では、このような生徒の多様化に対応するため、「新たなタイプの昼夜間定時制高校」（午前・午後・夜間の3部制、単位制普通科）を4校設置、「チャレンジスクール」（午前・午後・夜間の3部制、単位制総合学科）を5校設置することになっています。



これからの定時制教育で特に取り組むべき点は「他の高校からの転学や中途退学者の再入学を受け入れて、多様な生徒に対する指導を充実させる」が43.2%と最も多く、次いで「社会人が生涯学習の場として活用できるようにする」の35.4%、「知識や技術を習得できるように、学科や教育内容を改善する」33.3%、「定時制では卒業までに原則4年間かかるが、3年間でも卒業できる学校を増やす」26.0%、「昼間に定時制で学びたい人のために、充実した施設を共有できる昼間定時制を増やす」24.5%の順となっている。

3-10 昼夜間定時制高校の教育内容について

問 21 昼夜間定時制高校（※12）に特に重視して欲しい教育内容は何か？（2つまで○）

（※12）《新たなタイプの昼夜間定時制高校とは》

新たなタイプの昼夜間定時制高校とは、夜だけではなく、午前・午後・夜間の各時間帯から選んで入学できる高校です。周辺の夜間定時制を統合しながら、交通の利便性や地域の特性に配慮しながら設置を進めており、現在、一橋高校、浅草高校の2校が開校しています。平成19年度には、杉並地区昼夜間定時制高校、八王子地区昼夜間定時制高校の2校が開校する予定です。

○3年で卒業することも可能です

午前・午後・夜間の自分の所属する部で、1日4時間ずつ4年間かけて学ぶことが基本ですが、他の部を合わせて1日6時間授業を受けられるので、3年で卒業することもできます。

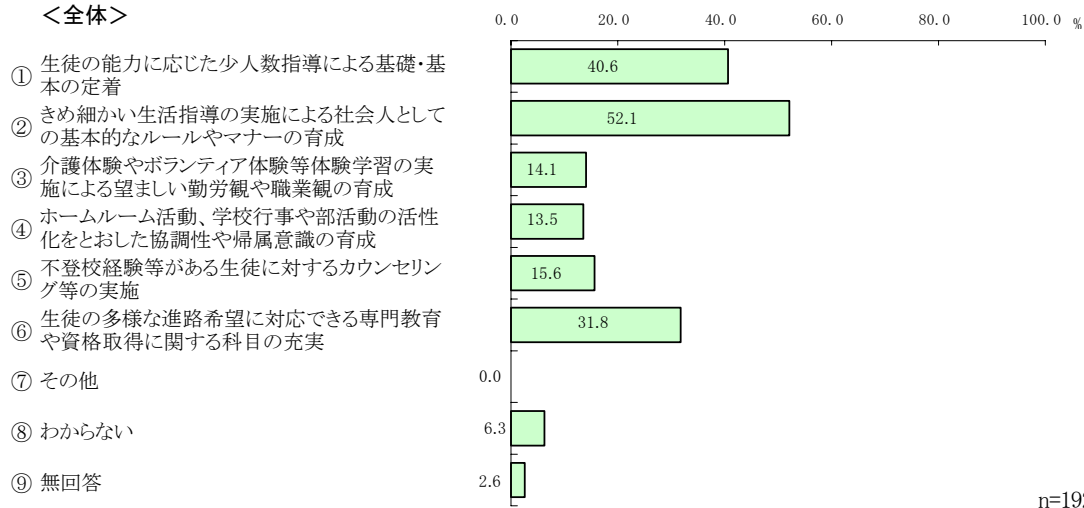
○きめ細かい指導が受けられます

1クラス30人定員です。また、基礎基本を重視して、習熟度別授業や少人数指導などきめ細かな指導が受けられます。

○自分の学習計画が立てられます

単位制なので、学習の進み具合に合わせて学習計画を立てられます。

<全体>



昼夜間定時制高校に特に重視して欲しい教育内容は「きめ細かい生活指導の実施による社会人としての基本的なルールやマナーの育成」が52.1%と最も多く、次いで「生徒の能力に応じた少人数指導による基礎・基本の定着」の40.6%、「生徒の多様な進路希望に対応できる専門教育や資格取得に関する科目の充実」の31.8%の順となっている。

### 3-11 チャレンジスクールについて

問 22 チャレンジスクール（\*13）の生徒にどのような能力を身につけさせて社会に送り出すべきと考えますか？（2つまで○）

#### （\*13）《チャレンジスクールとは》

小中学校で学校になじめず不登校の経験があったり、高校での中途退学を経験したり、これまで自分の個性や能力を十分に発揮できなかったが、自分の夢や目標に向かってもう一度はじめからチャレンジしたいという生徒を応援する学校です。現在4校（桐ヶ丘高校、世田谷泉高校、大江戸高校、六本木高校）で開校しており、平成19年4月に中野地区に開校予定の1校を加え合計5校の設置を計画しています。

#### ○午前部から学べる三部制の単位制高校です

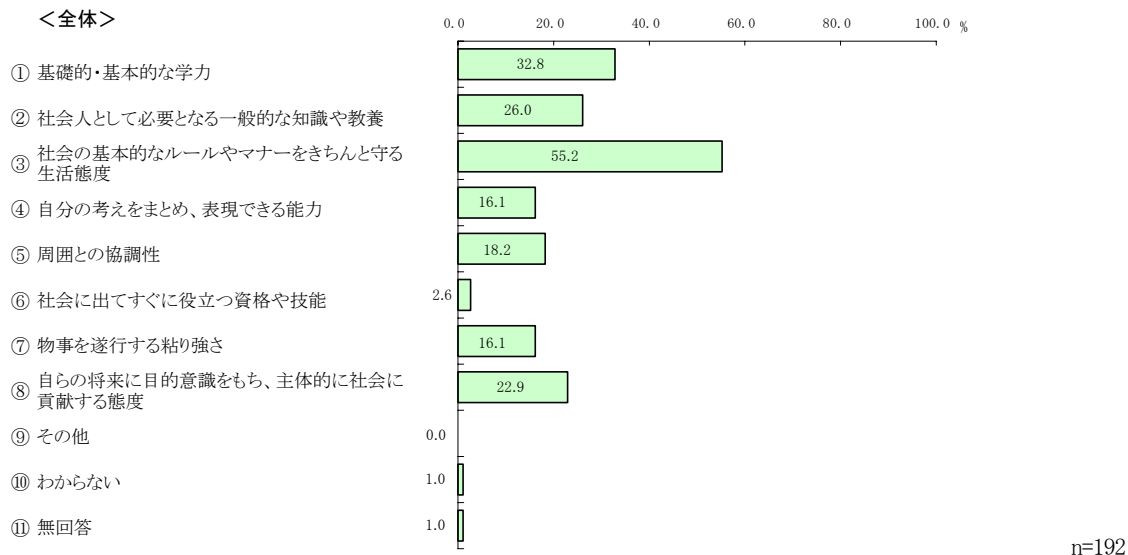
午前・午後・夜間の各部からなる昼夜開校の3部制の高校です。学年がない単位制の高校で、多くの科目の中から選択して、一人一人が時間割をつくることができます。

#### ○専門科目を学べます

普通科目以外にも、丁寧なキャリアガイダンスを受けながら、さまざまな専門科目（例、商業、美術等）を学ぶことができます。

#### ○体験的な学習を重視しています

ボランティア、福祉活動等体験的な活動を通じて、豊かな人間性を育成します。



チャレンジスクールの生徒を社会に送り出すにあたり身につけさせるべき能力は「社会の基本的なルールやマナーをきちんと守る生活態度」が55.2%と最も多く、次いで「基礎的・基本的な学力」の32.8%となっている。

### 3-12 中高一貫教育校について

問 23 公立中高一貫教育校（※14）の魅力は何だとお考えですか？（2つまで○）

#### （※14）《中高一貫教育校とは》

中高一貫教育校は、中学から高校までの6年間を継続してじっくり学ぶことができる学校です。

6年間にわたる一貫した教育活動を計画的・効率的に行うことにより、学力や教養を身につけ、将来、社会の様々な場面、分野でのリーダーとなりうる人材を育てていきます。

#### ○6年間を見通した教育

6年間見通した学習プログラムの中で、自分の得意なことを伸ばしたり、好きなことにじっくり取り組んでいけます。6年間の生活の中で、自然体験や社会体験などの体験学習にも力を入れます。

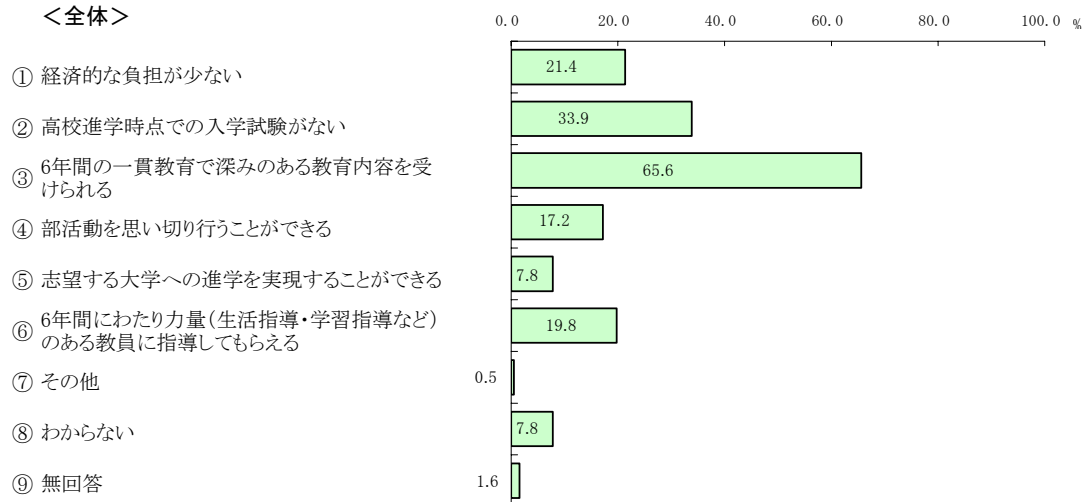
#### ○中学生と高校生との連携

中学生と高校生が、文化祭や体育祭などの学校行事や部活動などに一緒に取り組めるようになり、充実した学校生活を送ることができます。

平成17年4月には、都立白鷗高等学校附属中学校、平成18年4月には、桜修館中等教育学校、小石川中等教育学校、両国高等学校附属中学校の3校に加え、千代田区立九段中等教育学校が新設されました。

今後、平成20年4月には、武蔵野地区中高一貫6年制学校及び立川地区中高一貫6年制学校が、平成22年4月には、中野地区、練馬地区、八王子地区及び三鷹地区各中高一貫6年制学校が設置される予定です。

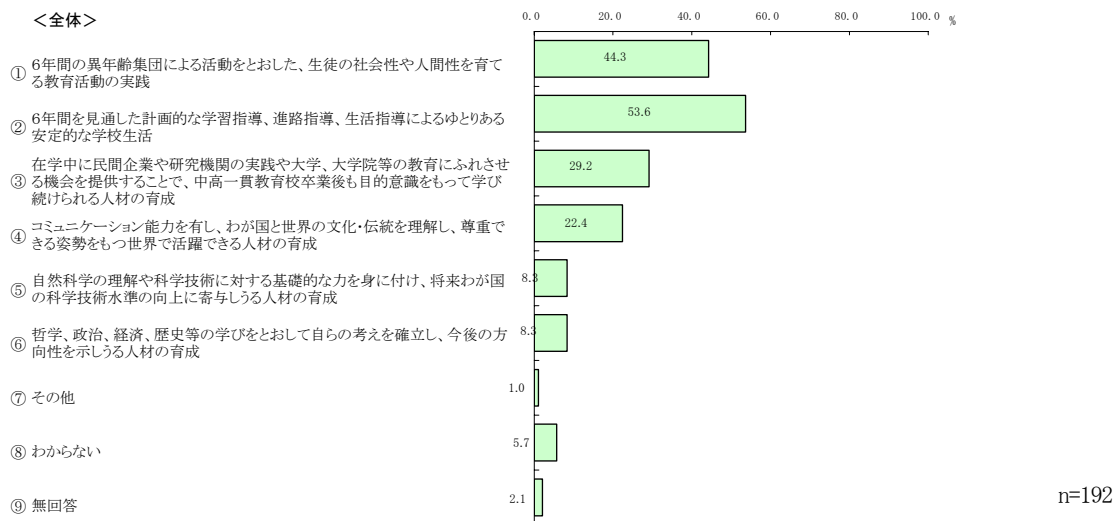
#### <全体>



n=192

公立中高一貫教育校の魅力は「6年間の一貫教育で深みのある教育内容を受けられる」が65.6%と最も多くなっている。次いで「高校進学時点での入学試験がない」が33.9%となっている。

問 24 公立中高一貫教育校に特に重視して欲しい教育内容は何ですか？（2つまで○）

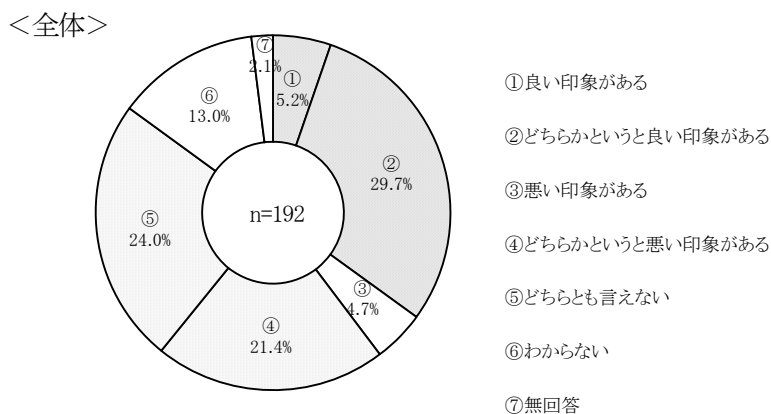


公立中高一貫教育校に特に重視して欲しい教育内容は「6年間を見通した計画的な学習指導、進路指導、生活指導によるゆとりある安定的な学校生活」が53.6%と最も多く、次いで「6年間の異年齢集団による活動をととした、生徒の社会性や人間性を育てる教育活動の実践」が44.3%となっている。

2.2.4 都立高校の印象について

4-1 都立高校の印象について

問 25 都立高校についてどのような印象をお持ちですか？（1つに○）



都立高校についての印象は「どちらかというが良い印象がある」が29.7%と最も多く、次いで「どちらも言えない」24.0%、「どちらかという悪い印象がある」21.4%の順となっている。

4-2 項目ごとの都立高校の印象について（総評）

問 26 都立高校の印象は、それぞれどれに該当しますか？（項目ごとに1つ○）

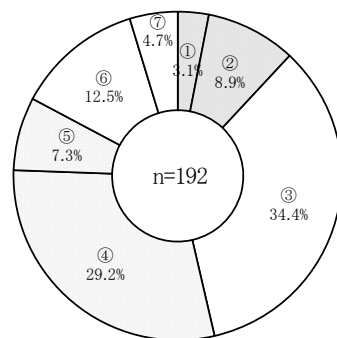
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	肯定	否定
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		
	そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答		
(1)教育内容が充実している	3.1	8.9	34.4	29.2	7.3	12.5	4.7	12.0	< 36.5
(2)自由な雰囲気がある		18.8	40.6	21.4	4.7	3.6	7.3	59.4	> 8.3
(3)授業料が安い		37.5	39.1	9.9	0.9	0.5	3.6	76.6	> 1.0
(4)進学校が多い	3.1	18.8	36.5	19.8	8.9	9.4	3.6	21.9	< 28.6
(5)生徒の能力に応じた授業を行っている	10.9	30.7	27.1	8.9	17.2		3.6	12.5	< 35.9
(6)生徒の興味・関心に応じた授業を行っている	5.7	32.8	26.0	12.0	18.2		3.6	7.3	< 38.0
(7)社会や時代の変化に対応した教育を行っている	9.4	28.6	25.5	14.1	16.1		3.6	10.4	< 39.6
(8)生活指導が徹底している	4.7	25.5	29.7	22.4	13.5		4.2	4.7	< 52.1
(9)いじめや非行が少ない	5.7	27.6	25.0	19.8	15.6		4.2	7.8	< 44.8
(10)中途退学が少ない	10.4	27.6	18.2	17.7	19.8		4.7	12.0	< 35.9
(11)それぞれの生徒の進路希望の実現に力を尽くしている	9.4	37.0	16.1	13.5	15.6		4.7	13.0	< 29.7
(12)学校行事や部活動が充実している	23.4	34.4	13.5	9.4	12.0		4.7	25.5	> 22.9
(13)教師の質が高い	9.9	35.9	20.3	14.1	14.1		4.2	11.5	< 34.4
(14)優秀な生徒が多い	11.5	41.7	20.3	9.4	11.5		4.2	13.0	< 29.7
(15)真面目な生徒が多い	15.1	43.8	14.6	7.8	12.5		4.7	16.7	< 22.4
(16)施設・設備が充実している	19.3	31.8	21.9	6.8	13.5		4.2	21.9	< 28.6
(17)地域に開かれた教育を行っている	12.5	36.5	16.7	10.9	17.2		4.2	14.6	< 27.6

4-3 項目ごとの都立高校の印象について（各項目別）

問 26 都立高校の印象は、それぞれどれに該当しますか？（項目ごとに1つ○）

(1) 教育内容が充実している

<全体>



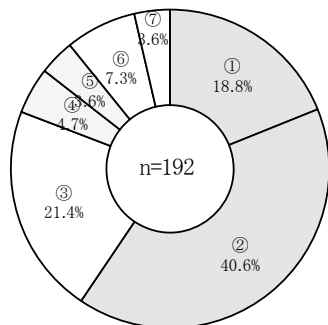
- ① そう思う
- ② 多少そう思う
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまりそう思わない
- ⑤ そう思わない
- ⑥ わからない
- ⑦ 無回答

都立高校の印象：「教育内容が充実している」の問には、「どちらとも言えない」が 34.4%と最も多く、次いで「あまりそう思わない」が 29.2%となっている。「そう思う」、「多少そう思う」の回答を合わせても 12.0%である。



(2) 自由な雰囲気がある

<全体>

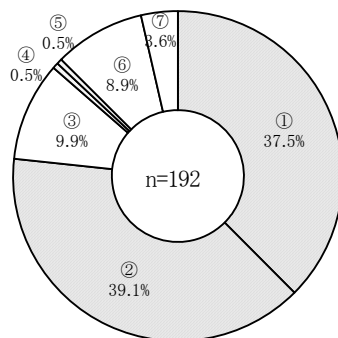


- ① そう思う
- ② 多少そう思う
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまりそう思わない
- ⑤ そう思わない
- ⑥ わからない
- ⑦ 無回答

都立高校の印象：「自由な雰囲気がある」の間には、「多少そう思う」が40.6%と最も多く、次いで「どちらとも言えない」が21.4%の順となっている。「そう思う」、「多少そう思う」の回答を合わせた割合は59.4%であった。

(3) 授業料が安い

<全体>

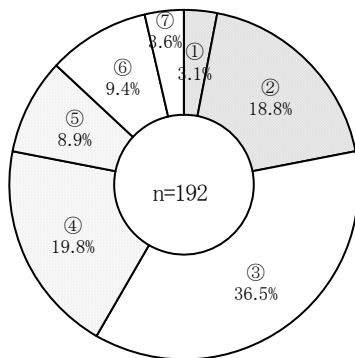


- ① そう思う
- ② 多少そう思う
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまりそう思わない
- ⑤ そう思わない
- ⑥ わからない
- ⑦ 無回答

都立高校の印象：「授業料が安い」の間には、「多少そう思う」が39.1%と最も多く、次いで「そう思う」が37.5%の順となっている。「そう思う」、「多少そう思う」の回答を合わせた割合は76.6%となる。

(4) 進学校が多い

<全体>

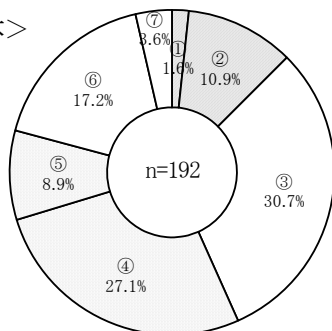


- ① そう思う
- ② 多少そう思う
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまりそう思わない
- ⑤ そう思わない
- ⑥ わからない
- ⑦ 無回答

都立高校の印象：「進学校が多い」の間には、「どちらとも言えない」が36.5%と最も多く、次いで「あまりそう思わない」が19.8%、「多少そう思う」が18.8%の順となっている。

(5) 生徒の能力に応じた授業を行っている

<全体>



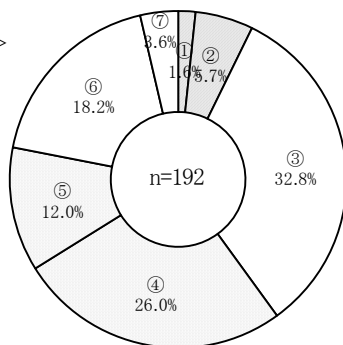
- ① そう思う
- ② 多少そう思う
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまりそう思わない
- ⑤ そう思わない
- ⑥ わからない
- ⑦ 無回答

都立高校の印象：「生徒の能力に応じた授業を行っている」の間には、「どちらとも言えない」が30.7%と最も多く、次いで「あまりそう思わない」が27.1%と続く。「あまりそう思わない」、「そう思わない」を合わせると35.9%になる。

(6) 生徒の興味・関心に応じた授業を行っている

n=192

<全体>

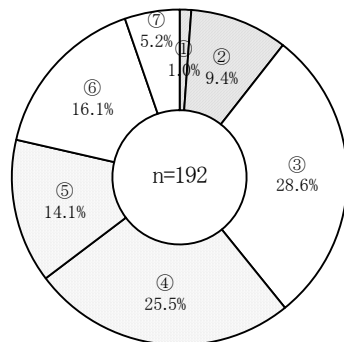


- ① そう思う
- ② 多少そう思う
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまりそう思わない
- ⑤ そう思わない
- ⑥ わからない
- ⑦ 無回答

都立高校の印象：「生徒の興味・関心に応じた授業を行っている」の間には、「どちらとも言えない」が32.8%と最も多く、次いで「あまりそう思わない」が26.0%と続く。「あまりそう思わない」、「そう思わない」を合わせると38.0%になる。

(7) 社会や時代の変化に対応した教育を行っている

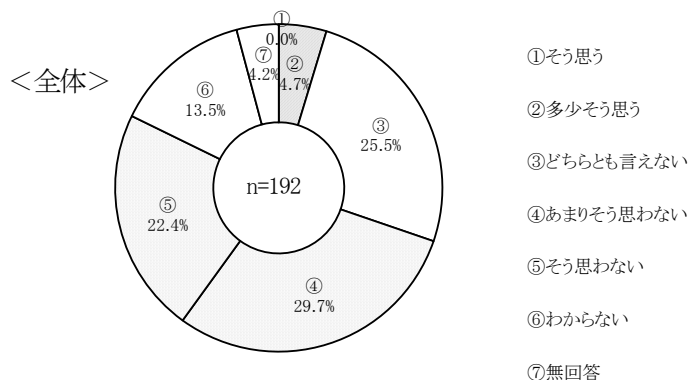
<全体>



- ① そう思う
- ② 多少そう思う
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまりそう思わない
- ⑤ そう思わない
- ⑥ わからない
- ⑦ 無回答

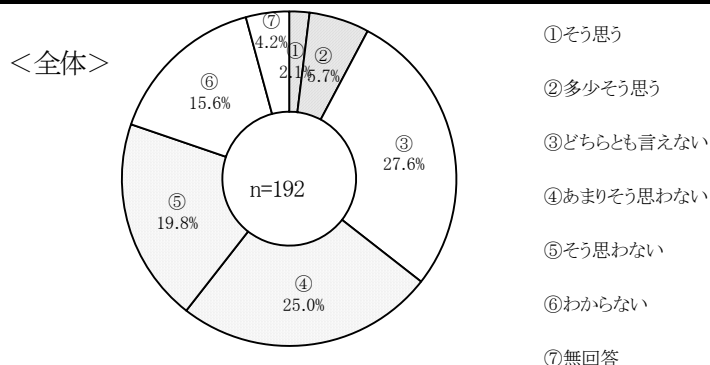
都立高校の印象：「社会や時代の変化に対応した教育を行っている」の間には、「どちらとも言えない」が28.6%と最も多く、次いで「あまりそう思わない」が25.5%と続く。

(8) 生活指導が徹底している



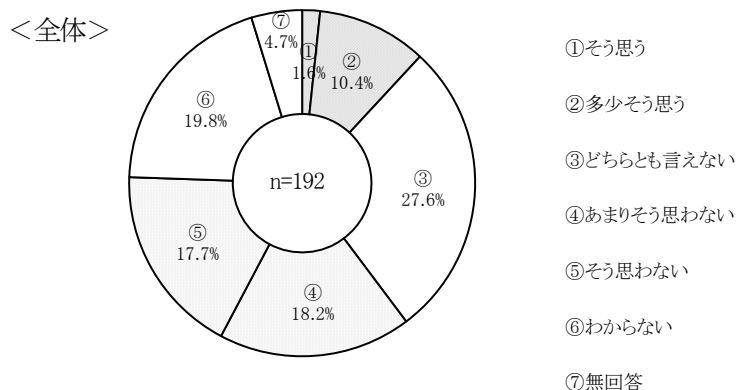
都立高校の印象：「生活指導が徹底している」の間には、「あまりそう思わない」が 29.7%と最も多く、次いで「どちらとも言えない」が 25.5%、「そう思わない」が 22.4%の順となっている。

(9) いじめや非行が少ない



都立高校の印象：「いじめや非行が少ない」の間には、「どちらとも言えない」が 27.6%と最も多く、次いで「あまりそう思わない」 25.0%、「そう思わない」 19.8%、「わからない」 15.6%の順となっている。

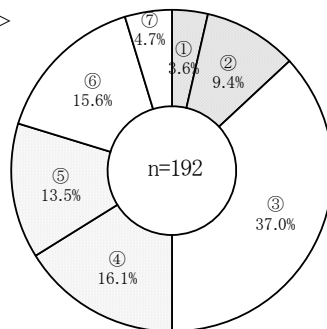
(10) 中途退学が少ない



都立高校の印象：「中途退学が少ない」の間には、「どちらとも言えない」が 27.6%と最も多く、次いで「わからない」が 19.8%、「あまりそう思わない」が 18.2%、「そう思わない」が 17.7%と続く。

(11) それぞれの生徒の進路希望の実現に力を尽くしている

<全体>

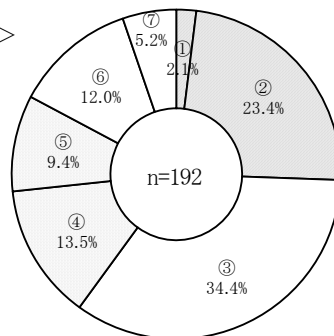


- ① そう思う
- ② 多少そう思う
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまりそう思わない
- ⑤ そう思わない
- ⑥ わからない
- ⑦ 無回答

都立高校の印象：「それぞれの生徒の進路希望の実現に力を尽くしている」の間には、「どちらとも言えない」が37.0%と最も多く、次いで「あまりそう思わない」が16.1%、「わからない」が15.6%と続く。

(12) 学校行事や部活動が充実している

<全体>

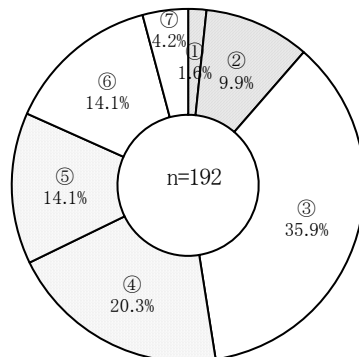


- ① そう思う
- ② 多少そう思う
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまりそう思わない
- ⑤ そう思わない
- ⑥ わからない
- ⑦ 無回答

都立高校の印象：「学校行事や部活動が充実している」の間には、「どちらとも言えない」が34.4%と最も多く、次いで「多少そう思う」が23.4%の順となっている。

(13) 教師の質が高い

<全体>

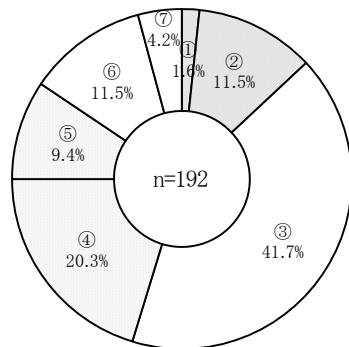


- ① そう思う
- ② 多少そう思う
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまりそう思わない
- ⑤ そう思わない
- ⑥ わからない
- ⑦ 無回答

都立高校の印象：「教師の質が高い」の間には、「どちらとも言えない」が35.9%と最も多く、次いで「あまりそう思わない」が20.3%の順となっている。

(14) 優秀な生徒が多い

<全体>

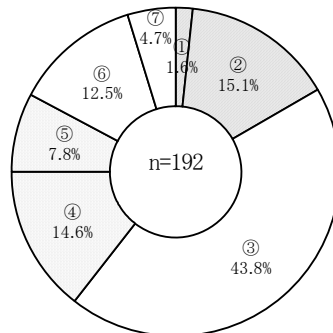


- ① そう思う
- ② 多少そう思う
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまりそう思わない
- ⑤ そう思わない
- ⑥ わからない
- ⑦ 無回答

都立高校の印象：「優秀な生徒が多い」の間には、「どちらとも言えない」が41.7%と最も多く、次いで「あまりそう思わない」が20.3%の順となっている。

(15) 真面目な生徒が多い

<全体>

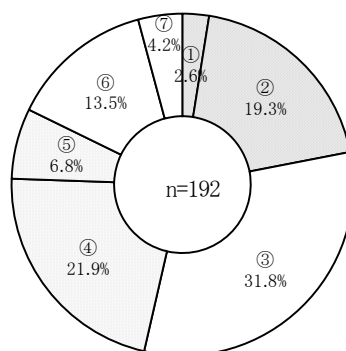


- ① そう思う
- ② 多少そう思う
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまりそう思わない
- ⑤ そう思わない
- ⑥ わからない
- ⑦ 無回答

都立高校の印象：「真面目な生徒が多い」の間には、「どちらとも言えない」が43.8%と最も多く、次いで「多少そう思う」15.1%、「あまりそう思わない」14.6%、「わからない」12.5%の順となっている。

(16) 施設・設備が充実している

<全体>

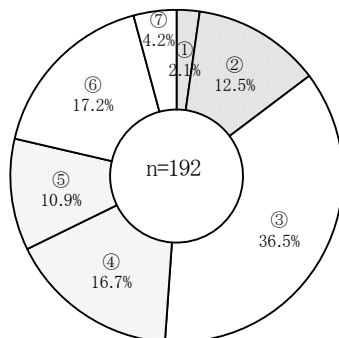


- ① そう思う
- ② 多少そう思う
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまりそう思わない
- ⑤ そう思わない
- ⑥ わからない
- ⑦ 無回答

都立高校の印象：「施設・設備が充実している」の間には、「どちらとも言えない」が31.8%と最も多く、次いで「あまりそう思わない」21.9%、「多少そう思う」19.3%の順となっている。

(17) 地域に開かれた教育を行っている

<全体>



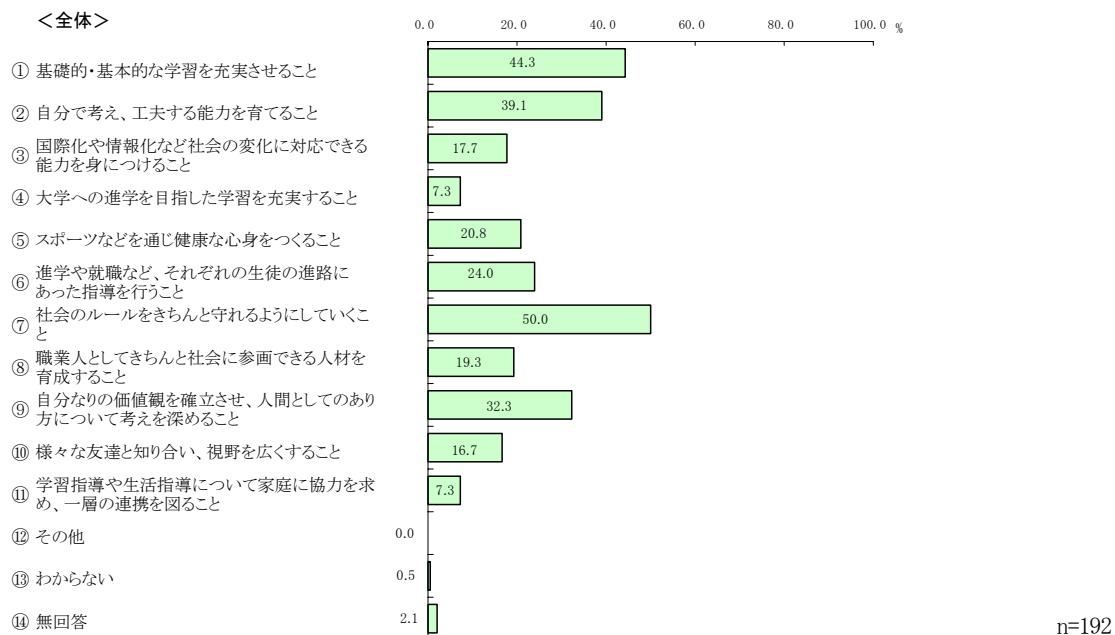
- ① そう思う
- ② 多少そう思う
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまりそう思わない
- ⑤ そう思わない
- ⑥ わからない
- ⑦ 無回答

都立高校の印象：「地域に開かれた教育を行っている」の間には、「どちらとも言えない」が36.5%と最も多く、次いで「わからない」17.2%、「あまりそう思わない」16.7%、「多少そう思う」12.5%の順となっている。

## 2.2.5 都立高校の役割について

### 5-1 都立高校の役割について

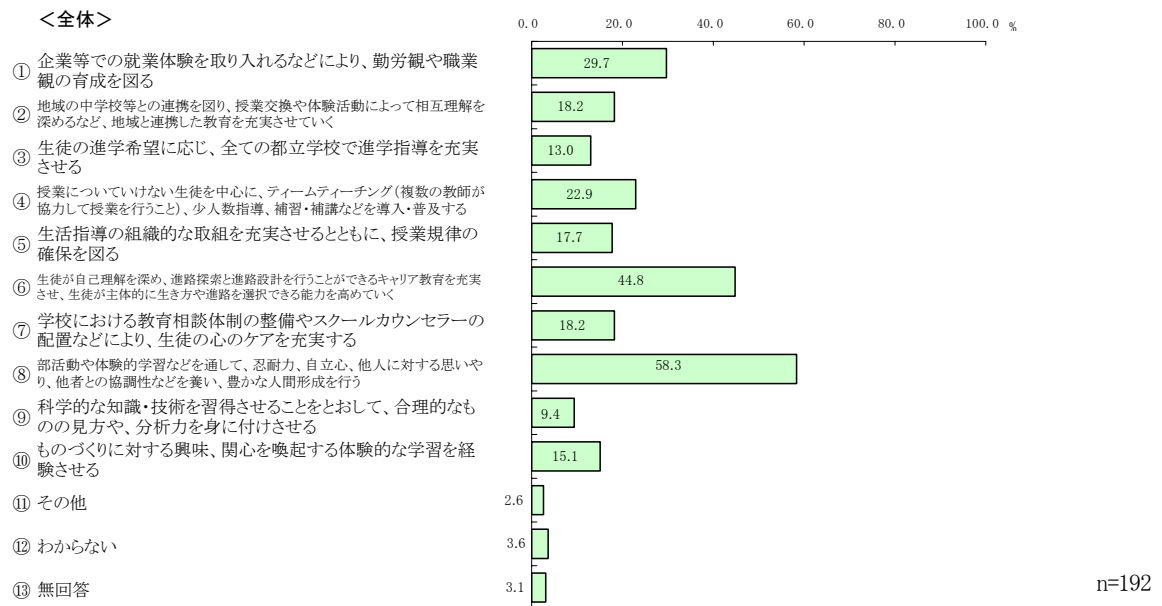
問 27 都立高校に特に期待する役割は次のどれですか？（3つまで○）



都立高校に期待する役割は「社会のルールをきちんと守れるようにしていくこと」が50.0%と最も多く、次いで「基礎的・基本的な学習を充実させること」44.3%、「自分で考え、工夫する能力を育てること」39.1%の順となっている。

5-2 都立高校の力を入れて取り組むべき事柄について

問 28 今後、都立高校は特にどのような取組に力を入れるべきだとお考えですか？（3つまで○）



今後の都立高校は特に力を入れるべき取組みについては「部活動や体験学習などを通して、忍耐力、自立心、他人に対する思いやり、他者との協調性を養い、豊かな人間形成を行う」が 58.3%と最も多くなっている。次いで、「生徒が自己理解を深め、進路探索と進路設計を行うことができるキャリア教育を充実させ、生徒が主体的に生き方や進路を選択できる能力を高めていく」の 44.8%の順となっている。



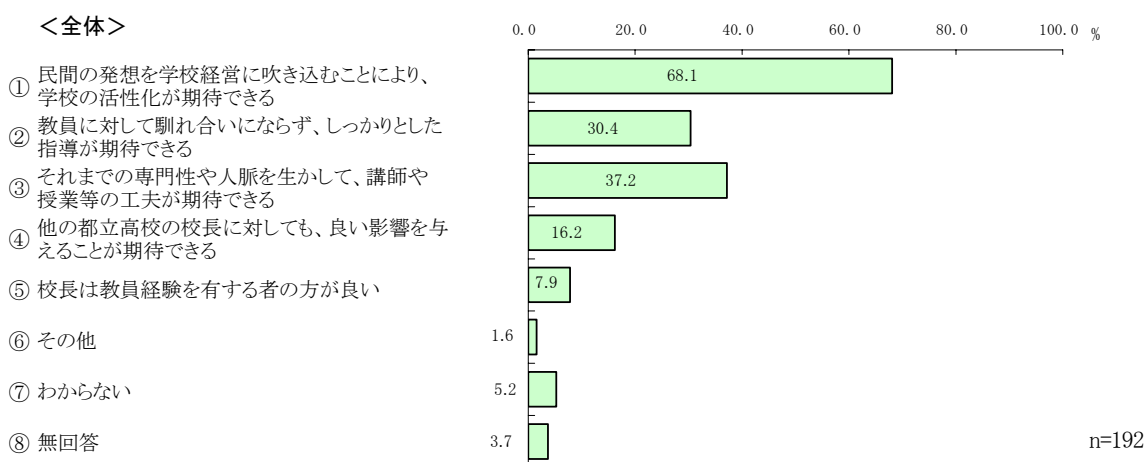
## 2.2.6 民間人校長について

問 29 教員以外の者（例えば、企業等の勤務経験のある者）を都立高校の校長として任用すること（\* 15）についてどのように考えますか？（2つまで○）

### （\* 15）《民間人校長》

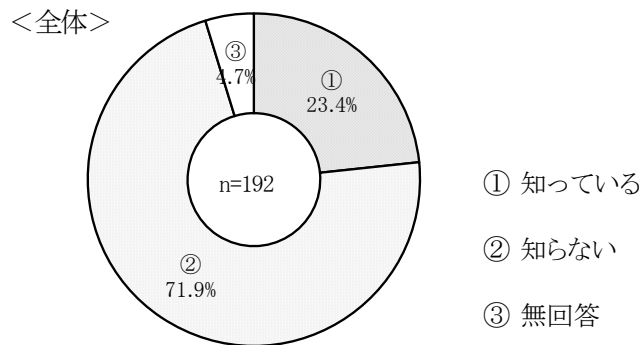
平成12年1月に法令が改正され、教員免許の有無にかかわらず、学校運営に、真に優れたリーダーシップを有する人を公立学校の校長として任用することが可能になりました。

これは、学校の実情に応じ、幅広く人材を確保する観点から行われたもので、民間企業などで培った経営感覚や組織運営能力を学校経営に生かし、個性や特色ある学校活動が展開されることを期待しています。



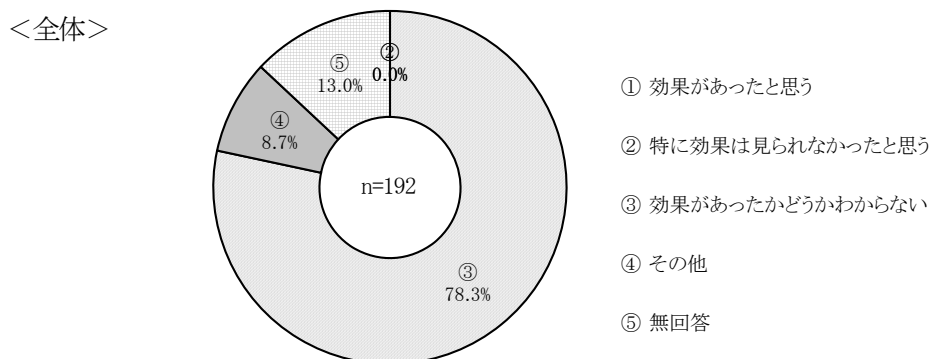
教員以外の者を都立高校の校長として任用することについての考えは「民間の発想を学校経営に吹き込むことにより、学校の活性化が期待できる」が68.1%と最も多く、次いで「それまでの専門性や人脈を生かして、講師や授業等の工夫が期待できる」の37.2%、「教員に対して馴れ合いにならず、しっかりとした指導が期待できる」30.4%の順となっている。

問30 今まで、都立高島高校（平成13年度～17年度）、都立つばさ総合高校（平成13年度～）、都立青山高校・都立千早高校（平成15年度～）の校長に、教員以外の者を任用してきたことをご存知ですか（1又は2に○）。また効果があったと思いますか？ 1に○をされた方は → にお進みください。（1つ○）



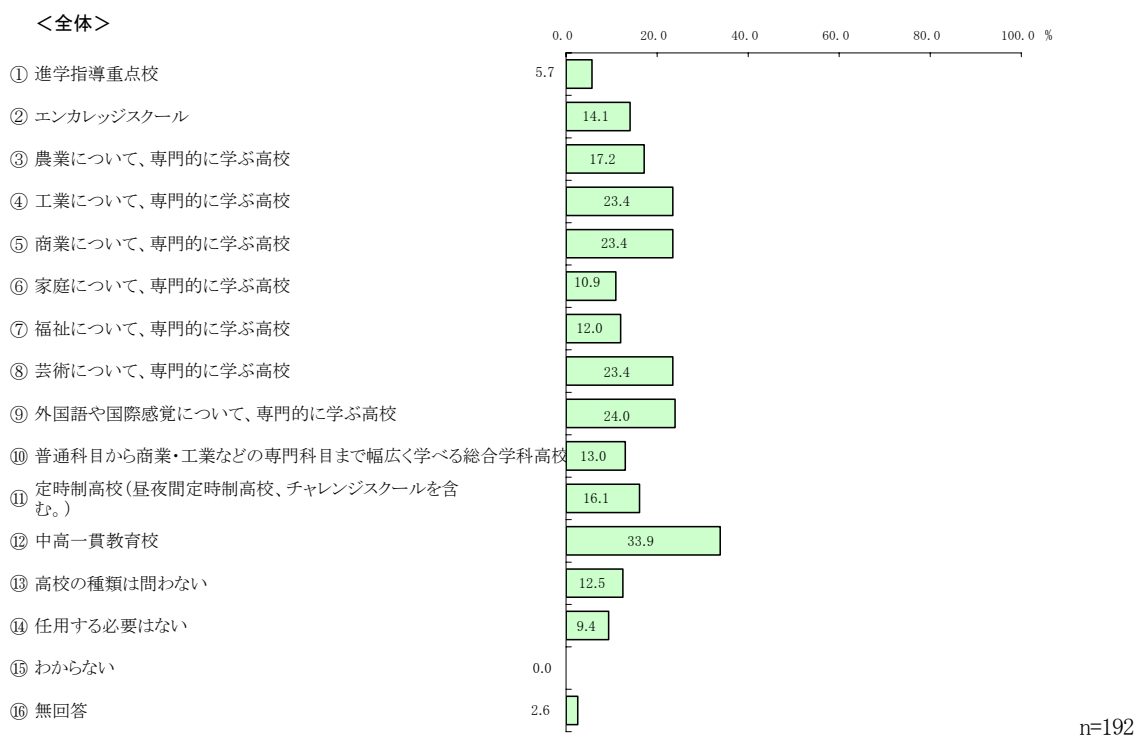
今まで、都立高島高校、都立つばさ総合高校、都立青山高校、都立千早高校の校長に、教員以外の者を任用してきたことに「知らない」と答えた企業が71.9%と最も多かった。

問30 上記問で1に○をされた方は → にお進みください。（1つ○）



今まで、都立高島高校、都立つばさ総合高校、都立青山高校、都立千早高校の校長に、教員以外の者を任用してきたことを知っている企業で、その効果については、「効果があったかどうかわからない」と答えた企業が78.3%と最も多かった。「効果があったと思う」、「特に効果は見られなかったと思う」の回答数は0であった。

問31 今後、教員以外の者を都立高校の校長に任用するのは、どのような学校がいいですか？（複数回答可）

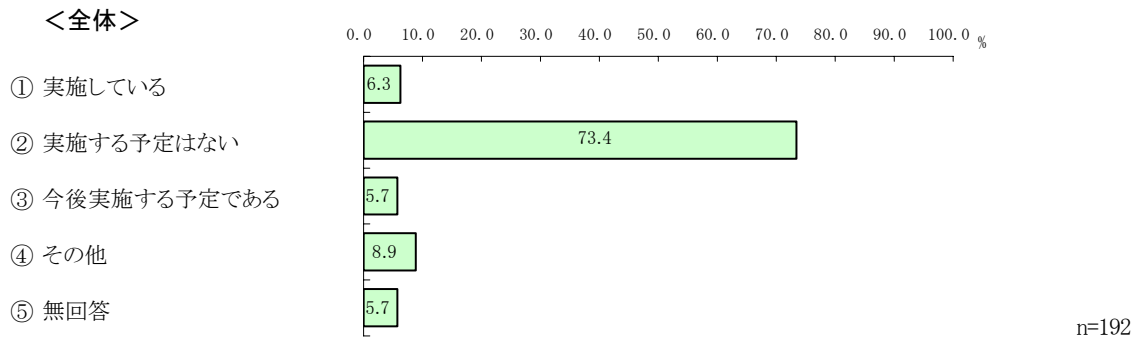


今後、教員以外の者を都立高校の校長に任用するのはどのような学校が望ましいかについては、「中高一貫教育校」が 33.9%と最も多く、続いて「外国語や国際感覚について、専門的に学ぶ高校」24.0%、「工業について、専門的に学ぶ高校」、「商業について、専門的に学ぶ高校」及び「芸術について、専門的に学ぶ高校」が 23.4%と同数で並んでいる。

## 2.2.7 教育への協力について

### 7-1 高校生を対象にした職場体験、見学について

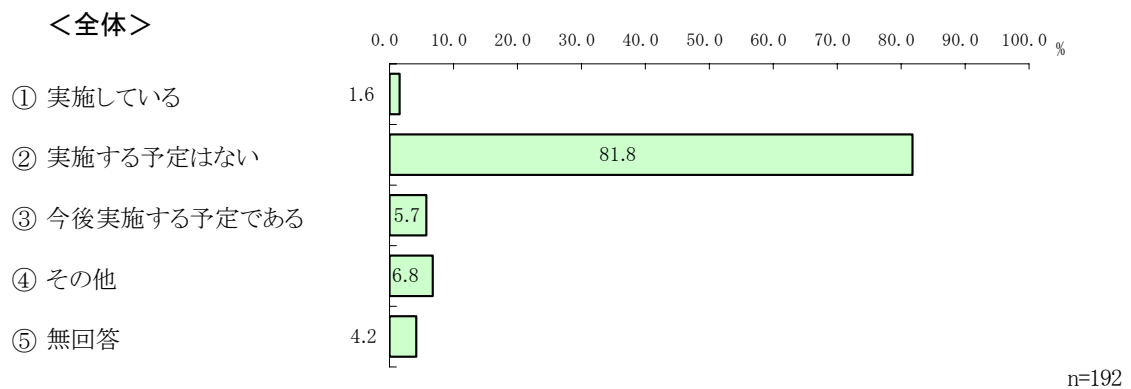
問 32 貴社では高校生を対象にした職場体験や見学を実施していますか。



高校生を対象にした職場体験や見学を実施しているかについては、「実施する予定はない」が 73.4%と最も多くなっている。「実施している」は 6.3%で「今後実施する予定である」の 5.7%と合わせても 12.0%である。

### 7-2 教員を対象にした職場体験、見学について

問 33 貴社では教員を対象とした職場体験や見学を実施していますか。



教員を対象とした職場体験や見学を実施しているかについては、「実施する予定はない」が 81.8%と最も多くなっている。「実施している」は 1.6%で「今後実施する予定である」の 5.7%と合わせても 7.3%である。

## 2.2.8 これからの都立高校について

問34 こうした状況も踏まえ（\*16）、これからの都立高校はどうあるべきか、率直なご意見をお聞かせください。

### （\*16）《これからの都立高校について》

以上のとおり都立高校をめぐる状況は近年大きく変化しており、特色ある学校づくりや開かれた学校づくりを進めていくことが求められています。このため、

- ①教育内容・方法の改善・充実
- ②教員の資質向上
- ③施設整備の充実
- ④規模と配置の適正化

などを図り、都民にとってより一層魅力のある学校にしていくことが課題となっています。

これからの都立高校のあり方について自由意見を聞いたところ、回収数192票のうち、本問について回答のあったものは78票（大企業：2票、中小企業：76票）である。

多かった意見は、都立高校の教育に関する意見（40票）、都立高校教員に関する意見（23票）である。

都立高校の教育に関する意見には、教育内容の充実を図るための「教育内容の改善」に対する意見、「生活指導の徹底」の意見がみられた。「教育内容の改善」の意見には、「生徒が作る生徒のための学校」「カリキュラムを自分で作る」「魅力ある教育を行う」等があげられた。また、「生活指導の徹底」の意見には、「社会人としてのマナー・モラル教育」が多くあげられた。

都立高校教員に関する意見には、教員の資質向上を図ることを求める意見が多かった。教員の資質向上を図るために「教員の意識改革を行う必要がある」等があげられ、教員の教育として「人間的魅力のある教員の育成」等の意見がみられた。

この他、「都立高校教育の制度に関して」、「都立高校の運営について」、「都立高校改革推進計画について」等についての意見がみられた。